

科目名	日本美術史（1美デ）			開講学年	1	講義コード	1670101	区分	選択		
英文表記	History of Japanese Art			開講期	集中	開講形態		単位数	4		
担当教員	中村玲（非常勤） 大久保範子（非常勤）										
研究室	芸術学部 非常勤講師室					オフィス アワー 授業時間前後の非常勤講師室					
メールアドレス	norikontakt@gmail.com										
キーワード	日本美術 仏教 浮世絵										
授業概要	<p>(前期分)先史時代から中世の日本の美術と文化を概観し、基本的な流れや様式の変遷を理解する。美術作品の画像や映像を鑑賞し、歴史的、文化的な事情を踏まえたうえで、それらの作品があらわれた背景や造形的な特質について学んでいく。また、当時の美術作品と、私たちが生きる現代社会との関わりなどについても検討していきたい。(後期分)近世に入ると、美術は上層の権力者のためのものから市井の人々を包括するものへと裾野が広がった。それに伴い美術の形式も多様化し、様式も時勢を反映して目まぐるしく展開していくこととなる。とくに「制作者」と「享受者」の関係性がより近くなったという点は、近世以降の日本美術に多大な影響を及ぼしたといえる。本講義では、日本における様式変遷とその背景を各時代の代表的な美術作品を通して概観するとともに、日本美術の特質についてその諸相を検討する。また作家たちがどのような姿勢で作品制作に向かっていたのかに注目することで、東洋、西洋、現代の美術と文化にも理解を広げ、鑑賞にとどまらない制作のヒントを得るためのアプローチについても考えていきたい。なお、フィードバックとして、次回の講義の冒頭等で適宜補足説明を行う。</p>							関連科目			
								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							学修・教育目標			
								JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	時代による様式の変遷を理解することができる。									
	②	おのおのの時代の美術の特徴を把握することができる。									
	③	日本美術の代表的な作品・作家についての知識を身につけることができる。									
	④	日本美術についての基礎的な知識を鑑賞の際に役立てることができる									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	45	45	0	0	0	0	10	0	100		
教科書	授業の中で指示する。 毎回資料を配布する。										
参考書	すぐわかる日本の絵画 東京美術 守屋正彦 日本美術館 小学館 青柳正規、他 カラー版 日本美術史 美術出版社 辻惟雄監修										

予備知識	<p>図書館などで美術全集などの書籍を閲覧し、基礎知識を取得しておくことが望ましい。本講義は、美術史に関する演習や特論を受講する上での基礎科目であり、受講後は関心をもった分野について、より深い理解につなげるための自主的な学びの継続が期待される。</p>
DPとの関連	<p>本講義は、日本美術に関する基礎的な知識を学ぶことを目的とするものである。そのため美術・デザイン領域の専門家としての基礎的な力を身につけることができる。加えて、各時代の社会における美術の役割についても総合的に修得できることを目指すため、ひいては現代の課題を発見・解決する能力を涵養することでできるだろう。</p>
実務経験のある教員	
評価明細基準	<p>①時代による様式の変遷を理解する ②おのおのの時代の美術の特徴を把握する ③日本美術の代表的な作品・作家についての知識を身につける ④日本美術についての基礎的な知識を鑑賞の際に役立てることができる</p>

毎回パワーポイントによるスライドを使用するため、必要に応じて筆記すること。試験は授業プリントの持ち込み可なので、適宜メモをとり内容の理解に努めること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション・先史時代の美術	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	日本美術史という学問や、授業の進め方等について説明を行う。縄文時代から弥生時代の美術を概観する。			
2回	テーマ	古墳壁画と副葬品	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	主に九州地方に所在する古墳を中心に、権力者を祀るために描かれた壁画や、さまざまな副葬品について紹介する。			
3回	テーマ	仏教絵画と古代寺院	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	飛鳥時代に朝鮮半島から伝来した仏教絵画と、法隆寺などの古代寺院および伽藍について解説する。			
4回	テーマ	正倉院宝物	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	奈良時代の聖武天皇の遺愛品であり、国際色豊かな正倉院宝物を鑑賞する。			
5回	テーマ	密教美術	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	平安時代前期に、密教の展開とともに誕生した絵画、彫刻などについて説明する。			
6回	テーマ	浄土教美術・垂迹美術	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	平安時代後期の浄土信仰に伴って生まれた美術を概観する。神像彫刻に代表される、垂迹美術について学習する。			
7回	テーマ	王朝文化と物語絵	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	平安時代後期までにあらわれた、王朝文化を背景とした「源氏物語絵巻」のほか、さまざまな絵巻物について学ぶ。美術作品にさらに親しみを持ってもらうため、絵巻の複製品を用いた取り扱い実習も行う。			
8回	テーマ	慶派の彫刻	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	鎌倉時代を代表する、蓮慶や快慶らの仏教彫刻について講義する。			
9回	テーマ	肖像画	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	鎌倉時代の武家文化の台頭を背景に描かれた肖像画について紹介する。美術作品にさらに親しみを持ってもらうため、掛軸の複製品を用いた取り扱い実習も行う。			
10回	テーマ	禅宗と水墨画	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
	内容	鎌倉時代に伝来した、禅宗に関するさまざまな美術、特に水墨画について解説する。			

授業計画					
回数 (日付)		授業内容	講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	土佐派とやまと絵 室町時代を中心に菅絃絵所を支配した土佐派によるやまと絵について講じる。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
12回	テーマ 内容	障壁画と城郭建築 安土桃山時代の天下人が好み、彼らの住まいを装飾した大画面の障壁画や、城郭建築の構造について紹介する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
13回	テーマ 内容	狩野派 室町時代以降に活躍し、日本絵画史上、最大の流派となり御用絵師の頂点に立った狩野派について学ぶ。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
14回	テーマ 内容	戦国武将たちの装い・南蛮美術 安土桃山時代を中心に、戦国武将たちが戦の場で好んだ衣装や具足などの独特な造形を鑑賞する。ヨーロッパ文化の影響を受け、九州地方に大いに関連する南蛮美術について学ぶ。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
15回	テーマ 内容	まとめ・ディスカッション・試験 講義や実習のまとめを行う。これまでに学んだ日本美術についての興味や関心、魅力に関するディスカッションをし、試験を実施する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
16回	テーマ 内容	イントロダクション 室町時代までの導入にかえて、仏教美術を理解するためのヒントを確認する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
17回	テーマ 内容	江戸時代の美術Ⅰ 狩野派を中心とする“権力者”のために描かれた美術作品について、その特徴を他の流派と比較しながら考察する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
18回	テーマ 内容	江戸時代の美術Ⅱ 久隅守景や英一蝶といった主流から離れた絵師らの作品を鑑賞し、狩野派以外の絵師がどのような作品を描いていたのかについて学ぶ。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
19回	テーマ 内容	江戸時代の美術Ⅲ 琳派の作品を鑑賞し、私淑によって継承された装飾的な美術様式について学ぶ。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
20回	テーマ 内容	江戸時代の美術Ⅳ 柿右衛門、古伊万里、鍋島といった九州の色絵陶磁器の歴史と作品を紹介し、絵画と江戸前期の工芸意匠にみられる影響関係を考察する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ 内容	江戸時代の美術Ⅴ 江戸時代の文人画について学び、専業画家とは異なる視点や作風を考察する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
22回	テーマ 内容	江戸時代の美術Ⅵ 京都画壇の絵師について伊藤若沖と円山応挙を取り上げ、その特徴と個性を考察する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
23回	テーマ 内容	江戸時代の美術Ⅶ 京都画壇の絵師について曾我蕭白と長沢芦雪を取り上げ、その特徴と個性を考察する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
24回	テーマ 内容	江戸時代の美術Ⅷ 肉筆浮世絵や錦絵の技術が完成して間もない時代の作品から、初期浮世絵の特質を学ぶ。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
25回	テーマ 内容	江戸時代の美術Ⅸ 浮世絵の黄金期に生み出された作品について、特に人物画の評価が高い勝川春章や写楽、歌麿らを取り上げ、相貌及び身体表現の展開について学ぶ。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
26回	テーマ 内容	江戸時代の美術Ⅹ 浮世絵の黄金期に生み出された作品について、特に風景画の評価が高い葛飾北斎と歌川広重を取り上げ、構図の特徴や効果について考察する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
27回	テーマ 内容	幕末から明治の浮世絵 幕末・明治期の浮世絵について歌川国芳と月岡芳年を取り上げ、戯画の面白さや西洋的表現の影響を論じる。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
28回	テーマ 内容	明治から大正期の美術 開国後の日本における美術教育の展開について学び、西洋のアカデミズムが日本でどのように吸収され、展開したのかについて考察する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
29回	テーマ 内容	幕末以降の工芸分野 生人形を中心とした熊本で展開した工芸美術を紹介し、今日再評価されている幕末以降の工芸分野について学ぶ。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60
30回	テーマ 内容	美術のひろがり 民藝運動が生まれた社会的背景や作品を学び、今日に至る美術という概念のひろがりについて考察する。	講義	配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。	60

科目名	西洋美術史(1美デ)(通年)				開講学年	1	講義コード	1670201	区分	選必	
英文表記	History of Western Art				開講期	通年	開講形態		単位数	4	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala @art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	美術史 西洋絵画 芸術鑑賞										
授業概要	本講義はルネサンスから20世紀の西洋美術の歴史(動向)について、ルネサンス以降、西洋人にとって「美」となるものがどのように捉えられ、その造形美を生み出してきたか、その変遷を巡り、日本と東洋の動向をも比較しながら理解していく。また、芸術作品の中に潜む理念や概念、表現の傾向、作者の意図作風、さらにはその芸術作品が生み出された社会状況も考慮しながら、西洋美術の視覚イメージの諸相から世界のものの方、考え方を読み解いていく。また、本講義の視覚的思考法を通じて汎用的な観察力・審美眼を養う。作品カード①②の結果を9の授業で、また夏休みの課題(展評・書評)については21の総括の際にフィードバックする。							関連科目			
								すべての芸術学部開講科目に関連する。教職課程科目(必修)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】・・・美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	各回の内容を通して、芸術に関する基礎的な知識・ものの見方・考え方を理解できる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	45	0	15	0	15	10	15	100		
教科書	特に指定しない。										
参考書	イメージ・リテラシー工場 フランスの新しい美術鑑賞 フィルム・アート社 J=クロード・フォザ他 イメージを読むー美術史入門ー 筑摩書房 若桑みどり 美術を書く 東京美術 S.バーネット著/竹内順一監訳 補新装カラー版 西洋美術史 美術出版社 高階秀爾監修 反アート入門 幻冬社 樫木野衣										

予備知識	特になし。
DPとの関連	造形活動や芸術文化研究における基礎的な知識、ものの見方・考え方を学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	出席レポート、レポート類(展覧会レビュー(2点)、書評(2点)作品カード(2枚))等で評価する。前期・後期各100点の平均を出してそれを成績とする。

通年の授業であるので、前期・後期を通じて受講しないと単位取得できません(履修登録は前期のみ)。単位取得の条件は①出席(出席レポート)3分の2以上②展評・書評を提出していること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 総論 美術史とは？(第1、2回)	内容	講義	1の配布資料の復習。	180
2回	テーマ 美術史入門 美術史を記述する。(第3回)	内容	講義	2の配布資料の復習。	90
3回	テーマ ものを見るとは1 視覚イメージを読むI(第4、5回)	内容	講義	3の配布資料の復習。	180
4回	テーマ ものを見るとは2 視覚イメージを読むII(第6、7回)	内容	講義	課題:木を簡略して描く。	180
5回	テーマ 初期ルネサンス美術1 建築・彫刻(第8、9回)	内容	講義	5の配布資料の復習。作品カード作成①	180
6回	テーマ 初期ルネサンス美術2 絵画(第10、11回)	内容	講義	作品カード作成①	180
7回	テーマ 盛期ルネサンス美術 建築・絵画・彫刻(第12、13回)	内容	講義	7の配布資料の復習。作品カード作成②	180
8回	テーマ マニエリスム 建築・絵画・彫刻(第14回)	内容	講義	8の配布資料の復習。	90
9回	テーマ 前期総括 前期定期試験(第15回)	内容	講義	定期試験	90
10回	テーマ 15世紀の北方美術・北方ルネサンス 建築・絵画・彫刻(第16、17回)	内容	講義	10の配布資料の復習。	180

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	バロック①	講義	11の配布資料の復習。	180
	内容	イタリヤ・フランス(南ネーデルラント)(第18,19回)			
12回	テーマ	バロック②	講義	12の配布資料の復習。	180
	内容	オランダ・スペイン・フランス(イギリス・ドイツ)(第20,21回)			
13回	テーマ	ロココの美術	講義	13の配布資料の復習。	90
	内容	18世紀の美術(第22回)			
14回	テーマ	近代美術とは?	講義	14の配布資料の復習。	90
	内容	「神が死んだ」の巻(第23回)			
15回	テーマ	近代1	講義	15の配布資料の復習。	90
	内容	新古典主義と革命期の美術(第24回)			
16回	テーマ	近代2	講義	16の配布資料の復習。	90
	内容	ブレ・ロマン主義/ロマン主義(フランス)(第25回)			
17回	テーマ	近代2	講義	テーマ特集の復習。	180
	内容	テーマ特集:絵画と鉄道/ロマン主義(イギリスなど)(第26,27回)			
18回	テーマ	近代3	講義	18の配布資料の復習。	90
	内容	写実主義とその時代(第28回)			
19回	テーマ	近代4	講義	18の配布資料の復習。	90
	内容	写真の時代(第29回)			
20回	テーマ	近代5	講義	20の配布資料の復習。	90
	内容	印象主義・象徴主義・後期印象主義、そして世紀末芸術へ(第30回)			

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	総括	講義	後期定期試験 目標到達レポート作成	90
	内容	後期定期試験(第31回)			

科目名	西洋彫刻論（1美デ）			開講学年	1	講義コード	1670301	区分	選択		
英文表記	History of Western Sculpture			開講期	後期	開講形態		単位数	2		
担当教員	関根 浩子										
研究室	A313					オフィス アワー 金曜3限					
メールアドレス	seki1963@art.sajo-u.ac.jp										
キーワード	彫刻 西洋美術史										
授業概要	<p>本学科の人材育成の目標の一つ芸術・文化における多様な基礎的知識と教養を身に付けることがあるが、中でも本科目は教職を目指す学生の必修科目となっている。本科目では古代ギリシア・ローマから近代までの西洋彫刻の流れを代表的な作家や作例を挙げて解説しながら概説する。今年度も、古代ギリシアからバロックまでの彫刻の流れを代表的な作例や作家を挙げながら概説して基礎的知識を養うとともに、彫刻の主な展開場所であった建築に関しても基礎的な知識の習得や用語の習熟を目指す。さらに学生が美術教諭を目指すことを想定し、将来の鑑賞教育授業や制作活動の示唆になるよう、西洋彫刻と日本や東洋、現代の彫刻や建築、文化との関わりなどにも言及して理解を広げていきたい。さらに中間試験後、結果をフィードバックし、後半の授業や最終定期試験に備えられるようにする。</p>							関連科目			
								西洋美術史、美術領域論Ⅱ ほか			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…必修【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	彫刻の様式の流れや様式の変遷と時代背景との関係が理解できるようになる。									
	②	時代を画するような彫刻家とその作品や技法が理解できるようになる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	35	40	0	0	0	0	10	15	100		
教科書	授業の中で配布する。										
参考書	世界美術大全集 第3～5、第7～13巻、15、16巻 小学館 大系世界の美術 第5、6、10、12～14、16巻 学習研究社 世界の彫刻 1000の偉業 二玄社 ジョゼフ・マンカ他 杉山昌夫訳 彫刻—その制作過程と原理— 中央公論美術出版社 ルドルフ・ワイトコウアー 池上忠治監訳										

予備知識	特になし
DPとの関連	造形活動や美術教育、芸術文化研究における専門家となり、人間社会の構築や発展に貢献できるように、基礎的知識を身に付ける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	成績の評価は、小(中間)試験(35点)と定期試験(40点)、その他(15点)、ポートフォリオ(10点)によって行い、合計60点以上を合格とする。

中間試験と定期試験の両方を必ず受ける必要がある。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	古代	講義	1回目の配布資料の復習	40
	内容	オリエンテーション導入、古代ギリシアの彫刻			
2回	テーマ	古代	講義	2回目の配布資料の復習	40
	内容	古代ギリシア／アルカイック			
3回	テーマ	古代	講義	3回目の配布資料の復習	40
	内容	古代ギリシア／アルカイック～クラシック（厳格様式期）			
4回	テーマ	古代	講義	4回目の配布資料の復習	40
	内容	古代ギリシア／クラシック（厳格様式期～盛期クラシック様式期）			
5回	テーマ	古代	講義	5回目の配布資料の復習	40
	内容	古代ギリシア／盛期クラシック（パルテノン神殿）			
6回	テーマ	古代	講義	6回目の配布資料の復習	40
	内容	古代ギリシア／後期クラシック			
7回	テーマ	古代	講義	7回目の配布資料の復習	40
	内容	古代ギリシア／ヘレニズム彫刻			
8回	テーマ	中間試験	試験・講義	1～7回目の復習	180
	内容	古代ギリシア／ヘレニズム彫刻／中間試験			
9回	テーマ	中世	講義	フィードバックした点について再復習、8回目の配布資料の復習	40
	内容	中間試験のフィードバック／初期キリスト教美術における彫刻			
10回	テーマ	中世	講義	9回目の配布資料の復習	40
	内容	ロマネスク彫刻			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	中世	講義	10回目の配布資料の復習	40
	内容	ゴシック彫刻			
12回	テーマ	ルネサンス	講義	11回目の配布資料の復習	40
	内容	初期ルネサンス(ラファエッティ洗礼堂門扉ゴジケール)			
13回	テーマ	ルネサンス	講義	12回目の配布資料の復習	40
	内容	初期ルネサンスの彫刻家～ミケランジェロ			
14回	テーマ	盛期ルネサンス～バロック	講義	13回～14回の配布資料の復習、定期試験準備	180
	内容	盛期ルネサンス～バロック(ミケランジェロとその追随者、バロックのベルニーニまで)			
15回	テーマ				
	内容	定期試験			

科目名	基礎デッサンⅠ(1美)			開講学年	1	講義コード	1670401	区分	選択		
英文表記	basic drawingⅠ			開講期	前期	開講形態		単位数	2		
担当教員	勝野 眞言 (実務経験)										
研究室	L号館A104					オフィス アワー 火・放課後					
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	空間、量感、線、面										
授業概要	二次元空間の基本要素である点、線、面、またはその連続により生じる形体の持つ動勢、機能について考え、観察を通してその視覚表現の方法の可能性をデッサン・スケッチを通して探る。静物や人物に見出される緊張感や躍動感、バランスの美しさといった様々な美的要素をデッサンの量と枚数を通して追及することを目的とする。これは現代の幅広い美術活動の根とも言うべき、大切な勉強である。制作途中、随時互いに鑑賞する時間を持ち合い(講評会)、お互いの表現の意図・形体・色彩・材質感の理解を深める。このような一連のプロセスを辿ることで様々な分野で役立つような企画力、計画性、コミュニケーション力を養う。							関連科目			
								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…必修【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)							学修・教育目標			
								JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	観察力を身に付けることができるようになる									
	②	画面の構図が理解できるようになる									
	③	明暗・陰影(調子)の理解ができるようになる									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	授業時にプリントを配布する										
参考書	授業時にプリントを配布する										

予備知識	1年必修科目全般
DPとの関連	<p>学びのキーワードは「対象をよく観る＝観察力の習得」である。対象を見つめることから発想を得、コンセプトを練り上げ、制作のための試行錯誤を繰り返えし、他者にわかりやすく魅力的に伝える為の表現力やプレゼンテーション力を鍛えることができる。【知識・理解】【汎用的技能】【態度・志向性】</p>
実務経験のある教員	<p style="text-align: center;">勝野 眞言</p>
評価明細基準	<p>課題毎の講評会及び作品の提出と出席</p>

テーマにそった内容の講義を実習内に適時行い、テーマにつながる文献等を紹介し、実習外でそれらを補う学習法を指示する。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ 内容	観察による対象の理解 人体クロッキー(クロッキーブック鉛筆・ゴシテ) 2分・5分・10分(計20枚制作)	実習	手のクロッキー(エスキース)	240
2回	テーマ 内容	観察による対象の理解 人体クロッキー(クロッキーブック鉛筆・ゴシテ) 2分・5分・10分(計20枚制作)	実習	解剖図の模写	240
3回	テーマ 内容	観察による対象の理解 手のデッサン(木炭紙) 中間評	実習	手のクロッキー(エスキース)	240
4回	テーマ 内容	観察による対象の理解 手のデッサン(木炭紙)	実習	手のクロッキー(エスキース)	240
5回	テーマ 内容	観察による対象の理解 手のデッサン(木炭紙) 講評	実習	手のクロッキー(エスキース)	240
6回	テーマ 内容	観察による対象の理解 手のデッサン(木炭紙) 講評会	実習	手のクロッキー(エスキース)	240
7回	テーマ 内容	観察による対象の理解 人体デッサン・固定ポーズ(木炭紙)	実習	解剖図の模写	240
8回	テーマ 内容	観察による対象の理解 人体デッサン・固定ポーズ(木炭紙)	実習	解剖図の模写	240
9回	テーマ 内容	観察による対象の理解 人体デッサン・固定ポーズ(木炭紙)	実習	解剖図の模写	240
10回	テーマ 内容	観察による対象の理解 人体デッサン・固定ポーズ(木炭紙)	実習	解剖図の模写	240

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	観察による対象の理解	実習	グラデーションの研究	240
	内容	石膏デッサン(木炭紙) 頭像・胸像(選択)			
12回	テーマ	観察による対象の理解	実習	グラデーションの研究	240
	内容	石膏デッサン(木炭紙) 頭像・胸像(選択) 中間評			
13回	テーマ	観察による対象の理解	実習	グラデーションの研究	240
	内容	石膏デッサン(木炭紙) 頭像・胸像(選択) 講評			
14回	テーマ	観察による対象の理解	実習	グラデーションの研究	240
	内容	石膏デッサン(木炭紙) 頭像・胸像(選択)			
15回	テーマ	観察による対象の理解	実習	グラデーションの研究	240
	内容	石膏デッサン(木炭紙) 頭像・胸像(選択) 講評			
16回	テーマ	観察による対象の理解	屋外実習	クロッキー	240
	内容	動物スケッチ			

科目名	コンピュータ基礎実習(1美)				開講学年	1	講義コード	1670601	区分	選択		
英文表記	Practice of basic computer Literacy				開講期	前期	開講形態		単位数	4		
担当教員	柳田也寿志											
研究室	D-213						オフィス アワー 木曜日1・2					
メールアドレス	shimojo@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	コンピュータ,ハードウェア,ソフトウェア,プレゼンテーション											
授業概要	<p>コンピュータが生産機材として、またコミュニケーションの道具として確立された今日においてコンピュータを使えるということが当然になっている。ここでは、コンピュータの、道具としての位置づけを明確にしたい。そのためにコンピュータを使う目的を明確にし、各自のテーマに沿った調査・情報収集・分析・プレゼンテーションまでの一連の作業を通して、コンピュータの道具としての位置づけを明確にする。また、プレゼンテーションの重要性とその前のコミュニケーションの重要性を認識し、コンピュータという道具を通して人に情報を伝える能力を習得する。各課題ごとの提出制作物の講評を行い、評価を行う。また同時に適切なアドバイスを行う。</p>								関連科目		デザイン概論	
									建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…必修【科目区分】…文部科学省令で定める科目【各科目に含めることが必要な事項】…情報機器の操作</p>								学修・教育目標			
									JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	コンピュータの基本操作ができるようになる。										
	②	画像加工技術の習得が可能になる。										
	③	パワーポイントでのプレゼンテーションができるようになる。										
	④											
	⑤											
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	20	60	0	10	10	100			
教科書	授業時に配布											
参考書	授業時に配布											

予備知識	1,提出期限を厳守する 2,自ら発想し製作する 授業内のコンピュータの操作の復習と各自のテーマについて、常にリサーチしておくこと。
DPとの関連	優れた応用力を有する専門家になるため、汎用的基礎力と基本的な専門知識を身につけたもの。
実務経験のある教員	
評価明細基準	課題のすべてが提出されなければ作品点は0となる。 成果発表(口頭・実技) 60点 レポート 20点 ポートフォリオ 10点 出席 10点

コンピュータを使いこなしている人、全く苦手な人など様々であろうと想像します。コンピュータは道具であるということを知覚することを目的としているので何も知らないことを前提に授業を展開します。大切なのは自分で決めたテーマをプレゼンテーション出来ることであり、コンピュータそのものを学ぶことではない。日頃からテーマにできるものを意識して欲しい。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	コンピュータ基礎	講義+課題 +プレゼン テーション	「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	コンピュータのハードウェアとソフトウェア 特にデータの流れを中心に簡単な構造を解説する。ハードウェア(HD,メモリー,CPU,モニタなど)の解説。			
2回	テーマ	コンピュータ基礎	講義+課題 +プレゼン テーション	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	コンピュータで文字を扱うコンピュータで扱う色情報の解説。画質(解像度と階調)について解説。出力機(プリンター)の種類と方式に関しての解説。			
3回	テーマ	アプリケーション操作概要	講義+課題 +プレゼン テーション	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	プレゼンテーションソフトウェア(パワーポイント)の解説1 プレゼンテーションの大切さと方法を解説。パワーポイントの実習。			
4回	テーマ	アプリケーション操作概要	講義+課題	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	フォトショップの基本操作			
5回	テーマ	アプリケーション操作概要	講義+課題	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	フォトショップの応用操作			
6回	テーマ	アプリケーション操作	講義+課題	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	イラストレータのための基本操作			
7回	テーマ	テーマ発表	講義+課題 +プレゼン テーション	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分) パワーポイントを使用して各自発表。一人3分 質疑応答(アドバイスなど)宿題:テーマに関しての調査。	120
	内容	各自のテーマと概要(なぜこのテーマなのか)を発表(プレゼンテーション)キックオフ			
8回	テーマ	プレゼンテーション作成	講義+課題 +プレゼン テーション	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分) 資料調査と報告。宿題:テーマに関しての調査。	120
	内容	テーマに関する資料調査:スライド作成準備1			
9回	テーマ	プレゼンテーション作成	講義+課題 +プレゼン テーション	「予習」製作 「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分) 資料調査と報告。宿題:テーマに関しての調査。	120
	内容	テーマに関する資料調査:スライド作成準備2			
10回	テーマ	プレゼンテーション作成	講義+課題 +プレゼン テーション	プロジェクターを使用し、全員の前でプレゼンテーション。プレゼン資料作成(パワーポイント)宿題:テーマに関しての調査。	120
	内容	テーマに関する資料調査:スライド作成準備3 資料調査と報告。			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	中間発表	講義+課題 +プレゼン テーショ ン	プロジェクターを使用し、全員の前でプレゼンテーション。	120
	内容	中間プレゼンテーション			
12回	テーマ	プレゼンテーション作成	講義+課題 +プレゼン テーショ ン	中間プレゼンテーションの修正作業。「予習」製作「復習」 製作 自己チェックシートの記入(5分)	120
	内容	内容確認と修正			
13回	テーマ	プレゼンテーション作成	講義+課題 +プレゼン テーショ ン	予習」製作「復習」製作 自己チェックシートの記入(5分)中 間プレゼンテーションの修正作業。	120
	内容	内容確認と修正			
14回	テーマ	発表	講義+課題 +プレゼン テーショ ン	「予習」製作「復習」製作 プロジェクターを使用し、全員の前 でプレゼンテーション。質疑応答。	120
	内容	最終プレゼンテーション1			
15回	テーマ	総括	講義+課題 +プレゼン テーショ ン	「予習」製作「復習」製作 プロジェクターを使用し、全員の前 でプレゼンテーション。質疑応答。	120
	内容	最終プレゼンテーション2			

科目名	日本画実習ⅠA(1美)			開講学年	1	講義コード	1670901	区分	選必	
英文表記	Japanese PaintingⅠA			開講期	前期	開講形態		単位数	8	
担当教員	中村 賢次(実務経験) 田淵 恵理(非常勤)									
研究室	A416					オフィス アワー 水曜昼休み				
メールアドレス	ken1214@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	日本画									
授業概要	日本画には特有の用具・材料があり、基本的にその原材料の全てがこの日本国内の自然から採取することが出来る。その使用方法に於いては季節や時間、気候等と深く関連があり、この授業では前職における文化財保存修復の実務の経験を活かし、伝統的な画材に関する基礎知識と技術修得において授業の中で学生たちに教授している。また、日本画制作に於いて最も基本的、且つ重要である写生に重点を置いて、描くことの基本姿勢や日本特有の空間に対する意識や感性としての美意識、自然観を身に付ける。						関連科目			
							日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	日本画の画材の名称及び原材料を理解し、その基本的な使用方法を理解できるようになる。								
	②	基礎的な描写力と描くための集中力・持久力を身に付けることができるようになる。								
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	0	80	10	出席及び制作姿勢(10点)	100	
教科書	授業の中で指示する									
参考書	授業の中で指示する									

予備知識	高校美術までの日本画に関する基礎知識
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	中村 賢次
評価明細基準	日常的に作品を前に口頭での質疑を行うことによって理解度を確認。一作品ごとに合評・採点を行う。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	日本画の基礎知識	講義	日本画の定義について自分なりの考えを探る	720
	内容	現在に至るまでの日本画の歴史的背景を理解する			
2回	テーマ	日本画の画材	講義	実際の画材に触れ、その用途について確認する	720
	内容	名称・原材料・基本的な使用方法を理解する			
3回	テーマ	筍	実習	鉛筆の使用方法を検討する	720
	内容	鉛筆による細密写生			
4回	テーマ	筍	実習	鉛筆の使用方法を検討する	720
	内容	鉛筆による細密写生			
5回	テーマ	筍	実習	鉛筆の使用方法を検討する 自身の作品を客観的に観察・評価	720
	内容	鉛筆による細密写生及び合評・採点			
6回	テーマ	ジャガイモとネギ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	和紙(美濃紙)を水貼りし鉛筆で描写			
7回	テーマ	ジャガイモとネギ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	墨入れ(骨描き及び濃淡)と地塗り			
8回	テーマ	ジャガイモとネギ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	細密写生(水干絵具)			
9回	テーマ	ジャガイモとネギ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	細密写生(水干絵具)			
10回	テーマ	合評及び採点	講義	自身の作品を客観的に観察・評価	720
	内容	客観的に自身の作品を捉える			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	スルメ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	和紙(美濃紙)を水貼りし鉛筆で描			
12回	テーマ	スルメ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	墨入れ(膏描き及び濃淡)と地塗り			
13回	テーマ	スルメ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	細密描写(水干絵具)			
14回	テーマ	スルメ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	細密描写(水干絵具)			
15回	テーマ	スルメ	実習	画材の特性と使用方法を検討する	720
	内容	細密描写(水干絵具)			
16回	テーマ	合評及び採点	講義	自身の作品を客観的に観察・評価	180
	内容	客観的に自身の作品を捉える			

科目名	洋画実習ⅠA(1美)			開講学年	1	講義コード	1671101	区分	選必	
英文表記	Oil PaintingⅠA			開講期	前期	開講形態		単位数	8	
担当教員	下城賢一 熊谷有展 古澤伸一郎(非常勤) 中川百合恵(非常勤)									
研究室	L号館D201					オフィス 月1・2 水1・2 木1・2 金1・アワー 2				
メールアドレス	shimojo@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	基礎デッサン 油彩 素描 人物デッサン 人体デッサン									
授業概要	1年時のカリキュラムは平面絵画形式にかかわる基礎造形力を身につけ、その特性を生かすために必要な実力を獲得することを主眼において組まれている。適切な観察によるモチーフの理解(観察力)・再現性の高い描写力(技術)・美しい画面に不可欠な構成力と構図を組む力(構成力)。この3点を軸に具体的な課題をに取り組んでもらう。さらには2年次における当該科目の連続性を考慮した必須項目として、モチーフにおける形体や色彩、固有色についても学ぶ。この課題によって完成した作品から以下の評価基準を基に観察力・技術・構成力のポイントにしほり評価採点する。						関連科目			
							洋画実習ⅠB、洋画実習ⅡA、洋画実習ⅡB、洋画実習ⅢA、洋画実習ⅢB、洋画実習ⅣA、洋画実習ⅣB			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	再現性の高い描写力を養うことができる								
	②	人体骨格・筋肉など基本構造が理解できる								
	③	油彩画の技法を習得することができる								
	④	バランスの取れた構成・構図を理解することができる								
	⑤	平面上における立体表現を再現することができる								
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	30	50	10	10	100	
教科書	授業の中で指示する									
参考書	授業の中で指示する									

予備知識	基礎デッサン、西洋美術史、日本美術史、絵画技法論
DPとの関連	テーマにそった内容の講義を実習内に適時に行い、テーマにつながる文献等を紹介する。実習外で美術館見学などを通じて鑑賞力を身につける。古今の西洋絵画の名画の画像資料を用いて構成・構図の研究、画題の研究を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.成果発表(作品講評会)において適切な評価、指導、感想を交えて次回の作品制作へと発展させることができる。(10点×3回 計40点) 2.出題された課題と、設定されたモチーフのテーマを良く理解し、完成度、課題への理解度、表現力、取り組む姿勢などを総合評価する。(50点) 3ポートフォリオによる振り返り(10点)

課題制作に必要な画材を事前に用意する。実技・技法・画材などの専門用語と知識を習得する。それぞれが成果発表にて得た知識や自らの問題点をノートまとめ復習すること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	自画像			
2回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	自画像			
3回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	自画像			
4回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	自画像			
5回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	自画像			
6回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物デッサンⅠ			
7回	テーマ	講評	実習 講評	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	静物デッサンⅠ			
8回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物デッサンⅠ			
9回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物デッサンⅠ			
10回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物デッサンⅠ			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	講評	実習 講 評	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	人物デッサンⅠ			
12回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	人物デッサンⅠ			
13回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	人物デッサンⅠ			
14回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	人物デッサンⅠ			
15回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	人物デッサンⅠ			
16回	テーマ	講評	実習 講 評	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	人物デッサンⅠ			
17回	テーマ	デッサン	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	人物デッサンⅠ			
18回	テーマ	油彩画	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物/油彩			
19回	テーマ	油彩画	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物/油彩			
20回	テーマ	油彩画	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物/油彩			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
21回	テーマ	油彩画	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物/油彩			
22回	テーマ	油彩画	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	静物/油彩			
23回	テーマ	油彩画	実習 講評	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	静物/油彩			
24回	テーマ	油彩画	実習	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	静物/油彩			
25回	テーマ	油彩画	実習	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	静物/油彩			
26回	テーマ	油彩画	実習	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	静物/油彩			
27回	テーマ	油彩画	実習	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	静物/油彩			
28回	テーマ	油彩画	実習	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	静物/油彩			
29回	テーマ	油彩画	実習	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	静物/油彩			
30回	テーマ	油彩画	実習	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180
	内容	静物/油彩			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
31回	テーマ ----- 内容	油彩画 静物/油彩	実習	講評に基づいた今後の自身の課題確認	180

科目名	彫刻実習ⅠA(1美)				開講学年	1	講義コード	1671301	区分	必修	
英文表記	sculpture work 1A				開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	清島 浩徳										
研究室	L A-216						オフィス アワー 月曜 5限				
メールアドレス	hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	粘土 彫刻 塑像 頭像										
授業概要	粘土による頭像の制作を行う。写実的な表現を試みることで、基礎的な立体造形力を身につけることを目指す。量感や奥行きといった、立体ならではの感覚を高め、粘土素材を自由に駆使できるようになるには、多くの修練が必要である。頭像制作は、人物の表情や人格までも写し出す、大変高度な技量が求められる。何度も繰り返し制作を続けながら、表現者としての感性、観察眼を養う。授業以外の時間で自主的に制作を深め、毎日制作する習慣を身につけることで、表現者としての資質の向上を目指す。							関連科目			
								西洋彫刻論 西洋美術史 彫刻実習IB 石膏実技実習A 石膏実技実習B			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	モデルを観察して、特徴を把握できるようになる									
	②	粘土の性質を知って塑像の制作過程を理解できるようになる									
	③	塊や面などについて理解できるようになる									
	④	道具の使い方を工夫できるようになる									
	⑤	塑像の楽しみを味わえるようになる									
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	70	10	20	100		
教科書	適宜指示する										
参考書	適宜指示する										

予備知識	基礎科目:西洋美術史Ⅰ、西洋美術史Ⅱ、美術領域論Ⅱ(立体)
DPとの関連	芸術や文化における専門家としての基礎的な技術や知識を総合的に身に付け、造形活動や芸術の研究を通して培った豊かな感性や高い倫理観を持った、社会人となるための修練や、あらゆる物事に真摯に取り組む姿勢を持つ人物の育成を目指すとともに、社会における芸術の役割を認識した上で、現代の課題を発見し、それを解決することによって未来の文化形成に寄与し、社会貢献できる人物を育成するという目標沿った授業となっています。
実務経験のある教員	清島浩徳
評価明細基準	・デッサンの的確さ ・塑像制作の基礎的な技法 ・準備、作品管理 ・制作への真摯な取り組み ・作品を高度化するための自主的な制作

・制作に入る前の準備、制作後の片付け、さらに作品管理をすることも制作に必至。粘土を常に最適な状態にし、モデルへの配慮も忘れず授業に臨むという、基本的なマナーも身につける。観察眼を伸ばすためのデッサンや制作を毎日するペースを身につけ、表現者としての自覚を持つことが大切である。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ 内容	モデルのデザインをして特徴を把握する	実習、A L	1毎日デッサンする	180
2回	テーマ 内容	粘土の研究	実習、A L	1粘土の性質、種類などを予習する	180
3回	テーマ 内容	塑像制作の流れを理解する	実習、A L	カーヴィング、とモデリングの作品を比較し、塑像の特徴を予習する	180
4回	テーマ 内容	心棒組みと荒付け	実習、A L	心棒に使用する材料を用意しておく	180
5回	テーマ 内容	粘土による頭像制作Ⅰ	実習、A I L	粘土管理をし、自主的な制作をする	1080
6回	テーマ 内容	中間講評Ⅰ 相互評価	実習、A I L	講評を反映して制作する	180
7回	テーマ 内容	粘土による頭像制作Ⅱ	実習、A I L	粘土管理をし、自主的な制作をする	1260
8回	テーマ 内容	中間講評Ⅰ 相互評価	実習、A I L	講評を反映して制作する	180
9回	テーマ 内容	粘土による頭像制作Ⅲ	演習、A L	粘土管理をし、自主的な制作をする	1800
10回	テーマ 内容	最終講評・評価	実習、A I L	評価を反映し、次作の計画を立てる	180

科目名	美術史基礎演習Ⅰ(1美)				開講学年	1	講義コード	1671701	区分	選必	
英文表記	Basic Study for Art History I				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A313						オフィス アワー 金曜3限				
メールアドレス	seki1963@art.soyo-u.ac.jp										
キーワード	作品解説・構造分析 展覧会評 作家論 評論 AL、PBL										
授業概要	<p>本学科の人材育成の目標の一つに、「芸術・文化における多様な基本的知識と教養を身に付ける」があり、本科目は芸術文化コース1年生の初めての専門科目として必要不可欠な科目である。美術雑誌や展覧会図録、新聞、美術史学や芸術学、美学等の学術雑誌に掲載された1～3回で読み切れる長さの、さまざまなジャンルの作品解説や展覧会評、作家論、美術評論、美術理論、学術論文などを採り上げて読み進めることで、美術や芸術に関わる著作物にはさまざまな言説・論述形態があることを学び、基礎的かつ専門的な記述力を養うとともに、展覧会等の観覧によって初歩的なフィールドワーク力を養う。また、フィードバックとして執筆した展評や作品解説を添削して返却していくので、修正するとともに、なぜ赤入れされたのかをもう1度考え、赤入れ箇所が少なくなるよう努力して欲しい。</p>							関連科目			
								西洋美術史、日本美術史、東洋美術史、美術概論、西洋彫刻論、美術ジャーナル論など			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	作品解説の構造を知り、作品解説が書けるようになる。									
	②	作家略歴の書き方を知り、作家略歴が書けるようになる。									
	③	展覧会評の構造を知り、展覧会評が書けるようになる。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	75	0	10	15	100		
教科書	授業の中で配布										
参考書	美術批評家著作選集 ゆまに書房 五十殿利治監修 美術批評史 みすず書房 リオネロ・ヴェントゥーリ著 辻 茂訳 各種図録										

予備知識	特に必要ありませんが、新聞や美術雑誌等に掲載された展覧会案内や展覧会評に目を通すくせをつけて欲しい。
DPとの関連	芸術文化研究の基礎的方法や専門的知識を学び、論理的思考力を身に付けることで、さまざまな問題や課題を論理的に解決する力が身に付けられる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	課題として「作品解説」(計3本)(各15点)と「展覧会評」2本(各15点)を書いてもらい、それらと出席率(15点)、ポートフォリオ(10点)を総合して評価する。合計が6割に満たない場合は課題を再提出させる。

作成された課題は毎年開催される美術学科展に展示物として展示する。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	概説	講義 演習	授業の進め方・目標を理解する	0
	内容	オリエンテーション(講義の説明と資料配布) 平面の作品(西洋・日本・東洋)解説の読解とその構造分析			
2回	テーマ	作品解説とは	講義 演習	配布資料の復習	30
	内容	平面の作品(西洋・日本・東洋)解説の読解とその構造分析			
3回	テーマ	作品解説とは	講義 演習	配布資料の復習	30
	内容	立体の作品(西洋・日本・東洋)解説の読解とその構造分析			
4回	テーマ	作品解説とは	講義 演習	配布資料の復習	30
	内容	立体の作品(西洋・日本・東洋)解説の読解とその構造分析			
5回	テーマ	展覧会評とは	講義 演習	配布資料の復習	30
	内容	新聞や美術雑誌掲載の展覧会評の読解とその構造分析			
6回	テーマ	展覧会評とは	講義 演習	配布資料の復習	30
	内容	新聞や美術雑誌掲載の展覧会評の読解とその構造分析			
7回	テーマ	美術評論とは	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	作家論もしくは美術評論の読解とその構造分析			
8回	テーマ	美術評論とは	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	作家論もしくは美術評論の読解とその構造分析			
9回	テーマ	学術論文とは	講義 演習	配布資料の復習	50
	内容	学術論文の読解とその構造分析			
10回	テーマ	学術論文とは	講義 演習	配布資料の復習	50
	内容	学術論文の読解とその構造分析			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	展覧会評を書く	AL PBL	観てきた展覧会についてメモして整理し、展覧会評(1)を事前に作成してくる	120
	内容	展覧会評を書く(1)執筆・発表・添削			
12回	テーマ	展覧会評を書く	AL PBL	観てきた展覧会についてメモして整理し、展覧会評(2)を事前に作成してくる	120
	内容	展覧会評を書く(2)執筆・発表・添削			
13回	テーマ	作品・作家解説を書く	AL PBL	作品解説・作家解説(1)を事前に作成	120
	内容	作品解説・作家解説(1)執筆・添削			
14回	テーマ	作品・作家解説を書く	AL PBL	作品解説・作家解説(2)を事前に作成	120
	内容	作品解説・作家解説(2)執筆・添削			
15回	テーマ	仕上げ	AL 実習	授業の前にパネル原稿を作成	120
	内容	パネル原稿の作成・出力・カッティング			

科目名	視覚造形実習ⅠA(1美)				開講学年	1	講義コード	1671901	区分	選択		
英文表記	Visual Arts work ⅠA				開講期	前期	開講形態		単位数	6		
担当教員	永田 郁(科目主務) 新任 森英顕(非常勤) 野島泉里(非常勤)											
研究室	永田L号館A208						オフィス アワー 水曜日5限(永田)					
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	アート制作 ドローイング 素材・道具 グラフィック・アート											
授業概要	<p>視覚造形実習ⅠA概要 本実習は視覚芸術コース独自のプログラムであり、アート制作にあたってデザイン的表現方法を含め、様々な領域を横断して作品制作が可能となる基本的な思考・方法論を学び、2年次以降自分が構想するイメージを多様なメディアを統合して作品制作できる基礎的なものの見方、考え方やデザイン的思考を学び、アート制作の基盤を構築する。前期は①素材の取り扱い、道具の扱いなどの技術実習②グラフィック・アート領域、③デッサン・ドローイングで構成される。アート制作に必要な基本的な技術・発想法を含めアートへのアプローチの方法を習得していく。なお、理論およびプレゼンテーション、ライティングの技術については視覚造形演習A、B(永田担当)において習得していく。各課題において講評を実施することによりフィードバックを行う。本実習は週2コマ×3回で実施される。2年次以降のアート制作を実現するための様々なツール(デザイン領域、アート理論領域)を修得し、自分が制作したい作品内容を実現するための方法を様々な分野を横断しながら、作品に落とし込み、その表現方法を身につけていく。各領域の担当開講曜日は下記の通りである。水曜日1-2限:素材の取り扱い・実技実習(林浩【美/非】) 木曜日1-2限: 金曜日3-4限:デッサン・ドローイング(野島(泉)【美/非】・永田【美】)</p>								関連科目 視覚造形実習ⅠB/視覚造形演習A/視覚造形演習B			
	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造								
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。								学修・教育目標			
									JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	アート制作にあたり、必要な基本的なものの考え方、素材や道具の扱い方、体を動かして発想する方法を理解できる。										
	②											
	③											
	④											
	⑤											
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	0	80	10	10	0	100			
教科書	特に指定しない。											
参考書	100の思考実験—あなたはどこまで考えられるか— 紀伊國屋書店 ジュリアン・バジーニ デザインの生態学—新しいデザインの教科書 東京書籍 後藤武著 ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」精読 岩波書店 多木浩二 文化と現実界 青土社 キャサリン・ベルシー 生き延びるためのラカン バジリコ株式会社 斉藤環											

予備知識	
DPとの関連	視覚芸術コースとしての造形活動に対する初歩的・基本的な考え方・ものの見方を思考と体を動かしながら身につけていく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	各クラスの課題80%、ポートフォリオ10%、目標到達度レポート10%の100点。

本実習内容は曜日毎に内容が異なるので、オリエンテーションには必ず出席すること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ 森英顕(非常勤)クラス 素材・道具の扱い方・発想	ガイダンス	講義	実習の目的	180
2回	テーマ 折り紙建築(2-3回)		実習	紙素材の扱い方と加工技法	360
3回	テーマ 段ボールによる立体構成(4-5回)		実習	段ボールの加工と立体構成	360
4回	テーマ スレンヂボードの積層(6-7回)		実習	スレンヂボードによる積層造形	360
5回	テーマ スタイロフォームによる立体造形(8-9回)		実習	スタイロフォームの加工と立体構成	360
6回	テーマ 転写(デカルコマニー)(10回)		実習	カラープリンターを用いた転写	180
7回	テーマ 素材の組み合わせ(11-12回)		実習	ミニチュア街区の制作	360
8回	テーマ 彩色と空間構成(13-14回)		実習	ミニチュア街区のディテール制作	360
9回	テーマ 作品講評		講評	プレゼンテーションと講評	180
10回	テーマ 野島泉里(非常勤)・永田 ドローイング①	ドローイング課題1(3週間) 総合ガイダンス 身の回りの線を探そう 身の回りのものを描く	実習	いわゆるデッサンは、ドローイングの中の一手法であるといえる。様々なドローイングの方法を体験しながら、五感で物事をとらえる手段としてのドローイングを身に着ける。	540

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	ドローイング②	実習	実習時間以外にもドローイングをし、ものの見方を身につける。	540
	内容	ドローイング課題2(3週間) 絵日記ドローイング			
12回	テーマ	ドローイング③	実習	実習時間以外にもドローイングをし、ものの見方を身につける。	540
	内容	ドローイング課題3(3週間) 動作によるドローイング			
13回	テーマ	ドローイング④	実習	実習時間以外にもドローイングをし、ものの見方を身につける。	540
	内容	ドローイング課題4(3週間) 100枚ドローイング			
14回	テーマ	ドローイング⑤	実習	実習時間以外にもドローイングをし、ものの見方を身につける。	180
	内容	ドローイング課題5(3週間) 想像方のためのドローイング 課外授業:歩行の跡を記憶する			
15回	テーマ	新任クラス	講義		180
	内容	ガイダンス(作成中)			

科目名	視覚造形演習A(1美)				開講学年	1	講義コード	1672101	区分	選択	
英文表記	Visual Art Basic Seminar A				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	A208(芸術学部棟)						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アートって何 ダンボール自画像 企画構想 芸術理論 抽象力										
授業概要	視覚芸術コースのカリキュラムの視覚造形実習IA、IBの実技実習と連動して、本演習は理論と制作に必要な言語・思考能力について受講者のプレゼンテーション、ライティング(レポート作成)を通して、「美術って何」という問いに対して、理解を深め、制作に必要な「抽象力」を高めることを目的とする。その他、ダンボール自画像を通して、客観的に自分を見つめ、それを如何にアウトプットするか、企画構想から制作までを自分の立てた見積りに即して実現出来るかを検証していく。プレゼンテーション、ライティングについては課題毎に演習内で学生にフィードバックを行う。							関連科目			
								視覚造形実習IA、視覚造形実習IB、視覚造形演習B			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	自分の調べた課題を口頭で発表し、さらにその内容を文章化できる。									
	②	自分の作りたいイメージを如何に実現化するかについて、企画・構想から予算立て、制作までの詳細を自分で計画し、実現できる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	40	40	10	10	0	100		
教科書	美術ってなあに? 河出書房新社 スージー・ホッジ 上記のテキストは購入の必要なし、適宜コピーを配布する。										
参考書	5歳の子どもにできそうでできないアート 現代美術の100の読み解き 東京美術 スージー・ホッジ 制作へ EKRITS 上妻世海 路上と観察をめぐる表現史 考現学の「現在」 フィルムアート社 広島市現代美術館監修 抽象の力 亜紀書房 岡崎乾二郎 時のかたち 事物の歴史をめぐる 鹿島出版会 ジョージ・クブラー										

予備知識	
DP との 関連	視覚芸術コースとしての造形活動に対する初歩的・基礎的な考え方・ものの見方を身につけていく。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	プレゼンテーション／レポート(40)、課題(企画書、制作)(40)、ポートフォリオ(紙媒体、10)、目標到達度レポート(10)

オリエンテーションでは、視覚芸術コースの卒業研究(制作)までの実習・演習の流れを説明するので、必ず出席のこと。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	本演習の内容・目的の確認。	180 (1)
	内容	視覚芸術コースで何を学ぶ／何ができる。本演習のオリエンテーション			
2回	テーマ	『美術ってなあに?』を読む、調べる。4月～5月	講義・演習	毎回発表したテーマについて発表後、レポート作成する。	900 (2-6)
	内容	『美術ってなあに?』を読んで、アートに関わるテーマを各自がリサーチし、発表する。			
3回	テーマ	段ボール自画像制作(予定) 6月	実習	制作スケジュールを各自確認し、作業を進める。	720 (7-10)
	内容	学科展(予定)に向けて、企画構想・予算立て・制作。			
4回	テーマ	作品撮影 (7月第1週)	実習	作品撮影を通して自分の作品を知る。	180 (11)
	内容	学科展の展示作品の撮影			
5回	テーマ	展覧会見学 (7月第2週)	鑑賞見学	観覧後、展評作成。	180 (12)
	内容	熊本県内外の展覧会を見学する。			
6回	テーマ	路上観察と表現 (7月後半～8月第1週)	演習	路上観察の成果を発表する。ポートフォリオ作成。	540 (13-15)
	内容	路上観察から表現の種を探す。「写ルンです路上観察」			

科目名	東洋美術史(2美デ)(通年)				開講学年	2	講義コード	1672301	区分	選択	
英文表記	History of Eastern Art				開講期	通年(前期対面or遠)	開講形態		単位数	4	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala @art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アジア美術史 インド文化 仏教美術 ヒンドゥー教美術										
授業概要	ギリシア・ローマの古典的技法とキリスト教の信仰を基盤とした西洋文明に対して、アジアの文明は必ずしも一体であり一貫しているというわけではなく、大きく3つの文明圏に分けて考えることができる。すなわち、一つは東アジア文明圏、一つは仏教・ヒンドゥー教を中心とするインド文明圏、そしてイスラムの信仰を核とする西アジア文明圏である。本講義は東洋、いわゆるアジアの中でも南アジア、特にインド美術を取り上げ、宗教美術(仏教・ヒンドゥー教など)を中心に講義していく。その際、我々が住む東アジア(中国・日本)の関係にも触れながら、古代のアジアの美術の様相について歴史的背景による表現形式の違い、民族や宗教の違いに留意して理解していく。また、アジアの文化や芸術に触れることで、異文化理解のための汎用的な観察力・洞察力を養う。本講義の課題や小テストに関しては適宜フィードバックを行う。							関連科目			
								すべての芸術学部開講科目に関連する。特に日本美術史、西洋美術史、美術概論、日本文化特論(近代)、日本・東洋美術史特論I/II、宗教芸術・文化II(アジア)、教職課程科目(必修)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…必修【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							学修・教育目標			
								JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	各回の内容を通して、アジア芸術・文化に関する基礎的な知識・ものの見方・考え方を理解することができる。									
	②	インドおよびアジアに仏像の様式を理解し、その違いを見分けることができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	70	20	0	0	10	0	100		
教科書	特にテキストは使用しない。										
参考書	増補新装 カラー版東洋美術史 美術出版社 前田耕作監修 アジアの芸術史 造形篇II 朝鮮半島・西アジア・中央アジア・インド(芸術教養シリーズ4) 美術学舎 金子典正編 インド文化事典 丸善出版 インド文化事典編集委員会 インド美術史 吉川弘文館 宮治昭 世界美術大全集 東洋編 1-13-15/中国、朝鮮半島、東南アジア、インド1、インド2・中央アジア 小学館										

予備知識	
DPとの関連	造形活動や芸術文化研究における基礎的な知識、ものの見方・考え方を学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	WEBClassの前後期の出席レポート(小テスト、70点・前後期の平均点)とアジア地図(10点)およびアジア体験レポート(10点)、SOJOポートフォリオの学修到達度レポート10点で成績を出す。

通年の授業であるので、前期・後期を通じて受講しないと単位取得できません（履修登録は前期のみ）。単位修得の条件は①出席3分の2以上、②課題提出あるいは小テストの点数が合計50点以上を満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	アジア、インドってどんなところ?	講義	アジア地図作成。	90(1)
	内容	アジア地図を作ろう。			
2回	テーマ	インドってどんなところ?	講義	ヒンディー語で名前を書く。	180(3)
	内容	其の2:インドの文字とヒンディー語			
3回	テーマ	付論:インド美術の曙	講義	3.の配布資料の復習。	90(4)
	内容	インダス文明			
4回	テーマ	インド美術のはじまり	講義	4.の配布資料の復習。	180(6)
	内容	マウリヤ朝の美術/民間信仰の造形			
5回	テーマ	仏教美術の開花①	講義	5.の配布資料の復習。	90(7)
	内容	パールラット			
6回	テーマ	仏教美術の開花②	講義	6.の配布資料の復習。	90(8)
	内容	サニシチー			
7回	テーマ	クシャーーン朝の美術①	講義	7.の配布資料の復習。	180(10)
	内容	ガシタニラ			
8回	テーマ	クシャーーン朝の美術②	講義	8.の配布資料の復習。	90(11)
	内容	マトウラー			
9回	テーマ	南インドの仏教美術①②	講義	9.の配布資料の復習。	180(12-13)
	内容	アマラーヴァティ:ナーガールジュナコナダ			
10回	テーマ	展覧会あるいは寺社見学	実地見学	事前レポート/事後レポート 前期定期試験	180(14-15)
	内容	展覧会あるいは寺社見学(2コマ分前期実施) 見学および展覧会レビュー 前期定期試験(第15回)			

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	グプタ朝の美術	講義	11.の配布資料の復習。	180 (16-17)
	内容	古典様式の仏像の成立			
12回	テーマ	アジアと日本の仏たち	講義	アジアの仏像の復習。	180 (18-19)
	内容	スリランカ、中央アジア、東南アジア、東アジア(中国・朝鮮半島)、日本			
13回	テーマ	インドの石窟寺院:序	講義	13.の配布資料の復習。	180 (20-21)
	内容	インドの石窟寺院とは?			
14回	テーマ	ヒンドゥー教美術の世界①	講義	14.の配布資料の復習。	180 (22-23)
	内容	初期ヒンドゥー教美術(グプター朝)・シヴァ神の神話世界			
15回	テーマ	ヒンドゥー教美術の世界②	講義	15.の配布資料の復習。	180 (24-25)
	内容	ヴァイシュナブ神の神話世界・女神その他・ジャイナ教の世界			
16回	テーマ	インドの石彫寺院	講義	16.の配布資料の復習。	180 (26-27)
	内容	エローラ・カイルーサナータ寺院・南インド、マーマーラプラムの石彫寺院			
17回	テーマ	インド中世の寺院建築	講義	17.の配布資料の復習。石窟、石彫寺院理解度小テスト。	180 (28-29)
	内容	寺院のイメージ/曼荼羅としての寺院			
18回	テーマ	総括	講義	課題等の返却。	180 (30-31)
	内容	アジアの美術・文化への理解(第31回)			

科目名	色彩論演習(2美)				開講学年	2	講義コード	1672501	区分	選択	
英文表記	Seminar on theory of colors				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田和之(非常勤) 熊谷有展										
研究室	芸学3F						オフィス アワー 金曜日5時限目				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	色彩論										
授業概要	<p>私達の周りの環境は、色彩に満ちあふれている。そしてその色彩を通して、多くの情報が伝達されている。色彩は特に重要不可欠な要素の一つである。ここでは、平面作品の制作を通して、その作品における色彩の意味や必要性、重要性を学び、平面絵画における色彩の可能性をさぐる。また、色彩の基本的な特性、本質を理解させ、より良いかたちで色彩を活用していけるような手助けを目指したい。授業の中で適宜、作品講評会を行い作品上のアドバイスと評価を行う。</p>							関連科目			
								実習			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	色彩の特性・本質を理解できる									
	②	色彩をより良く活用することができる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	70	10	20	100		
教科書	プリント、描画材料など										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	講義とそれらを踏まえての演習
DPとの関連	自己理解・自己管理能力、課題対応能力を身につけ、それらを実践できるもの
実務経験のある教員	
評価明細基準	1 作品評価(70点) 2 ポートフォリオ(10点) 3 その他制作に関する姿勢など(20点)

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	色彩	講義、演習	色彩の基本的特性について	90
	内容	色彩とは何か 点描による演習			
2回	テーマ	//	//	//	90
	内容	//			
3回	テーマ	//	//	表色法	90
	内容	色の表し方 点描による演習			
4回	テーマ	//	//	//	90
	内容	//			
5回	テーマ	//	//	加法混色、減法混色、三原色など	90
	内容	混色の原理と応用 点描による演習			
6回	テーマ	//	//	//	90
	内容	//			
7回	テーマ	//	//	刺激と色感覚	90
	内容	色彩の知覚的効果 点描による演習			
8回	テーマ	//	//	//	90
	内容	//			
9回	テーマ	//	//	//	90
	内容	//			
10回	テーマ	//	//	色彩の感情効果	90
	内容	色彩の感情効果 点描による演習			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	//	//	//	90
	内容	//			
12回	テーマ	//	//	//	90
	内容	//			
13回	テーマ	//	//	色彩の調和	90
	内容	色彩の美的効果 点描による演習			
14回	テーマ	//	//	//	90
	内容	//			
15回	テーマ	//	//	//	90
	内容	//			

科目名	美術領域論Ⅱ（立体造形）（2美デ）				開講学年	2	講義コード	1672601	区分	選択	
英文表記	Art theory 2 (3D modeling)				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	清島 浩徳（実務経験）										
研究室	L-A-216						オフィス アワー 月曜5限				
メールアドレス	hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	立体造形										
授業概要	様々な国や時代の彫刻作品や立体造形物を概観し、作品の良さや美しさを感じ取り、作者の意図や心情についても考え、その作品の歴史的、社会的背景などにも触れながら、立体芸術への興味を引き出し、最終的に立体造形や作家研究のテーマを決めプレゼンテーションを行う。プレゼンや関連レポートについては適宜学生にフィードバックする。立体芸術を深く味わう楽しさを共有しながら、表現者としての資質を伸ばしていく。							関連科目			
								彫刻実習、西洋彫刻論、彫刻特論、東洋美術史			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	立体造形物への興味と知識を深めることができる									
	②	美術史と彫刻作品や作家などを関連づけて理解することができる									
	③	自らテーマを見つけ、研究することができるようになる									
	④	研究したものをプレゼンテーションすることができるようになる									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	50	30	0	10	10	100		
教科書	適宜指示する										
参考書	適宜指示する										

予備知識	西洋美術史、日本美術史、東洋美術史、西洋彫刻論
DPとの関連	彫刻作品を通して、造形的なよさや美しさを感じ取り、発送や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めることができるようになる。彫刻作品に関する幅広い専門知識と、考察力の備わった人材育成を目指す。
実務経験のある教員	清島浩徳
評価明細基準	・立体造形物や彫刻家に対する興味と研究姿勢 ・研究内容のプレゼンテーションおよびレポート ・出席などを併せて評価する

常に、いつ、誰が、どのように、なんの為にそれを作ったかという観点に立ち、自ら疑問を持つことで、研究のきっかけを見つける姿勢が必要。また表現者としての立場と、客観的な立場の双方から造形物や作家を考察することで、鑑賞力の向上を目指す。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	立体の造形物について俯瞰する	講義		90
	内容	心に響く彫刻（導入）			
2回	テーマ	古代の彫刻	講義	西洋美術史の予習	90
	内容	古代文明の彫刻概観			
3回	テーマ	ギリシア彫刻	講義	西洋彫刻論の（予習、復習）	90
	内容	ギリシア彫刻概観			
4回	テーマ	キリスト教美術の彫刻表現	講義	西洋彫刻論（予習・復習）	90
	内容	キリスト教的主題の彫刻、造形物			
5回	テーマ	ルネサンスの彫刻	講義	ミケランジェロ作品の検索	90
	内容	作家論：ミケランジェロとルネサンス、 マニエリスム			
6回	テーマ	バロックから近代の彫刻	講義	バルニーニ作品の検索	90
	内容	バロックから近代の彫刻概観			
7回	テーマ	ロダン、ブールデル、マイヨールの彫刻	講義	ロダン作品の検索	90
	内容	作家論：ロダンとその弟子たち			
8回	テーマ	飛鳥から平安の仏像彫刻	講義	仏教美術史予習 復習	90
	内容	日本の仏教的主題の彫刻、造形物Ⅰ			
9回	テーマ	鎌倉時代の慶派仏師の仏像彫刻	講義	仏教美術史予習 復習	90
	内容	日本の仏教的主題の彫刻、造形物Ⅱ			
10回	テーマ	人物埴輪について	講義	人物埴輪作品の検索	90
	内容	人物埴輪の造形的特徴概観Ⅰ			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	近代から現代彫刻	講義	西洋美術史 復習	90
	内容	近代から現代の彫刻概観			
12回	テーマ	個人プレゼン発表	演習	個人研究	90
	内容	個人研究プレゼンテーション			
13回	テーマ	個人プレゼン発表	演習	個人研究	90
	内容	個人研究プレゼンテーション			
14回	テーマ	個人プレゼン発表	演習	個人研究	90
	内容	個人研究プレゼンテーション			
15回	テーマ	個人プレゼン発表	演習	個人研究	90
	内容	個人研究プレゼンテーション			
16回	テーマ	フィードバックをもとにした自己評価	演習	評価	90
	内容	相互評価 反省など			

科目名	共通絵画実習Ⅰ（日本画）（2美）				開講学年	1	講義コード	1672701	区分	選必	
英文表記	Common Japanese Painting practice I				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	佐藤 和歌子										
研究室	A412						オフィス アワー 火曜日・昼休み				
メールアドレス	w-sato@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画,岩絵具,金箔,銀箔										
授業概要	美術学科に於ける各コースの専門教育のスキル向上のため、所属するコースの専門以外の領域を実体験する。この科目は日本画コース以外の美術学科の学生を対象とし、実習を通して日本画領域への理解を深めるものであり、そのために大きく二つの項目に於ける実習を行なう。最初に日本の文化・美術の成り立ちや日本画の精神性を理解することを目指した実習を行ない、次に日本画特有の画材を用いた技術・技法の習得を目指す。課題についての講評は、授業時間毎または次の授業までに学生一人ひとりに対して指導する。							関連科目			
								共通絵画実習Ⅱ、共通立体実習（彫刻）			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 美術）【各科目に含めることが必要な事項】…絵画（映像）表現を含む。）							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	古来より日本人が大切にしてきた自然界との関わり方を理解した上での写生ができるようになる。									
	②	室内装飾としての役割を踏まえた自然物のイメージ化とその表現への理解ができるようになる。									
	③	日本画の画材の性質を理解できるようになる。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	90	0	出席や制作姿勢（10点）	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	1年次の各コース専門科目
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	出席及び制作姿勢と実習に於ける全ての作品に対して評価を行なう。

授業での実習をスムーズに実施するため、毎回事前に授業項目に必要な道具の検討及び知識を得ておくこと

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	日本画について	講義	日本の文化・美術の成り立ちや日本画の精神性及び画材に対する理解を得る講義	180
	内容	日本画への理解			
2回	テーマ	写生	実習	屋外にて写生1	180
	内容	花または果実の写生(鉛筆)			
3回	テーマ	写生	実習	屋外にて写生2	180
	内容	花または果実の写生(水彩絵具による着彩)			
4回	テーマ	日本画の技法「溜め塗りとたらしこみ」	実習	和紙・墨・筆への理解及び溜め塗り・たらしこみ技法の習得	180
	内容	和紙・墨・筆への理解及び溜め塗り・たらしこみ技法・鳥の子紙			
5回	テーマ	日本画の技法「溜め塗りとたらしこみ」色紙	実習	写生を元にした色紙・短冊制作「色紙」	180
	内容	制作			
6回	テーマ	日本画の技法「溜め塗りとたらしこみ」短冊	実習	写生を元にした色紙・短冊制作「短冊」	180
	内容	制作			
7回	テーマ	日本画の技法「溜め塗りとたらしこみ」砂子	実習	写生を元にした色紙・短冊制作「砂子」	180
	内容	制作			
8回	テーマ	小下図	実習	2,3回目の写生をもとに下図を制作	180
	内容	「小下図」制作			
9回	テーマ	草稿	実習	小下図を見ながら草稿に入る	180
	内容	「草稿」制作			
10回	テーマ	パネル作成・水張り	実習	和紙の水張り	180
	内容	ベニヤ板を切り出し、白麻紙を水張り			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	地塗り	実習	水干絵具で地塗り	180
	内容	前回水張りした百麻紙に永年黄土を地塗り			
12回	テーマ	転写・墨入れ	実習	下図の転写、墨入れ	180
	内容	下図を転写し、墨で濃淡をつける			
13回	テーマ	盛上と箔	実習	盛上、金箔または銀箔	180
	内容	岩絵具「盛上」による効果と箔			
14回	テーマ	岩絵具	実習	岩絵具による彩色	180
	内容	制作			
15回	テーマ	岩絵具	実習 講義	岩絵具による彩色	180
	内容	総評 各評 採点			

科目名	共通絵画実習Ⅱ（洋画）（2美）				開講学年	2	講義コード	1672801	区分	選必	
英文表記	Common OilPainting practiceⅡ				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	下城賢一										
研究室	L号館A102						オフィス アワー 月1・2限目				
メールアドレス	shimojo@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	絵画史 コラージュ技法 絵画鑑賞 細密画 素描										
授業概要	<p>平面絵画に共通する基礎的な知識と技法および絵画鑑賞の心得を学ぶ。通常の制作実習ではカバーしていない領域の技法に取り組み、各々の作品制作の幅を広げ深めるような課題を用意している。そこでは表現形式の特性を模索し、構造や色彩構成などについて学び思考する。適切な絵画展や展覧会を鑑賞することで美術全般の見識と理解を深める。絵画史がどのように発展し、変遷を経て現在に至るのかを理解できるようにする。授業の中で適宜、レポートの評価を行い理解度の評価を行う。</p>							関連科目			
								共通絵画実習Ⅰ(日本画)			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	細密描写ができる									
	②	画家とその作品の時代性が理解できる									
	③	優れた作品と対峙する事で、自身の作品を考えることができる									
	④	様々な技法や画材に精通する									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	20	20	50	10	0	100		
教科書	特になし										
参考書	授業の中で適宜指示										

予備知識	必要な画材を用意すること。
DPとの関連	国内外の美術展を見学することで、幅広い絵画表現の現場に触れる。西洋絵画における発展史および技法論を広く学ぶことで、西洋絵画一般における知見を獲得する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.成果発表(作品の寸評・講評会)を通して制作した作品の評価を次回の作品制作に繋げられるか。(20点) 2.展覧会鑑賞やレクチャーなどのレポート提出(20点) 3.課題制作の完成度とテーマへの理解度(50点) 4.授業の振り返り(10点)

レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	西洋絵画における技法論A1	講義・実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	技法論・素描論・素材論……実習に関する具体的な説明と補足			
2回	テーマ	西洋絵画における技法論A2	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	素描実習			
3回	テーマ	西洋絵画における技法論A3	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	素描実習			
4回	テーマ	西洋絵画における技法論A4	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	素描実習			
5回	テーマ	西洋絵画における技法論A5	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	素描実習			
6回	テーマ	西洋絵画における技法論A6	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	作品講評・解説・評価			
7回	テーマ	西洋絵画史・画家の制作に関する知見1	講義	準備物と課題計画の確認	180
	内容	講義・レポート課題			
8回	テーマ	西洋絵画史・画家の制作に関する知見2	講義	準備物と課題計画の確認	180
	内容	講義・レポート課題			
9回	テーマ	西洋絵画史・画家の制作に関する知見3	講義	準備物と課題計画の確認	180
	内容	講義・レポート課題			
10回	テーマ	西洋絵画史・画家の制作に関する知見4	講義	準備物と課題計画の確認	180
	内容	講義・レポート課題			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	西洋絵画における技法論B1	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	技法論・素描論・素材論……実習に関する具体的な説明と補足			
12回	テーマ	西洋絵画における技法論B2	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	絵画制作			
13回	テーマ	西洋絵画における技法論B3	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	絵画制作			
14回	テーマ	西洋絵画における技法論B4	実習	準備物と課題計画の確認	180
	内容	絵画制作			
15回	テーマ	西洋絵画における技法論B5		準備物と課題計画の確認	180
	内容	作品講評・解説・評価			

科目名	日本画実習ⅡA*1(2美)			開講学年	2	講義コード	1673001	区分	選必		
英文表記	Japanese PaintingⅡA			開講期	前期	開講形態		単位数	8		
担当教員	佐藤 和歌子										
研究室	A412					オフィス アワー 火曜・昼休み					
メールアドレス	w-sato@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画,岩絵具,運筆,色紙,短冊,白描法,彫塗,没骨,溜塗,たらし込み										
授業概要	<p>明治以降、日本の生活文化は大きく西洋文化の影響を受けながら変化してきた。日本絵画の世界もそれに伴い大きく変化し、現代においては会場芸術として額装形態の作品が主流となるが日本建築の存続に対し、軸・色紙・短冊の形態も根強く残ることとなる。この形態・様式に対する理解と伝統技法の習得を目指し、日本画独自の美意識や自然観などから生まれる余白を用いた空間表現と金箔・銀箔を使用した背景の表現について西洋画との違いを意識しながら、自らの表現を追求する。</p>							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	墨・和紙の性質を理解できるようになる									
	②	筆の種類・基本的使用方法・様々な筆法を理解できるようになる									
	③	色紙・短冊等の性質と形態の特徴に起因する特有の表現様式を理解できるようになる									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席(10点)	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	一作品ごとに合評・採点を行う。

この実習は単時限完結であるため、前回の実習における技術的反省点を各自クリアしておくことが重要である。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ 内容	運筆 筆と筆法	実習	画材や技法について十分に検討する	720
2回	テーマ 内容	運筆 潤筆と乾筆、直筆と側筆	実習	画材や技法について十分に検討する	720
3回	テーマ 内容	運筆 和紙の種類・ドーサの有無による相違	実習	画材や技法について十分に検討する	720
4回	テーマ 内容	運筆 干濃淡	実習	画材や技法について十分に検討する	720
5回	テーマ 内容	運筆 竹の鉛筆写生	実習	画材や技法について十分に検討する	720
6回	テーマ 内容	運筆 墨で描く(付立)	実習	画材や技法について十分に検討する	720
7回	テーマ 内容	運筆・合評 谷評・採点	講義	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
8回	テーマ 内容	色紙・短冊 色紙・短冊の技法 百描法・彫塗り・波膏・溜塗り・だらし込み等の表現技法	実習	画材や技法について十分に検討する	720
9回	テーマ 内容	色紙・短冊 色紙 野菜・果物の鉛筆写生	実習	画材や技法について十分に検討する	720
10回	テーマ 内容	色紙・短冊 色紙 墨・顔彩で描く	実習	画材や技法について十分に検討する	720

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	色紙・短冊	実習	画材や技法について十分に検討する	720
	内容	色紙 風景写生(鉛筆淡彩)			
12回	テーマ	色紙・短冊	実習	画材や技法について十分に検討する	720
	内容	色紙 墨彩画(墨ど顔彩)			
13回	テーマ	色紙・短冊	実習	画材や技法について十分に検討する	720
	内容	短冊 花の写生(鉛筆淡彩)			
14回	テーマ	色紙・短冊	実習	画材や技法について十分に検討する	720
	内容	短冊 墨彩画(墨ど顔彩)			
15回	テーマ	色紙・短冊	実習	画材や技法について十分に検討する	720
	内容	短冊 墨彩画(墨ど顔彩)			
16回	テーマ	色紙・短冊・合評	講義	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
	内容	合評・採点			

科目名	洋画実習ⅡA*2(2美)				開講学年	2	講義コード	1673201	区分	選必		
英文表記	Oil PaintingⅡA				開講期	前期	開講形態		単位数	8		
担当教員	下城賢一 熊谷有展 上野洋嗣(非常勤)											
研究室	芸学3F						オフィス アワー 金曜日5時限目					
メールアドレス	shimojo@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	油彩 デッサン テンペラ画 人物表現 静物表現											
授業概要	<p>洋画実習ⅠA・Bを経て、西洋絵画の総合的な完成を求める。絵画上での基礎的な表現力を養い、応用力を身につけ、自由に様々なモチーフとテーマに取り組むことを目的とする。また自らの作品の客観的な評価を自分で行うことが出来るようになり、さらにはプレゼンテーションを通して作品を他者へ向けて発表できる力を身につける。イメージの発想と技術の重要性に目を向け、西洋絵画の歴史における時代ごとの変遷や内容を理解しつつ個々の感性による表現を大切にする。対象物を観察し、調和の取れた感動ある作品を目指す。この授業には汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。</p>								関連科目			
									洋画実習ⅠA、ⅠB			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p>								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	絵画上の表現力を身に付けることができる										
	②	感性による表現を大切にすることができる										
	③	自然な空間表現ができる										
	④	色彩について理解できている										
	⑤	多様な画材の理解と知識がある										
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	0	40	60	10	0	100			
教科書	プリント配布											
参考書	授業の中で指示する											

予備知識	洋画実習ⅠA,ⅠBを経て、絵画の総合的な完成を求める洋画実習ⅢBへと繋がる。
DPとの関連	汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.作品の講評会を受けて作品の客観的な評価と問題点などを次回の作品制作に復習する。40点 2.課題への理解と、モチーフとテーマへの理解を反映させた作品の評価。50点 3ポートフォリオによる振り返り(10点)

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	制作	実習	人物着衣を描く、オリエンテーション、デッサン、エスキース、油彩による着彩	720
	内容	人物画(油彩)			
2回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
3回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
4回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
5回	テーマ	制作	"	" 作品講評	720
	内容	"			
6回	テーマ	制作	実習	静物を描く、オリエンテーション、発想、デッサン、エスキース、油彩による着彩	720
	内容	静物画(油彩)			
7回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
8回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
9回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
10回	テーマ	講評	" 講評	" 作品講評	720
	内容	"			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	制作	実習	人物ヌードを描く、オリエンテーション、デッサン、エスキース、 油彩による着彩	720
	内容	人物画(油彩)			
12回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
13回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
14回	テーマ	制作	"	"	720
	内容	"			
15回	テーマ	講評	" 講評	" 作品講評	720
	内容	"			

科目名	彫刻実習ⅡA*3(2美)				開講学年	2	講義コード	1673401	区分	必修	
英文表記	sculpture work 2A				開講期	前期	開講形態		単位数	6	
担当教員	清島 浩徳 (実務経験)										
研究室	L-A-216						オフィス アワー 月曜 5限				
メールアドレス	hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	塑像による全身像										
授業概要	<p>塑像による人体の全身像を制作する。対象を鋭く観察し、様々なアプローチを試みることによって、造形的な見方・考え方を働かせ、人体の持つ存在感やムーブメントを的確に捉える修練や、それを立体で表現する能力を高める。粘土の持つ可塑性を駆使した表現を自ら探求する姿勢を身につけるとともに、彫刻表現の可能性を追求する態度を養う。作品の自己評価力を高め、作品などに対する見方や感じ方を深める。作品管理能力、自己管理能力の向上を目指す。</p>							関連科目			
								基礎科目:西洋美術史特論Ⅰ、西洋美術史特論Ⅱ、美術領域論Ⅱ(立体)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	ポーズを理解できるようになる									
	②	量塊の的確な構成(デッサン)ができるようになる									
	③	写実に基づくモデリングができるようになる									
	④	モデルの個性を掴み、表現できるようになる									
	⑤	自分の制作した作品について、とことん追求する姿勢を身につけることができるようになる									
	⑥	作品についてプレゼンテーションすることができるようになる									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	適宜指示する										
参考書	適宜指示する										

予備知識	石膏技法実習
DPとの関連	美術表現者としての専門性、感性を伸ばし、徹底した観察に基づく制作姿勢を貫かせることは、自ずから作家としての資質のみならず、人間性を育てることにつながり、DPを達成する要素を網羅した授業内容である。
実務経験のある教員	清島浩徳
評価明細基準	・作品制作への姿勢 ・観察力、探究心 ・立体造形の技術力 ・基礎デッサン力 ・作品管理能力 ・自己管理能力

・全身像への取り組みは、精神的、体力的にもハードルが高くなる。したがって、授業に臨む前の準備、その後の作品管理も含め、計画的に制作していく必要がある。作品が完成するまでの、長期間の制作で、いかに多くの発見ができるか、常に新しい発見に挑む姿勢で制作することが大切である。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	内容の確認	90
	内容	オリエンテーション			
2回	テーマ	デッサンによるポーズ決め	実習、A L	ポーズの研究を予習する	540
	内容	ポーズ決定のためのデッサン			
3回	テーマ	人体の構造と流れの把握	実習、A L	ポーズの研究(復習)	180
	内容	ポーズの決定と分析			
4回	テーマ	等身用心棒組み	実習、A L	必要な材料を準備する	360
	内容	心棒組み			
5回	テーマ	制作	実習、A L	構造的に粘土を荒付けする	2160
	内容	制作Ⅰ 荒付け			
6回	テーマ	中間講評	実習、A L	講評を反映して制作する	180
	内容	中間講評Ⅰ 相互評価			
7回	テーマ	制作	実習、A L	観察を基にバランスよく全体の粘土をつけ、方向性を探りながら制作する	2160
	内容	制作Ⅱ 展開			
8回	テーマ	中間講評	実習、A L	講評を反映して制作する	180
	内容	中間講評Ⅱ 相互評価			
9回	テーマ	制作	実習、A L	問題点を探りながら、仕上げに向けて制作を深める	3330
	内容	制作Ⅲ まとめ			
10回	テーマ	最終講評	実習、A L	講評を反映して、次作への計画を立てる	180
	内容	最終講評・評価 相互評価			

科目名	木彫実習（2美）		開講学年	2	講義コード	1673601	区分	必修		
英文表記	Wood carving (Practicum)		開講期	前期	開講形態		単位数	4		
担当教員	森 英顕（非常勤）									
研究室	本館1階 非常勤講師室					オフィス アワー 授業の前後				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	彫刻 木彫 立体造形 木工技法									
授業概要	<p>本授業では、木という実材（作品として恒久的に設置することを想定した素材）から彫刻を生み出すプロセスを通して木彫の基本的な技術を学び、素材の持つ要素・特性と向き合いながら魅力的な彫刻作品を生み出すことを目的とします。木彫制作といった物体を手で加工する行為は、視覚情報に合わせて手接触を通じた身体感覚情報を一致させ認識することにより、より正確な体性感覚を身に付けることができます。体性感覚とは触覚や圧覚、位置・動き・力の感覚などです。正確な体性感覚は、加工技能の向上だけではなく、社会にあふれる様々な情報を正確に判断する自分自身の物差しを持つことができ、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養います。自己身体の持つ感覚と物体との関わりを木彫制作を通して学び、汎用的造形力・表現力を体得し、各自の表現活動に生かすことのできる能力を養います。</p>						関連科目			
							彫刻実習 2B、3A、3B、4A、4B			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】・・・選択【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 美術）【各科目に含めることが必要な事項】・・・彫刻</p>						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	木彫制作に必要な道具の扱い方を習得することができる。								
	②	重さ・硬さ・色など、木が持つ形の強さや魅力を知り、立体造形に必要な構造・要素を発見することができる。								
	③	木の素材と向き合い、自分の手で作品を生み出す創造力・実践力を養うことができる。								
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	20	60	10	10	100	
教科書	授業の中で適宜配布する									
参考書	授業の中で適宜配布する									

予備知識	塑造、造形
DPとの関連	実習科目として位置づけられる本授業を通して、立体表現の初歩的な技術及び理解を得ることが期待できる。【知識・理解】 その後の学修の基盤となる力を身に付けることが期待できる。【汎用的技能】 課題を通して幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付ける。【態度・志向性】
実務経験のある教員	
評価明細基準	出席・制作過程・完成作品などを考慮し、総合的に評価する。

動きやすく作業に適した服装であること。作業には電動工具や刃物など危険を伴う道具を使用するため、注意説明をよく聞き、わからないことは事前に質問すること。事故防止のため、常に作業場の清掃や道具等の整理整頓に努めること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	説明	講義	木彫の材料・道具について	180
	内容	ガイダンス			
2回	テーマ	木を彫る	実習	制作プランを準備する	180
	内容	制作プランと守法決め			
3回	テーマ	木を彫る	実習	木の扱い方を知る	180
	内容	木取りと粗取り			
4回	テーマ	木を彫る	実習	木の扱い方を知る	180
	内容	木取りと粗取り			
5回	テーマ	木を彫る	実習	構造についての考察	180
	内容	構造について①			
6回	テーマ	木を彫る	実習	空間と量塊の考察	180
	内容	空間と量塊①			
7回	テーマ	木を彫る	実習	面と稜線の考察	180
	内容	面と稜線①			
8回	テーマ	制作を振り返る①	実習	制作を振り返る	180
	内容	中間講評			
9回	テーマ	木を彫る	実習	構造についての考察	180
	内容	構造について②			
10回	テーマ	木を彫る	実習	空間と量塊を意識し制作	180
	内容	空間と量塊②			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	木を彫る	実習	面と稜線を意識し制作	180
	内容	面と稜線②			
12回	テーマ	木を彫る	実習	全体と細部の関係性を考察し制作	180
	内容	全体と細部について			
13回	テーマ	木を彫る	実習	形と表現の追求	180
	内容	形と表現①			
14回	テーマ	木を彫る	実習	形と表現の追求	180
	内容	形と表現②			
15回	テーマ	木を彫る	実習	形と表現の追求	180
	内容	形と表現③			
16回	テーマ	制作を振り返る②	実習	作品プレゼンテーション	180
	内容	プレゼンテーション及び講評			

科目名	デザイン表現演習Ⅰ*4(2美)				開講学年	2	講義コード	1673701	区分	選択	
英文表記	Design Expression Practice				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	安森大樹(非常勤)										
研究室	D315						オフィス アワー 授業時間前後の非常勤講師室				
メールアドレス	lunacy@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	DTP										
授業概要	自分の研究している内容を文章(テキスト)とともに、図や写真などを組み合わせ、視覚的にその内容を伝える能力が美術史を学習していく上でも重要である。本演習では視覚伝達デザインの基礎的な知識・技術についての理解を深め、実際にPhotoshopやIllustratorのソフトの基礎的な操作を学ぶ。上記のソフトを使用して、ポスターやチラシ、また展示パネルなどの制作ができる能力を習得する。							関連科目			
								メディアデザイン実習、コンテンツ制作実習、広告デザイン実習、グラフィックデザイン実習、総合造形実習			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	グラフィックアプリケーションの基本操作の修得ができる									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	10	10	10	70	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	世界一わかりやすいIllustrator 操作とデザインの教科書 技術評論社 ピクセルハウス 4297111292 Illustrator しっかり入門 SBクリエイティブ 高野雅弘 479739725X Photoshop しっかり入門 SBクリエイティブ まきのゆみ (ASIN)B07D6ZJQYX Photoshop 10年使える逆引き手帳 SBクリエイティブ 藤本圭 (ASIN)B07DVV96N2										

予備知識	PCの基本的な仕組みの理解
DPとの関連	優れた応用力を有するための、汎用的基礎力と基本的な専門知識を身につけることで社会の中に発信していく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	① 授業中の質疑や課題発表から学生の理解度を評価する。② 並行した関連制作を通して、受講者の理解度を確認・評価

コンピューターやソフトの操作は慣れることは必要です。日常的にコンピューターに触れる機会を多くつくること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	シラバス確認・オリエンテーション	90
	内容	授業の進め方に関するガイダンス			
2回	テーマ	イラストレータの理解__01	講義・実習	アプリケーションを使った理解	90
	内容	イラストレータの基本(ベジェ曲線など)の説明			
3回	テーマ	イラストレータの理解__02	講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	90
	内容	イラストレータを使用したトレース			
4回	テーマ	イラストレータの理解__03	講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	90
	内容	イラストレータを使用したトレース			
5回	テーマ	イラストレータの理解__04	講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	90
	内容	イラストレータを使用した文字入方やアウトライン化			
6回	テーマ	フォトショップの理解__01	講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	90
	内容	フォトショップの基本(ビットマップなど)の説明			
7回	テーマ	フォトショップの理解__02	講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	90
	内容	フォトショップを使用した画像編集			
8回	テーマ	フォトショップの理解__03	講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	90
	内容	フォトショップを使用した画像編集			
9回	テーマ	イラストレータの応用__01	講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	90
	内容	イラストレーター-のベジェ曲線ツールを使用したロゴマーク作成			
10回	テーマ	イラストレータの応用__02	講義・実習	アプリケーションを使った自学	90
	内容	イラストレーター-のベジェ曲線ツールを使用したロゴマーク作成			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	フォトショップの応用__01	講義・実習	アプリケーションを使った自学	90
	内容	フォトショップを使用した切り抜きやコラージュの作成			
12回	テーマ	フォトショップの応用__02	講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	90
	内容	フォトショップを使用した切り抜きやコラージュの作成			
13回	テーマ	イラストレータとフォトショップ__01	講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	90
	内容	イラストレータとフォトショップのデータ互換や下絵、クリッピングパスの使用			
14回	テーマ	イラストレータとフォトショップ__02	講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	90
	内容	イラストレータとフォトショップのデータ互換や下絵、クリッピングパスの使用			
15回	テーマ	総括	講義・実習	アプリケーションを使った予習・復習	90
	内容	まとめ			

科目名	デザイン表現演習Ⅱ*4(2美)			開講学年	2	講義コード	1673801	区分	選必		
英文表記	Design Skills II			開講期	前期	開講形態		単位数	2		
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208					オフィス アワー 水曜日5限					
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	ドキュメント制作 写真撮影 画像加工・編集										
授業概要	文化財を含む芸術作品を対象とする美術史という学問は自分の目で観察した芸術作品を言葉で伝えるというのが基本的な作業となる。その一方、対象とした作品を映像、特に視覚イメージとして映像技術で再現・記録することも美術史研究にはなくてはならない能力である。本講義では芸術作品の記録・加工・編集という観点から「写真」を用いた資料についての考え方の他、カメラの扱い方、写真撮影の基本操作について講義と撮影実習を通して学んでいく。講義については事前に配布されたテキストを精読しておくこと。提出後の講評によりフィードバックを実施。実践編では使用する機材(カメラ、ライティング機材など)を扱える状態しておくので、事前に触って、実践にスムーズに進めるような状態しておくこと。							関連科目		芸術文化専門科目全般、デザイン表現演習Ⅰ、視覚造形実習Ⅰ-Ⅳ、博物館実習	
								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	文化財を含む芸術作品について理解を深めるために映像表現をどのように活用できるかについて理解できる。									
	②	基礎的な写真撮影の操作およびドキュメント作成ができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	60	0	10	30	100		
教科書	特に指定しない。										
参考書	光と影の芸術 平凡社 東京都写真美術館編 たのしい写真 よい子のための写真教室 平凡社、2009年 ホンマタカシ 写真がもっと好きになる。菅原一剛の写真ワークショップ。ソフトバンククリエイティブ、2008年 菅原一剛 フィルムカメラの教科書 雷鳥社 キッチンミノル										

予備知識	写真を撮ることに日常的に慣れておくこと。
DPとの関連	造形活動および芸術文化研究に必要なドキュメント作成能力を学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	講義および実践の積極的な取り組み(30%)と課題提出(60%)、その他SOJOポートフォリオの提出により評価する。

レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	本演習の内容・目的を理解する	90
	内容	授業の進め方(第1回)			
2回	テーマ	写真を読む①	演習/実習	課題①作成	180
	内容	画像取り込み/好きな写真の記述(第2,3回)			
3回	テーマ	写真を読む②	演習/実習	課題②作成	180
	内容	画像取り込み/好きな写真に自分でタイトルをつける(第4,5回)			
4回	テーマ	カメラを知る。	講義・実習	配布資料の復習。	180
	内容	カメラとフィルムの種類/レンズの種類`スライドフィルム鑑賞`DAMCAMによる撮影(第6,7回)			
5回	テーマ	スナップ写真を撮ろう①	実習	写るんです撮影、現象、プリント	180
	内容	写るんです篇(第8,9回)			
6回	テーマ	スナップ写真を撮ろう②	実習	ポラロイド撮影	180
	内容	ポラロイドカメラ篇(第10,11回)			
7回	テーマ	マニュアル一眼レフカメラの撮影体験	撮影実習	マニュアルの一眼レフカメラの操作実施。	180
	内容	ネガとポジ・フィルムの撮影実習(第12,13回)			
8回	テーマ	撮影実習	撮影実習	カメラの基本操作の復習	180
	内容	カメラの基本操作と心構え`作品の撮影(三脚および照明を使用して)(第14回) 総括(第15回)			

科目名	西洋美術史特論Ⅰ*4(2美)			開講学年	2	講義コード	1673901	区分	選必		
英文表記	History of Western Art Advanced I			開講期	前期	開講形態		単位数	2		
担当教員	関根 浩子										
研究室	A313					オフィス アワー 金曜3限					
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	美術史学 芸術学 芸術家列伝 AL PBL										
授業概要	<p>本学科の目標の一つに高度な専門知識を総合的に身に付けるということが挙げられるが、本科目は美術史を専門とする学生にとって不可欠な科目である。本科目では、これから芸術を理論的に学んでいく学生のために、美術史学とは何か、芸術学とは何かについて理解を深めるとともに、それらの「学」としての成立や、発展・展開の歴史について学ぶ。今年度もイタリアのヴァザーリが書いた美術家列伝と、列伝中に取り上げられた作家の中から数名を取り上げ、現存作品と照合しながらヴァザーリの評価の基準について考察する。また、列伝の中から担当作家を一人決め、担当作家について調べプレゼンしてもらう予定である。さらに、プレゼンの後にはプレゼンについてのフィードバック、またレポートについては提出後、添削して返却するので、赤で注意書きした点を熟読し、次回のレポート作成時に反映させるように欲しい。</p>							関連科目			
								西洋美術史 西洋彫刻論 など			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	古代から近世にかけての美術史学の展開を理解する。									
	②	文献を正確に読む能力を身につける。									
	③	資料から得られる情報を整理し、整理した情報を根拠として、専門用語を使いながら作家や作品に対する自身の考えを書く能力を身に付ける。									
	④	自分で文章化した内容を要領よく適切にプレゼンテーションできるようになる。									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	35	40	0	10	15	100		
教科書	授業時に配布										
参考書	美術史学の歴史 中央公論美術出版 ウード・クルターマン ISBN4-8055-0289-4 「北方画家列伝」注解 中央公論美術出版 カーレル・ファン・マンデル ISBN978-4-8055-0705-6 美術家列伝 第1、3、4、5 中央公論美術出版 ジョルジョ・ヴァザーリ 他										

予備知識	特になし。
DPとの関連	芸術文化研究における専門家として社会で活躍するために、専門的知識(ここでは美術史学や芸術学の成立や展開に関する知識)や論理的思考力、プレゼンテーション力を身に付ける。また、4年次の卒業研究に向け、課題や問題に対する古代から近代までの解決方法を学修することができる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	成績の評価は、プレゼンテーションとレポートを中心に、ポートフォリオと出席状況も加味して行う。合計が6割に満たない場合はレポート再提出とする。

プレゼンテーションと課題(レポート)提出がある。参考書は高額であるが、図書館や芸術学部図書室に配架されているので、進んで参照すること。また記載した参考書以外の関連書籍も参照して自習して欲しい。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ 内容	概説 ルネサンス期のアート史入門	講義	配布資料の復習	30
2回	テーマ 内容	古代～中世 古代～中世までのアート史入門	講義 演習	配布資料の復習	30
3回	テーマ 内容	中世～近世 中世～近世のアート史入門	講義 演習	配布資料の復習	30
4回	テーマ 内容	イタリアの美術家列伝 ルネサンス期の美術家列伝/AI入り入門	講義 講読	配布資料の復習	30
5回	テーマ 内容	イタリアの美術家列伝 ルネサンス期の美術家列伝/AI入り入門	講義 講読	配布資料の復習	30
6回	テーマ 内容	美術家列伝とその内容 ジョットと列伝の記述/AI入り入門	講義 講読	配布資料の復習	30
7回	テーマ 内容	美術家列伝とその内容 ジョットと列伝の記述/AI入り入門	講義 講読	配布資料の復習 発表対象決定	30
8回	テーマ 内容	美術家列伝とその内容 ジョットと列伝の記述/AI入り入門	講義 講読	配布資料の復習 プレゼン準備	60
9回	テーマ 内容	美術家列伝とその内容 ジョットと列伝の記述/AI入り入門	講義 講読	配布資料の復習 プレゼン準備	60
10回	テーマ 内容	美術家列伝とその内容 ヤコポ・カルッチ・ダ・ボントルモと列伝の記述/AI入り入門		配布資料の復習/プレゼン準備	60

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	美術家列伝とその内容	講義 講読	配布資料の復習/プレゼン準備	60
	内容	ヤコポ・カルッチ・ダ・ボントルモと列伝の記述/イタリア語入門			
12回	テーマ	美術家列伝とその内容	講義 講読	配布資料の復習/プレゼン準備	60
	内容	ヤコポ・カルッチ・ダ・ボントルモと列伝の記述/イタリア語入門			
13回	テーマ	美術家列伝とその内容	講義 講読	配布資料の復習/プレゼン準備	180
	内容	ヤコポ・カルッチ・ダ・ボントルモと列伝の記述/イタリア語入門			
14回	テーマ	学生による発表	AL PBL	配布資料の復習/プレゼン準備	180
	内容	担当作家に関するプレゼンテーション			
15回	テーマ	プレゼン まとめ	AL PBL	レポート提出	180
	内容	学生によるプレゼンテーション 総括			

科目名	芸術学演習Ⅱ（原書講読）＊5（2美）				開講学年	2	講義コード	1674301	区分	選必	
英文表記	Seminar on Arts (Reading Original Texts) II				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A312						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	解読,草書体,明治期										
授業概要	<p>本学科の人材育成目標の一つに、専門分野に関する深い理解を獲得し、高度な専門家を養成することがあるが、本科目は、学芸員やそれに類する仕事に就くことを目指す学生には、本科目は必要不可欠な科目である。本科目は、岡倉天心にその才能を認められて日本美術院の創設に参加し、天心の理想とする新日本画創造に邁進した近代日本画家菱田春草の草書体によるさまざまな自筆の書簡や芸術論を読み、作品や作家に対する理解を深め、明治期や大正期の類似した作家の研究に応用できる能力を養う。</p>							関連科目			
								日本美術史、日本文化特論、ほか			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	活字化された明治期の候文が読めるようになる。									
	②	明治期の芸術家の毛筆による草書体の筆跡や文体(候文)、略字、個人的な書き癖に慣れ、独力で原文を読めるようになる。									
	③	作家や作品に対してより深い理解が得られるようになる。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	60	0	0	15	0	10	15	100		
教科書	授業の中で配布する										
参考書	菱田春草総合年譜 下伊那教育会 下伊那教育会編 菱田春草の書簡と絵画—菱田家よりの寄贈品— 下伊那教育会 菱田春草研究委員会 菱田春草 大日本絵画巧芸美術株式会社 菱田春夫 原色日本の美術30近代の日本画 小学館 日本美術史 美術出版社 山根有三監修										

予備知識	特になし。
DPとの関連	芸術文化研究の専門家になるための専門的知識や技術(ここでは史料の読解)を身に付け、課題や問題を自力で解決できるようになる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	定期試験における草書体の書簡や葉書の読み下し文(計60点)と普段の口頭による読み下し(15点)、ポートフォリオ、出席状況の合計点とする。合計が60点に満たない場合は再試験とする。

くずし字解読辞典を必携し、配布資料を予習、復習するとともに、授業で取り上げない書簡等も積極的にコピーし、自主的に解読に努めること。最後に筆記試験がある。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	概説	講義	科目の内容や目標を理解する	30
	内容	オリエンテーション 作家 講読資料に関する概説 日本近代絵画史(日本画史)概説			
2回	テーマ	日本近代絵画史	講義	日本近代絵画史(日本画史)(復習)	40
	内容	日本近代絵画史(日本画史)概説			
3回	テーマ	日本近代絵画史	講義	日本近代絵画史(日本画史)(復習)	40
	内容	日本近代絵画史(日本画史)概説			
4回	テーマ	候文葉書	講義 演習	配布された資料の復習	40
	内容	活字化された候文の葉書の講読			
5回	テーマ	候文葉書	講義 演習	配布された資料の復習	40
	内容	活字化された候文の葉書の講読			
6回	テーマ	候文書簡	講義 演習	配布された資料の復習	40
	内容	活字化された候文書簡の講読			
7回	テーマ	候文書簡	講義 演習	配布された資料の復習	40
	内容	活字化された候文書簡の講読			
8回	テーマ	候文書簡	講義 演習	配布された資料の復習	40
	内容	活字化された候文書簡の講読			
9回	テーマ	草書体の葉書	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の葉書の原文の解説			
10回	テーマ	草書体の葉書	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の葉書の原文の解説			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	草書体の書簡	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の書簡の原文の解説			
12回	テーマ	草書体の書簡	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の書簡の原文の解説			
13回	テーマ	草書体の書簡	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の書簡の原文の解説			
14回	テーマ	草書体の書簡	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の書簡の原文の解説			
15回	テーマ	草書体の書簡	講義 演習	配布された資料の復習	60
	内容	草書体の書簡の原文の解説			
16回	テーマ	試験	試験	葉書と書簡の原文に関する試験	180
	内容	試験			

科目名	ワークショップ演習(2美)			開講学年	2	講義コード	1674501	区分	選必	
英文表記	Workshop Practice			開講期	通年・集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁									
研究室	芸術学部棟A208					オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	ワークショップ ファシリテーター									
授業概要	近年、アートワークショップという形での芸術活動が非常に注目されている。アートワークショップが美術館・博物館や地域において社会と人々を繋ぐものとして、有効に活用されている。また、アートワークショップを表現手段の一つとして活躍しているアーティストも増えてきている。本演習は受講者全員と担当教員が一緒になって、「アートワークショップ」という実践的な方法で、アートと社会の関係を考えていく。併せて、アートワークショップの実践を通して、社会と人々をつなげるファシリテーター(活動を促進する人)としての基礎的な知識・技術を理解していく。初回、オリエンテーションに従い講義&実践を進めていくので、受講者自身が意識をもって、「指示待ち」状態にならないよう、特にワークショップの実践においては事前に自分の役割を確認し、任された作業・仕事は確実に実施し、協働作業に支障がないよう準備しておくこと。学生へのフィードバックは毎回の演習において実施する。						関連科目			
							美術史基礎演習Ⅰ/Ⅱ、アートマネジメント論、美術ジャーナル論、デザイン表現演習Ⅰ/Ⅱ 視覚造形実習ⅠA-B、ⅡA-B、視覚造形演習A,B 学芸員課程科目/教職課程科目			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)						学修・教育目標			
							JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	実践的な学習によって、アートの方で地域や人々を繋いでいき、アートの楽しさ、アートの可能性について実践的な方法で理解できる。								
	②	実践を執り行っていく過程で、色々な問題が生じるが、それを「manage」(なんとかする)して、計画が実施できる柔軟な対応力を身につけることができる。								
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	10	30	0	10	50	100	
教科書	tupera tupera わくわくワークショップ みんなでたのしむ造形タイム チャイルド本社 tupera tupera アートプロジェクトのつくり方「つながり」を「つづける」ためのことば アートフィルム社 森司監修 上記のテキストは購入の必要なし、適宜コピーを配布する。									
参考書	これからのアートマネジメント“ソーシャル・シェア”への道 フィルムアート社 中川真+編集部 藤浩志のかえるワークショップ いまをかえる、美術の教科書 3331 ARTS CYD 藤浩志 アートプロジェクト(芸術と共創する社会) 水曜社 熊倉純子 コミュニティ・アートプロジェクト ゼロダテ/絶望をエネルギーに変え、街を再生する NPOゼロダテ 中村政人 クリエイティブ・コミュニティ・デザイン 関わり、つくり、巻き込もう フィルムアート社 紫牟田伸子・編集部									

予備知識	積極的に美術館・博物館や地域で開催されているワークショップに参加しておく参考となる。
DPとの関連	人間社会の様々な問題や課題に対して、課題解決のための知識や取り組み方を実践的に学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	平常の授業／ワークショップの取り組み方(50点)ワークショップ企画プレゼンテーション(30点)実践成果および提出物(企画書・報告書など)(10点)、SOJOポートフォリオ(10点)

本演習は基本的にグループ作業で行う。ワークショップの内容は受講者の人数によって変更する場合があります。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	序(4月)	講義	本演習の理解、目的の確認。	90
	内容	オリエンテーション(授業の進め方)(第1回)			
2回	テーマ	研究・計画編①4月-6月	講義/演習	企画立案 企画プレゼンテーション	360
	内容	よりみち展×ワークショップ@くまもと森都心プラザ図書館(予定)見学/よりみち展の展示・ワークショップ企画立案・プレゼンテーション(第一次選考)/くまもと森都心プラザにて企画プレゼンテーション(企画確定)(第2、34、5回)			
3回	テーマ	展示計画編① 6月後半以降	講義/演習	展示の構想、準備、制作へ取りかかる。	450
	内容	タイムスケジュール、実施段取り等詳細決定 制作開始(第6、7、8、9、10回)			
4回	テーマ	ワークショップ計画編②	AL	ワークショップの立案、準備	180
	内容	デジタルデザインにおけるワークショップの企画立案(予定)(第11、12回)			
5回	テーマ	実践編①9月	AL	ワークショップの実施。よりみち展の制作。	540
	内容	デジタルデザインの実施(予定)。よりみち展のDM作成 展示制作、ワークショップ準備(第13、14、15、16、17、18回)			
6回	テーマ	実践編②10-11月	AL	よりみち展開催に向け制作、開催。	900
	内容	よりみち展展示・ワークショップ(11月後半実施)の準備・制作・実施(19-28回)			
7回	テーマ	総括・まとめ(1月、29-30回)	AL	ポートフォリオ作成	180
	内容	デジタルデザイン・よりみち展の振り返り。(第29、30回)			

科目名	視覚造形実習ⅡA*8(2美)				開講学年	2	講義コード	1674601	区分	必修	
英文表記	Visual Arts Work II A				開講期	前期	開講形態		単位数	8	
担当教員	永田郁 野島マーサ(非常勤) 森英顕(非常勤) 東耕平(非常勤)										
研究室	永田A208(芸術学部棟)						オフィス アワー 水曜日5限(永田)				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アート制作 色彩 木彫、石膏 ワークショップ										
授業概要	本実習は視覚芸術3年生の個人制作に向けて、必要な技術、素材(木彫・石膏等)の扱い方を学ぶ、さらにプラザ図書館で後期に実施するよりみち展の作品展示・ワークショップを念頭においた実践的なワークショップの考え方や実践を学んでいく。各担当教員による講評により学生へのフィードバックを行う。視覚造形実習ⅡAの担当は次の通りである。月曜3-4限 森英顕(非常勤)木彫・石膏 火曜1-2限 東耕平(非常勤)ワークショップ 水曜3-4限 林浩(非常勤)色彩論 木曜1-2限 永田郁(美術)							関連科目			
								視覚造形実習ⅠA、ⅠB、視覚造形演習A、B、視覚造形実習ⅢA、ⅢB、ワークショップ演習			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	アート制作にあたり、必要な基本的なものの考え方、素材や道具の扱い方、体を動かして発想する方法を理解できる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	20		70	10	0	100		
教科書											
参考書	ヨハネス・イッテン色彩論 美術出版社 大智浩 訳 色彩の表記 みすず書房 アルバート・H・マンセル著 日高杏子 訳										

予備知識	
DPとの関連	視覚芸術コースとしての造形活動に対するものの見方や考え方を思考と体を動かしながら身につけていく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	各クラスの課題70%、ポートフォリオ20%、目標到達度レポート10%計100点。

本実習は曜日毎に内容が異なるので、オリエンテーションには必ず出席すること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	森英顕(非常勤)クラス 説明	講義	立体造形の材料・道具について	180
	内容	ガイダンス			
2回	テーマ	制作	実習	3Dペンによるフレーム構築	180
	内容	立体ドロ잉①			
3回	テーマ	制作	実習	3Dペンによる立体造形	180
	内容	立体ドロ잉②			
4回	テーマ	制作	実習	シリコン型による石膏造形	180
	内容	石膏加工①			
5回	テーマ	制作	実習	石膏とチョークを用いた立体造形	180
	内容	石膏加工②			
6回	テーマ	制作	実習	木材の加工と道具と基礎技法	180
	内容	木材加工①			
7回	テーマ	制作	実習	木材の研磨と塗装技法	180
	内容	木材加工②			
8回	テーマ	制作	実習	制作プランと寸法決め	180
	内容	木彫制作①			
9回	テーマ	制作	実習	木取りと荒取り	180
	内容	木彫制作②			
10回	テーマ	制作	実習	構造について	180
	内容	木彫制作③			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	制作	実習	空間と量塊	180
	内容	木彫制作④			
12回	テーマ	制作	実習	面と稜線	180
	内容	木彫制作⑤			
13回	テーマ	制作	実習	全体と細部について	180
	内容	木彫制作⑥			
14回	テーマ	制作	実習	形と表現 プレゼンテーションと講評	360
	内容	木彫制作⑦ 作品講評			
15回	テーマ	東耕平(非常勤)クラス ワークショップ	講義	ワークショップについての説明	180
	内容	1.ワークショップとは?			
16回	テーマ	ワークショップ	演習	年齢層・目的・素材・予算等について	360
	内容	2-3. ワークショップをする上で考慮しなければならないことを考える。			
17回	テーマ	ワークショップ	演習	リサーチ	360
	内容	4-5. 現在行われているワークショップを調べる。			
18回	テーマ	ワークショップ	演習	ワークショップ案プレゼンテーション	180
	内容	6. ワークショップ案提出			
19回	テーマ	ワークショップ	実習	ワークショップ準備・実施	360
	内容	7-8. 模擬実践			
20回	テーマ	ワークショップ	演習	振り返り	180
	内容	9. 実践の講評、反省会			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
21回	テーマ	ワークショップ	実習	ワークショップ準備。	360
	内容	10-11.ワークショップ実践①			
22回	テーマ	ワークショップ	実習	実際の子供たちとワークショップを行う。	540
	内容	12-14.ワークショップ実践②			
23回	テーマ	ワークショップ	演習	実地実践の振り返り	180
	内容	15.講評・反省会			
24回	テーマ	野島マーサ(非常勤)クラス	実習	Make subjective color wheels	180
	内容	Outline of Color Class Unit1 Subjective Color			
25回	テーマ	Unit2	実習	write out phrases, idioms, that use color in everyday language	180
	内容	Emotional Symbolic Color Color in Language			
26回	テーマ	Unit3	講義	To introduce basic physics of color as it relates to light. Gels prisms etc.	180
	内容	light theory			
27回	テーマ	unit4	講義	History of the Color wheel	180
	内容	Subtractive Color			
28回	テーマ	Unit5	実習	Make 4 paintings of the same object using 4 different cultural color schemes	180
	内容	Color schemes			
29回	テーマ	Unit6	実習	Do a series of photographs in which the color of the object changes through context and light source.	180
	内容	Local Color			
30回	テーマ	Unit7	レクチャー	5 Albers assignments	180
	内容	Theories of Joseph Albers and color			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
31回	テーマ	Unit8 Unit9	実習	Camouflage	360
	内容	Depths of Cues in color Color as a compositional devise			
32回	テーマ	unit10	実習	Pointillist self portrait. Polaroid self portrait, 8Xenlarged	540
	内容	Process color			
33回	テーマ	Unit11-15	実習	personal work of the students choice using the color practices learned.	180
	内容	個人制作			
34回	テーマ	永田郁クラス よりみち展(予定)他	演習	実地見学・企画書作成・作成プレゼンテーション	180 × 6
	内容	よりみち展計画 構想期間(4-5月)			
35回	テーマ	よりみち展制作他	実習	地域のフィールドワークし、表現のタネを探す。	180 × 6
	内容	フィールドワーク期間			
36回	テーマ	作品見学	実地見学	見学後の展覧会評作成。	180× 2
	内容	美術館見学&レポート作成			
37回	テーマ	まとめる	演習	フィールドワークのポートフォリオ作成	180
	内容	ポートフォリオ作成			

科目名	日本画実習ⅢA (3美)			開講学年	3	講義コード	1674801	区分	選必	
英文表記	Japanese Painting ⅢA			開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	中村 賢次									
研究室	A416					オフィス アワー 水曜昼休み				
メールアドレス	ken1214@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	日本画									
授業概要	日本画には古くより特有の表現技法が伝えられている。更に日本画そして絵画全般に云える事は、自然を相手に心の動くところを表現したものである。自然の形態、色彩、明暗、そして匂いや肌で感じるものが人間の感性を動かし、心に映り、心象となって、これが平面の上に描かれ絵画となって行く。特に日本画の基本的様式は平面的・装飾的な表現であり、線が主要なものとなり、対象を見たまに描写するのではなく自分の意思・感覚・思想・生活感情等を通して単純化されたものである。このことを暗まえ、自分の心に呼応した対象と向き合って日本画制作に取り組む。						関連科目			
							日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	自然と対峙し落ち着いて写生を行なう姿勢を養うことができるようになる								
	②	自分が感動した事象を客観的に捉える能力を養うことができるようになる								
	③	大作を描くために必要な過程の理解とその技術を習得することができるようになる								
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	0	80点	10	出席10点	100	
教科書	授業の中で指示する									
参考書	授業の中で指示する									

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	日常的に質疑を行ない理解度を深める。一作品ごとに合評・採点を行なう。

前回の実習の反省点を十分に検討した上で、毎時ごとに制作到達計画を立てる。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	風景	実習	作品にする風景と出会うため屋外にて写生	360
	内容	風景をテーマとして屋外にて写生及び50号パネル製作			
2回	テーマ	風景	実習	感覚的なイメージを具現化する	360
	内容	小下図・草稿制作及び裏打ち			
3回	テーマ	風景	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	360
	内容	草稿を転写、墨入れ、地塗り			
4回	テーマ	風景	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
5回	テーマ	風景	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
6回	テーマ	風景	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
7回	テーマ	風景・合評	講義	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	360
	内容	合評・採点			
8回	テーマ	自由制作	実習	十分に写生を繰り返す	360
	内容	描く対象を各自写生及び100号パネル製作			
9回	テーマ	自由制作	実習	感覚的なイメージを具現化する	360
	内容	小下図・草稿制作及び裏打ち			
10回	テーマ	自由制作	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	360
	内容	墨入れ、地塗り、本紙制作			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
12回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
13回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
14回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
15回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
16回	テーマ	自由制作・合評	講義	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	360
	内容	合評・採点			

科目名	日本画実習ⅢB (3美)				開講学年	3	講義コード	1674802	区分	選必	
英文表記	Japanese painting Practical ⅢB				開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	佐藤 和歌子										
研究室	A412						オフィス アワー 火曜・昼休み				
メールアドレス	w-sato@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画,岩絵具,風景画										
授業概要	二年次までに習得した日本画の基礎的知識と技術・技法の元に各自が自由なテーマに基づき個性的表現の実践と研究を行なう。							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	自分の表現したい世界・対象を具現化するための造形力と技術力を養うことができるようになる									
	②	大作を描くために必要な全プロセスを理解できるようになる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席(10点)	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	出席及び制作姿勢と実習に於ける全ての作品に対して評価を行う。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	風景	実習	作品にする風景と出会うため屋外にて写生	360
	内容	風景をテーマとして屋外にて写生及び50号パネル製作			
2回	テーマ	風景	実習	感覚的なイメージを具現化する	360
	内容	小下図・草稿制作及び裏打ち			
3回	テーマ	風景	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	360
	内容	草稿を転写、墨入れ、地塗り			
4回	テーマ	風景	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
5回	テーマ	風景	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
6回	テーマ	風景	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
7回	テーマ	風景・合評	講義	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	360
	内容	合評・採点			
8回	テーマ	自由制作(100号)	実習	十分に写生を繰り返す	360
	内容	描く対象を各自写生及び100号パネル製作			
9回	テーマ	自由制作	実習	感覚的なイメージを具現化する	360
	内容	小下図・草稿制作及び裏打ち			
10回	テーマ	自由制作	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	360
	内容	墨入れ、地塗り、本紙制作			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
12回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
13回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
14回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
15回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
16回	テーマ	自由制作・合評	講義	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	360
	内容	合評・採点			

科目名	洋画実習ⅢA (3美)				開講学年	3	講義コード	1675201	区分	選必	
英文表記	Oil Painting ⅢA				開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	熊谷有展										
研究室	芸学3F						オフィス アワー 金5				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	作家研究										
授業概要	作家研究を通して、二年度までのカリキュラムで習得した基本的技術を完成させ、自分自身の絵画世界を展開させる。幅広い表現方法、用具の特性の理解や、洋画の歴史について学ぶ。適宜課題作品の講評を行い、学生に作品上のアドバイスを行う。							関連科目			
								洋画実習ⅡB			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	専門的な知識や技術を身に付けることができる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	70	10	20	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	洋画実習ⅡB
DPとの関連	今後の創作活動を見据え、専門的な知識や技術を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	課題作品のデッサン・エスキースを含んだ作品 講評・採点

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	制作	実技	オリエンテーション、発想、取材、デッサン、エスキース等	360
	内容	テーマ、構図の決定			
2回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
3回	テーマ	〃	〃	構図の決定	360
	内容	〃			
4回	テーマ	〃	〃	作家研究による自由制作。各自、自由な発想・テーマに基づいて、よりプロセスを大切にしながら取り組む	360
	内容	油彩による制作			
5回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
6回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
7回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
8回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
9回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
10回	テーマ	〃 講評	〃 講評	〃	360
	内容	〃 中間講評			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	制作	実技	"	360
	内容	油彩による制作			
12回	テーマ	"	"	"	360
	内容	"			
13回	テーマ	"	"	"	360
	内容	"			
14回	テーマ	"	"	"	360
	内容	"			
15回	テーマ	講評	講評	"	360
	内容	作品講評			

科目名	洋画実習ⅢB (3美)				開講学年	3	講義コード	1675202	区分	選択	
英文表記	Oil Painting ⅢB				開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	熊谷 有展 永田和之 (非常勤)										
研究室	芸学3F						オフィス アワー 金曜日5時限目				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	洋画ⅢB										
授業概要	<p>大作を制作するには、特にプロセスが重要である。発想段階から取材、デッサン、エスキース等の試行錯誤を経て作品のテーマが明確化される。自主的な制作計画を身につけながら自己の造形能力、感性を錬磨し、積極的な制作活動が求められる。発想段階から制作プロセスをエスキース等を見ながら話し合いを進めていく。この授業には汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。幅広い表現方法、用具の特性や油彩画の歴史について学ぶ。</p>							関連科目			
								洋画実習ⅢA			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	作家研究をする中で自身に合う表現を探することができる									
	②	方向性・個性を確立させることができる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	70	10	20	100		
教科書	特になし										
参考書	特になし										

予備知識	洋画実習ⅢAと連動して、テーマ制作を更に深める。
DPとの関連	汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理能力の内容も含まれている。
実務経験のある教員	
評価明細基準	課題作品のデッサン、エスキースを含んだ作品 講評、採点

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	制作	実技	オリエンテーション、発想、取材、デッサン、エスキース等	360
	内容	テーマ、構図の決定			
2回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
3回	テーマ	制作	"	構図の決定	360
	内容	"			
4回	テーマ	制作	"	各自、自由な発想に基づいて、よりプロセスを大事にして取り組む	360
	内容	油彩による制作			
5回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
6回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
7回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
8回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
9回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
10回	テーマ	講評	" 講評	"	360
	内容	" 中間講評			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
12回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
13回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
14回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	"			
15回	テーマ	講評	" 講評	"	360
	内容	作品講評			

科目名	彫刻実習ⅢA (3美)			開講学年	3	講義コード	1675601	区分	選必		
英文表記	Sculpture trainingⅢA			開講期	前期	開講形態		単位数	4		
担当教員	勝野 眞言 (実務経験)										
研究室	A212					オフィス アワー 火曜日16時30分					
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	粘土,人体,観察,量塊										
授業概要	<p>人間をテーマにした彫刻表現の歴史は永い。私自身塑造分野の世界で人間表現の追求に取り組み、国内外での発表活動を経て半世紀近い。また、制作を通じた美術振興に関わる様々なプロジェクトの立案、支援も取り組んできた。これらの知見をもとにこの科目では、塑造による人体表現をテーマとして、身に付けるべき普遍的な造形の基礎を学びながら、成果物としての作品を地域共創活動での発表として展開する。授業は人体観察による等身大の塑造制作である。粘土の特性である可塑性や固まりなどの材料の性質を理解し、様々な角度から創意工夫や試行錯誤を行う。その手法として人間の観察による造形的な要素の理解を深めるためにポーズを固定し、時間をかけ観察によるアプローチを繰り返し行う。人体観察を通して、自然の摂理、構築を観察する中で、自由な精神に基づいた真理への探究心や、知性、感性に裏付けられた柔軟な思考力と発想力(表現の追求)を身に付ける。また、作品制作や研究を通し立案、計画、作業を自分で組み立て実現させる実行力を身に付ける。授業を進めるなかで、学生各自が制作にあたってのテーマを相互の意見交換を交えた中間講評により確認し、お互いの切磋琢磨の場となるよう授業を組み立て展開する。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。完成作品を地域共創活動として玉名市の高瀬蔵での展示会で発表する。</p>							関連科目			
								基礎デッサンⅠ・Ⅱ 共通立体 彫刻実習ⅡA・ⅡB			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	デッサンによる形態把握ができるようになる									
	②	心棒の制作が正確に出来るようになる									
	③	空間の中での量塊の位置が正しく理解できるようになる									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	プリント(解剖図)										
参考書	適時指示する										

予備知識	モチーフを人物(ヌード)とする。対象をしっかり観察し、素描により個々の制作意図を固め、粘土による塑造制作へと展開して行く。その中で基本的な造形力を確認して行く。
DPとの関連	1.客観的な観察力を身に付けるために、対象を深く見つめ、人体の基本的な構造、動勢、比率を素描(平面)と塑造(立体)の両次元から理解を深めて行くことができる。【知識・理解】 2.課題を通して幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付けることができる。【汎用的技能】【態度・志向性】
実務経験のある教員	勝野 眞言
評価明細基準	出席・課題の取り組み・作品の到達度などを考慮し、総合的に評価する。

作業着を着用し、作品を包む布、ビニール袋を準備しておくこと。モデルが入室する前に制作の準備をしておくこと。遅刻した場合休憩時間まで入口で待機しておくこと。常に室内の気温がモデル制作に適温か、留意すること。制作後の清掃は必ず行うこと。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	対象の理解	実習	時間をかけた観察により対象の特性を理解する	180
	内容	制作Ⅰ 素描(デッサン)			
2回	テーマ	対象の理解	実習	短時間での対象の特性理解	180
	内容	制作Ⅱ 素描(クロッキー)			
3回	テーマ	対象の理解	実習	制作意図の確認	180
	内容	制作Ⅲ ポーズの決定			
4回	テーマ	構造の理解	実習	芯棒による量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅳ 芯棒制作			
5回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅴ 粘土付け			
6回	テーマ	客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅵ 中間講評会			
7回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅶ 作り込み			
8回	テーマ	対象の理解	実習	造形原理の生かし方とその構築について	180
	内容	制作Ⅷ 彫刻の構築			
9回	テーマ	客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅸ 講評会			
10回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅹ 作り込み			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
12回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
13回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
14回	テーマ	対象の理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	同上			
15回	テーマ	客観的な理解	実習	「到達度ポートフォリオ」の提出	180
	内容	講評会			

科目名	彫刻実習ⅢB (3美)			開講学年	3	講義コード	1675602	区分	選必	
英文表記	Sculpture trainingⅢB			開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	勝野 眞言 (実務経験)									
研究室	A212					オフィス アワー 火曜日16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	粘土,人体,観察,造形力									
授業概要	人間をテーマにした彫刻表現の歴史は永い。私自身塑造分野の世界で人間表現の追求に取り組み、国内外での発表活動を経て半世紀近い。また、制作を通じた美術振興に関わる様々なプロジェクトの立案、支援も取り組んできた。これらの知見をもとにこの科目では、塑造による人体表現をテーマとして、身に付けるべき普遍的な造形の基礎を学びながら、成果物としての作品を地域共創活動での発表として展開する。授業は人体観察による等身大の塑造制作である。粘土の特性である可塑性や固まりなどの材料の性質を理解し、様々な角度から創意工夫や試行錯誤を行う。その手法として人間の観察による造形的な要素の理解を深めるためにポーズを固定し、時間をかけ観察によるアプローチを繰り返し行う。人体観察を通して、自然の摂理、構築を観察する中で、自由な精神に基づいた真理への探究心や、知性、感性に裏付けられた柔軟な思考力と発想力(表現の追求)を身に付ける。また、作品制作や研究を通し立案、計画、作業を自分で組み立て実現させる実行力を身に付ける。授業を進めるなかで、学生各自が制作にあたってのテーマを相互の意見交換を交えた中間講評により確認し、お互いの切磋琢磨の場となるよう授業を組み立て展開する。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。完成作品を地域共創活動として玉名市の高瀬蔵での展示会で発表する。						関連科目			
							基礎デッサンⅠA/ⅠB 共通立 体 彫刻実習ⅡA/ⅡB			
教職関連 区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻						建築学 科のみ	建築 総合	建築 計画	建築 構造
							学修・教育 目標			
JABEE 記号	学生の到達度目標									
	①	デッサンにより形態の把握ができるようになる								
	②	心棒制作が正確に出来るようになる								
	③	空間の中での量塊の位置が正確に与えることができるようになる。								
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	20	60	10	10	100	
教科書										
参考書										

予備知識	モチーフを人物(ヌード)とする。対象をしっかり観察し、素描により個々の制作意図を固め、粘土による塑造制作へと展開して行く。その中で基本的な造形力を確認して行く。
DPとの関連	1.客観的な観察力を身に付けるために、対象を深く見つめ、人体の基本的な構造、動勢、比率を素描(平面)と塑造(立体)の両次元から理解を深めて行くことができる。【知識・理解】 2.課題を通して幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付けることができる。【汎用的技能】【態度・志向性】
実務経験のある教員	勝野 眞言
評価明細基準	出席・課題の取り組み・作品の到達度などを考慮し、総合的に評価する。

モデル使用の為室温に常に留意すること モデル使用中の教室の入退出は禁止である。制作に入るための準備、特に室温調整をあらかじめしておくこと。制作後の清掃は必ず行うこと。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	対象の理解	実習	時間をかけた観察により対象の特性を理解する	180
	内容	制作Ⅰ 素描(デッサン)			
2回	テーマ	対象の理解	実習	短時間での対象の特性理解	180
	内容	制作Ⅱ 素描(クロッキー)			
3回	テーマ	対象の理解	実習	制作意図の確認	180
	内容	制作Ⅲ ポーズの決定			
4回	テーマ	構造の理解	実習	芯棒による量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅳ 芯棒制作			
5回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅴ 粘土付け			
6回	テーマ	対象の理解 客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅵ 中間講評会			
7回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅶ 作り込み			
8回	テーマ	対象の理解	実習	造形原理の生かし方とその構築について	180
	内容	制作Ⅷ 彫刻の構築			
9回	テーマ	客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅸ 講評会			
10回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅹ 作り込み			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
12回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
13回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
14回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
15回	テーマ	客観的な理解	実習	「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	講評会 制作の狙いの確認			

科目名	鑄造実習A(3美)				開講学年	3	講義コード	1676001	区分	選択	
英文表記	Casting Practice A				開講期	前期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	陶山 伸一 (非常勤)										
研究室	硯川実習室107						オフィス アワー 火曜日16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	,技法,窯,溶解,蠟,ブロンズ										
授業概要	<p>蠟型鑄造に対する理解を深め、実習によって蠟の合わせ方、流し方、窯の組み方、火入れ、焼成、合金の割合、金属溶解、鑄込み、仕上げなどについて、確実に安全な方法を身につける。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。</p>							関連科目			
								彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	蠟型鑄造に対する理解を深めることができる。									
	②	安全に作業を行うことができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	10	60	10	20	100		
教科書											
参考書											

予備知識	彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B
DP との 関連	1.造形活動を通して培った汎用的造形力・表現力を通して、社会への関わり方や発展に持続的に貢献できる能力を身に付ける。【知識・理解】【汎用的技能】 2.課題を通して幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付ける。【態度・志向性】
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	出席・課題の取り組み・到達度などを考慮し、総合的に評価する。

実習中に適宜指示する。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	鑄造技法	実習	講義で工程の流れを知る	80
	内容	蠟型鑄造法とは			
2回	テーマ	鑄造技法	実習	蠟の特性を知る	270
	内容	蠟原型制作			
3回	テーマ	鑄造技法	実習	工程のポイントを学ぶ	450
	内容	窯詰め、焼成 火入れ、鑄型の焼成をする			
4回	テーマ	鑄造技法	実習	工程のポイントを学ぶ	450
	内容	鑄込み			
5回	テーマ	鑄造技法	実習	到達度ポートフォリオの作成	80
	内容	仕上げ 型を割り、湯道、釘を抜く 酸洗い、着色、色止めをする			

科目名	宗教芸術・文化Ⅰ（ヨーロッパ・日本）＊6（3美）			開講学年	3	講義コード	1676201	区分	選必		
英文表記	Religious Art & Culture I : European & Japanese Society			開講期	前期	開講形態		単位数	2		
担当教員	関根 浩子										
研究室	A313					オフィス アワー 金曜放課後					
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	キリスト教美術 キリシタン美術 聖母マリア 黙示録										
授業概要	<p>本学科の人材育成目標の一つに、芸術文化研究における専門的知識を総合的に修得するということが挙げられているが、本科目は西洋美術史の二大根幹といえるキリスト教美術について基礎的知識を身に付けるという意味で、芸術文化コースの学生にとって必要不可欠な科目である。本年度も、キリスト教美術の発生から現代に至るまでの重要なキリスト教建築・美術・文化について学習する。また特に本年度は、岡田温司氏の『黙示録—イメージの源泉』をプレゼン発表の教科書として、キリスト教美術における黙示録の図像やそれらの作例などについて学習、考察していく。また近代のマリアの「奇跡」の表象としてフランスのルルドの例を紹介するとともに、日本の近世や近代における聖母マリア信仰の特徴についても紹介し、キリスト教美術史全般の基礎的知識の習得を目指す。また、プレゼン後にはプレゼンに対するフィードバック、提出されたレポートには添削して返却（フィードバック）を行うので、赤入れされた箇所を熟読し、次回のレポート作成時に反映させて欲しい。</p>							関連科目			
								西洋美術史、西洋美術史特論Ⅰ、西洋美術史特論Ⅱ、日本近世・近代美術史、ほか			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校美術）【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	キリスト教美術の主題や図像について基礎的知識を得る。									
	②	様式的な変化を生じさせた時代背景や要因について考察する思考力を養う。									
	③	資料作成能力を身に付ける。									
	④	プレゼンテーション力を身に付ける。									
	⑤	学術的な記述力を身に付ける。									
	⑥										
評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	40	35	0	10	15	100		
教科書	黙示録—イメージの源泉 岩波新書 岡田温司 9784004314721										
参考書	聖母マリア 講談社選書メチエ 竹下節子 聖母マリア 創元社 シルヴィ・バルネイ著 船本弘毅監修 遠藤ゆかり訳 聖母像の到来 白水社 若桑みどり キリスト教美術図典 吉川弘文館 柳宗玄 中森義宗編 黙示録										

予備知識	特になし。
DPとの関連	芸術文化研究における専門家として、専門的知識(ここではキリスト教美術)や論理的思考力、プレゼンテーション力、国際的視点を身に付け、社会において課題や問題を解決できるようにする。
実務経験のある教員	
評価明細基準	P.P.を使用した発表(35点)とレポート(40点)、ポートフォリオ、出席状況の合計点とする。合計が6割に満たない場合はレポートの再提出がある。

P.P.を使用した発表とレポート提出がある。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	1回目の復習	40
	内容	ガイダンス／キリスト教の歴史			
2回	テーマ	キリスト教の歴史	講義	2回目の復習	30
	内容	概説(キリスト教の歴史)			
3回	テーマ	キリスト教の歴史	講義	3回目の復習	30
	内容	概説(キリスト教の歴史)			
4回	テーマ	キリスト教の歴史	講義	4回目の復習	30
	内容	概説(キリスト教の歴史)			
5回	テーマ	聖母マリア信仰	講義	5回目の復習	30
	内容	概説(聖母マリア信仰とマリア像の諸型)			
6回	テーマ	聖母マリア信仰	講義	6回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	講義(聖母マリア信仰とマリア像の諸型) 研究発表分担の決定			
7回	テーマ	ルルドと聖洞窟模型	講義	7回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	講義(ルルドの奇跡と模造ルルドの世界への普及)			
8回	テーマ	ルルドと天草	講義	8回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	講義(巡礼地ルルドと天草の模造ルルド)			
9回	テーマ	日本のルルドの聖母信仰	講義 演習	9回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	講義(日本におけるルルドの聖母信仰と模造ルルドの普及)			
10回	テーマ	黙示録	講義 演習	10回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	第1章「七」という数字ー『ヨハネの黙示録』から			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	黙示録	講義 演習	11回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	第2章 終末の源泉―聖書のなかの黙示をたどる			
12回	テーマ	黙示録	講義 演習	12回目の復習 担当章のプレゼン準備	90
	内容	第3章 変奏される神話―黙示録思想の展開			
13回	テーマ	プレゼン	AL PBL	学生による研究発表1、総括 レポート準備	180
	内容	学生による発表 第4章 女の出番―重なり合う聖女と淫婦			
14回	テーマ	プレゼン	AL PBL	学生による研究発表2、総括 レポート準備	180
	内容	学生による発表 第5章 「敵」としてのアンチキリストイメージの戦争			
15回	テーマ	プレゼン・レポート提出	AL PBL	学生による研究発表3、総括	180
	内容	学生による発表 第6章 カタストロフ―怪獣、核、そして騎士 レポート提出			

科目名	特別演習（日本画）（3美）				開講学年	3	講義コード	1676401	区分	選択	
英文表記	Special Seminar (Japanese Painting)				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	中村 賢次 佐藤 和歌子										
研究室	A412						オフィス アワー 火曜・昼休み				
メールアドレス	ken1214@@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画、絹本、掛軸										
授業概要	<p>明治以降、日本は西洋文化の影響を大きく受け、生活様式や文化も大きく変化してきた。日本画の世界においても同様で、現代では額装形態の作品が主流となり、それに伴ない、古来より用いられてきた材料である絵絹の使用が減ってきた。しかしこの絹に描かれた絵画は紙とは異なった美しさを持ち、更にその技術・技法も違うことを踏まえ、日本画の材料研究を行なう。</p>							関連科目			
								日本画実習 I～IV、学外演習（日本画）			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	絵絹の性質を理解し、古典的な日本画の支持体である絹本に描写する技術を身に付けることができるようになる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席及び制作姿勢(10点)	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	日常的に質疑を行い理解度を確認する。合評による作品評価。

絵絹は非常にデリケートな材料であるため、授業前にその日に実施可能な作業工程を十分に検討し、それに必要な画材の準備をする。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 花鳥	絹本に於ける伝統的な画材と技法	講義	絹による古典技法の理解を深める	90
	内容				
2回	テーマ 花鳥	絹本に於ける伝統的な表現様式	講義	絹による古典技法の理解を深める	90
	内容				
3回	テーマ 花鳥	各自用意した花の写生	実習	モチーフの持つ特色を観察・考察する	90
	内容				
4回	テーマ 花鳥	小下図の制作	実習	日本画における空間表現について理解を深める	90
	内容				
5回	テーマ 花鳥	原寸大の草稿制作	実習	日本画における空間表現について理解を深める	90
	内容				
6回	テーマ 花鳥	原寸大の草稿制作	実習	日本画における空間表現について理解を深める	90
	内容				
7回	テーマ 花鳥	草稿の転写と墨入れ	実習	絹と墨について十分な理解をする	90
	内容				
8回	テーマ 花鳥	絹に胡粉を塗る(下塗り)	実習	絹と胡粉について十分な理解をする	90
	内容				
9回	テーマ 花鳥	空間を意識した彩裏色	実習	日本画における空間表現について理解を深める	90
	内容				
10回	テーマ 花鳥	制作	実習	画材の使用方法・表現について見当する	90
	内容				

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	花鳥	実習	画材の使用方法・表現について見当する	90
	内容	制作			
12回	テーマ	花鳥	実習	画材の使用方法・表現について見当する	90
	内容	制作			
13回	テーマ	花鳥	実習	画材の使用方法・表現について見当する	90
	内容	制作			
14回	テーマ	花鳥	実習	画材の使用方法・表現について見当する	90
	内容	制作			
15回	テーマ	花鳥	実習	画材の使用方法・表現について見当する	90
	内容	制作			
16回	テーマ	花鳥	講義	客観的に自身の作品を評価する	90
	内容	合評・採点			

科目名	特別演習（洋画）（3美）				開講学年	3	講義コード	1676501	区分	選択	
英文表記	Special Seminar(Oil Painting)				開講期	前期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	有田巧（非常勤） 下城賢一										
研究室	L号館A201						オフィス アワー 前期集中				
メールアドレス	shimojo@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	フレスコ ストラッポ 壁画 古典技法										
授業概要	イタリア発祥の壁画技法であるフレスコ技法を学ぶ。 古典技法を学び、現在の絵画への変遷と発展を知り自らの作品制作を深める契機にする。							関連科目			
								洋画実習ⅢA・ⅢB、基礎デッサンⅠ、基礎デッサンⅡ			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	フレスコについて知識を得る									
	②	適切な技法および画材のへの修練がなされたか									
	③	古典絵画技法への理解度									
	④	課題制作の完成度									
	⑤										
	⑥										
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	30	70	0	0	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	洋画実習ⅢA、ⅢB、基礎デッサンⅠ、基礎デッサンⅡ
DPとの関連	古典技法と近代絵画 フレスコ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1作品講評会(寸評など)を受けて各学生が自らの作品制作を客観的に評価できたか(30点) 2古典技法のテンペラ絵画制作を完成度、理解度、表現への取り組みなどを基準に評価(70点)

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イタリア絵画	実習	準備物と課題計画の確認	420
	内容	パレスコ絵画制作			
2回	テーマ	古典技法の理解	実習／講義		840
	内容	作品解説、講義			

科目名	特別演習（彫刻）（3美）				開講学年	3	講義コード	1676601	区分	選択	
英文表記	Special Seminar (Sculpture)				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	清島 浩徳										
研究室	L-A-216						オフィス アワー 月曜5限				
メールアドレス	hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	彫刻素材 彫刻作家										
授業概要	4年次の卒業研究のための予備研究として位置づけ、研究テーマの絞込みと、制作力の向上をめざして、制作のみならず、日本及び諸外国の伝統的な美術作品から現代の美術作品まで幅広く扱い、造形的な要素についての理解を深め、民族性や地域性と表現との関連、作家研究や論理的な考察も試みながら、表現者としての資質向上を目指す。							関連科目			
								日本美術史、西洋美術史、東洋美術史、西洋彫刻論、美術領域論Ⅱ			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	主な近代彫刻家について研究し理解することができるようになる									
	②	近代から現代の彫刻について幅広い知識を得ることが出来るようになる									
	③	卒業制作の試作を行なうことができるようになる									
	④	主な彫刻素材について自ら研究できるようになる									
	⑤	鑑賞したり研究したことを端的にレポートにできるようになる									
	⑥	調べたことをプレゼンテーションできるようになる									
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	0	0	0	20	30	30	10	10	100		
教科書	適宜指示する										
参考書	適宜指示する										

予備知識	自分の好きな作家や興味のある作品などの研究をする 制作テーマを見つける。出来るだけ多くの美術館やギャラリーに行き、作品を見る(データや画像でなく本物を見る)
DPとの関連	専門的な力を身につけた、感性豊かな人格と、論理的な思考力を持つ人材を育てる
実務経験のある教員	
評価明細基準	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻芸術に対する基本的な知識を得られたか ・自他の作品に対して、自らの言葉で感想やコンセプトを伝えることができたか ・作家研究等によって、自分の作品に反映することができたか ・卒業研究テーマが決まったか

彫刻芸術に対する深い理解者となり、高度な資質を備えた表現者となるために、論理的なアプローチと感性的なアプローチをバランスよく試み、素材研究、作家研究、制作上での技法研究、コンセプチュアルな表現研究などの中から興味深いテーマを選び、自らの研究テーマを導き出す。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	導入	講義	演習内容を理解する	90
	内容	オリエンテーション			
2回	テーマ	作家研究	演習	作家研究(予習)	270
	内容	作家研究を行いプレゼンテーションをする			
3回	テーマ	素材研究	演習	素材研究(予習)	450
	内容	素材研究をし、成果発表をする			
4回	テーマ	テーマ設定	演習	テーマ制作(予習)	450
	内容	テーマ制作を行い、プレゼンテーションする			
5回	テーマ	プレゼンテーション	演習	卒業研究テーマの決定	90
	内容	総括まとめ			

科目名	卒業研究◎（日本画、洋画、彫刻、視覚芸術）（4美）				開講学年	4	講義コード	1677301	区分	必修	
英文表記	Graduation Study/Work				開講期	通年・集中	開講形態		単位数	16	
担当教員	中村賢次 佐藤和歌子 熊谷有展 下城賢一 勝野真言 清島浩徳										
研究室	A 4 1 6（中村研究室）・A 4 1 2（佐藤研究室） A 3 1 1（熊谷研究室） A 3 1 6（下城研究室） A 2 1 2（勝野研究室） A 2 1 6（清島研究室）						オフィス アワー 火曜日昼休み				
メールアドレス	ken1214@@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	卒業制作、卒業研究										
授業概要	各専門に関連する各自の卒業研究テーマを決定し、担当教官より個別の指導を受け、4年間の集大成として作品制作及び研究を行なう。							関連科目			
								本学科で履修した全ての科目			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	作品及び研究に於ける全プロセスへの理解を深め、テーマの具現化を目指す。その過程に於いて問題提起とその解決能力を身に付けることができるようになる									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	0	0	0	10	0	70	10	10	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	本学科で履修した全ての科目
DPとの関連	卒業制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	研究作品と制作論、研究姿勢などを総合的に評価する

担当教員の指導のもとで各々の研究に必要な準備・取材等に十分な時間を掛け、目標に向かって日常的に自己反省とその解決のために必要な準備を実践する

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	卒業制作・研究	実習	卒業制作・研究のサイズやテーマ設定と提出日程確認	720
	内容	オリエンテーション・卒業制作・研究の流れとテーマの決定			
2回	テーマ	卒業制作・研究	実習	各学生が担当教員のもと、3年間で修得した内容を踏まえテーマを設定する	720
	内容	制作・研究のテーマ決定			
3回	テーマ	卒業制作・研究	実習	設定したテーマを具現化するために必要な理論及びイメージの構築・サイズの決定	720
	内容	テーマの具体化			
4回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作・研究に必要な取材、使用画材・機材等の準備を行う	720
	内容	制作・研究のための準備			
5回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
6回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
7回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
8回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
9回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
10回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
12回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
13回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
14回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
15回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
16回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
17回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
18回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
19回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
20回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
22回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
23回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
24回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究	720
	内容	制作・研究			
25回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究と卒業展に向けての準備	720
	内容	制作・研究			
26回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究と卒業展に向けての準備	720
	内容	制作・研究			
27回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究と卒業展に向けての準備	720
	内容	制作・研究			
28回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究と卒業展に向けての準備	720
	内容	制作・研究			
29回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究と卒業展に向けての準備	720
	内容	制作・研究			
30回	テーマ	卒業制作・研究	実習	制作及び研究と卒業展に向けての準備	720
	内容	制作・研究			

科目名	卒業研究◎（芸術文化）（4美）				開講学年	講義コード	1677401	区分	
英文表記					開講期	開講形態		単位数	
担当教員									
研究室							オフィス アワー		
メールアドレス	@								
キーワード									
授業概要								関連科目	
								建築学科 のみ	建築 総合
教職関連 区分								学修・教育 目標	
								JABEE 基準	
JABEE 記号		学生の到達度目標							
	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計
教科書									
参考書									

予備知識	
DPとの関連	
実務経験のある教員	
評価明細基準	

学修上の
注意
(SBOs)

科目名	石彫実習（2美）				開講学年	2	講義コード	1677501	区分	選択	
英文表記	Stone carving (Practicum)				開講期	前期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	野島 泉里（非常勤）										
研究室	硯川実習棟107						オフィス アワー 火曜日16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	石彫,構造,										
授業概要	<p>石の起源を調べると、地球の誕生までさかのぼる。これほど長い時間と生命を宿し続けている素材は他には無く、現代人の心を打つ石による巨大な建造物や都市などが、世界各地に現存していることは既によく知られている。古代の人々は、石を掘り磨くことを思いつくと同時に美を感じる心を発揮し、現代では想像も出来ないほどの根気と情熱を傾けて、素晴らしい動物や女性の像などを制作した。これらの作品は私たちに驚きと、人類の限りない生命力、可能性を教えてくれる。石彫技法を初歩から習得し、作家としての姿勢を認識しながら情熱ある作品作りを展開させたい。</p>								関連科目		
	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造							
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻								学修・教育目標		
	JABEE基準										
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	道具の扱いができるようになる									
	②	手掘りの技術を身に付けることができる									
	③	共同作業により協調性を身に付けることができる									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	10	10	50	10	20	100		
教科書											
参考書											

予備知識	塑造実習1A,1B,2A,2B,3A,3B
DPとの関連	造形活動を通して培った汎用的造形力・表現力を生かし、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できるの能力を身に付ける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	作品と制作に対する姿勢を総合的に判断し評価する

Gパンのような生地の厚い長ズボン・長袖シャツ・運動靴・帽子か手ぬぐい・軍手を用意しておくこと。（メガネ、マスクは学校で用意します）

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	石に触れる	実習	イメージデッサン	270
	内容	石の性質と動かし方・重心について			
2回	テーマ	道具に触れる	実習	エスキースの制作(粘土か石膏)	270
	内容	道具(ノミ・コヤスゲ・ピジャン・ヤスリ・電動工具など)の使い方と作業時の服装について			
3回	テーマ	素材を見つめる	実習	制作(実材)	270
	内容	デッサンと実在の関係について			
4回	テーマ	石を彫る	実習	制作(実材)	270
	内容	面の彫り方の理解			
5回	テーマ	振り返り	実習	振り返り	270
	内容	良い作品と生命感の理解・完成・作品講評(全体・個人)			

科目名	日本文化特論（近代）＊6（3美）				開講学年	3	講義コード	1677901	区分	選必	
英文表記	Japanese Culture: Modern Japan, Advanced				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	モダン彫刻 モニュメント 近代日本 長崎										
授業概要	明治以降、日本は西洋列強と肩を並べるべく急激な近代化を推し進めた。日本美術もまた「西洋近代」を受容し、近代化を推し進めていった。彫刻という造形言語が絵画との対比において確立する時期、モニュメントとしての彫刻もまた地に溢れる。近代彫刻史はその一部においてモニュメントの歴史でもある（『彫刻の問題』より抜粋）。本講義は『彫刻の問題』の著者である小田原のどか氏等のテキストを通して、近代における彫刻、モニュメントの問題について検証する。同時に長崎の爆心地に関連するモニュメントに焦点を当てその意味について受講生と一緒に考えたい。							関連科目			
								日本美術史／東洋美術史／美術概論／芸術学演習Ⅰ／アートマネジメント論／日本・東洋美術史特論Ⅱ／彫刻実習ⅢA/ⅢB/ⅣA/ⅣB/視覚造形実習Ⅲ/視覚造形実習Ⅳ			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							学修・教育目標			
								JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	芸術というものが常に社会と連関して展開していることを理解できる。									
	②	芸術や美術の社会的な役割についての理解を深めることができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	50	40	0	10		100		
教科書	彫刻の問題 トポフィル 金井直他 記録資料と芸術表現 芸術学舎 林田新・中村裕太・小田原のどか 彫刻1空白の時代、戦時の彫刻、この国の彫刻のはじまりへ トポフィル 小田原のどか 現代思想 総特集ブラック・ライヴス・マター(10月増刊号)2020vol.48-13 青土社 上記のテキストは講義時に適宜コピー配布。										
参考書	日本彫刻の近代展(図録) 淡交社 東京国立近代美術館他編6 美術の日本近現代史 制度・言説・造型 東京美術 北澤憲昭他編 日本美術全集第16巻(激動期の美術)／第17巻(前衛とモダン)／第18巻(戦争と美術) 小学館 山下裕二他編著 特集「彫刻」ってなんだろう?(美術手帖2006年3月号) 美術出版社										

予備知識	
DPとの関連	造形活動および芸術文化研究における批判的な洞察力、さらにはそ言葉として表現する能力・態度を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	各テーマにおけるプレゼンテーション(45)および課題レポート(45)、他SOJOポートフォリオ(10)で評価する

単位修得の条件 ①出席3分の2以上を満たしていること。②講義中に出された課題がすべて実施・提出されていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ 内容	オリエンテーション 本講義の進め方など、テキストについて	講義	事前にテキストは熟読し、疑問点、わからない点などを整理して、授業に臨むこと。	90
2回	テーマ 内容	小田原のどか「第三章戦争から生まれた彫刻をめぐって」『記録資料と芸術表現』を読む 小田原のどか「第三章戦争から生まれた彫刻をめぐって」の講読(2-4回目)	講義	事前にテキストは熟読し、疑問点、わからない点などを整理して、授業に臨むこと。	270
3回	テーマ 内容	小田原のどか「第三章戦争から生まれた彫刻をめぐって」『記録資料と芸術表現』を読む 本論文より問題点・テーマを探し、研究発表。(5-6回)	講義	研究発表の準備(1週間) 研究発表、レポート作成。	180
4回	テーマ 内容	小田原のどか「モニュメンツ・マスト・フォール?BLMにおける彫像削除をめぐって」 BLMと彫刻表現について(7-8回)	演習	事前にテキストは熟読し、疑問点、わからない点などを整理して、授業に臨むこと。	270
5回	テーマ 内容	小田原のどか「モニュメンツ・マスト・フォール?BLMにおける彫像削除をめぐって」を読む。 BLM問題と芸術というテーマで研究発表(9-10回目)	演習	研究発表の準備(1週間) 研究発表、レポート作成。	180
6回	テーマ 内容	小田原のどか「空の台座 公共空間の女性裸体像をめぐって」『彫刻1』を読む 「彫刻とは何か」を考える(11-13回目)	講義	事前にテキストは熟読し、疑問点、わからない点などを整理して、授業に臨むこと。	270
7回	テーマ 内容	小田原のどか「空の台座 公共空間の女性裸体像をめぐって」『彫刻1』を読む 公共空間と女性裸体像のテーマで研究発表(14-15回目)	講義	研究発表の準備(1週間) 研究発表、レポート作成。	180

科目名	考古学と文化財Ⅰ（考古・発掘）＊7（3美）				開講学年	3	講義コード	1678301	区分	選必	
英文表記	Archology and Cultural Proderity I				開講期	前期	開講形態		単位数	2	
担当教員	清田 純一(非常勤)										
研究室	芸術学部棟 1階 事務室						オフィス アワー 授業後				
メールアドレス	kiyotar02@icloud.com										
キーワード	考古学 日本考古学 文化財										
授業概要	<p>美術学科の人材育成の目標の一つにあるように、芸術を学ぶ者にとっては、専門家としての知識を総合的に身につけることが求められる。本科目においては、考古学の手法によって導き出される先人たちの精神文化やライフスタイルを学ぶことにより、視野を広げることになる。日本における遺跡数は約47万箇所を数え、年間8千件を超える発掘調査が行われている。これらの調査では、時代を異にする遺構が検出され、様々な遺物が出土している。これらは人々の生きざまを知る大きな手掛かりとなる。本科目では、残された遺構や遺物から、先人たちがどのように生きたかについて、特に原始・古代に言及し、九州・熊本の事例を取りあげながら、日本列島の様相について講義する。前半は、各時代の概要について、後半は、設定したテーマに沿った「もの」について講義する。</p>							関連科目			
								考古学と文化財Ⅱ、その他の芸術文化コース科目			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	考古学とはどのような学問分野か知ることができる									
	②	発掘調査等で得られた最新の知識を得ることができる									
	③	文化財とは何かを知ることができる									
	④	日本における原始・古代の社会について知ることができる									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	20	0	20	30	0	0	10	20	100		
教科書	無し										
参考書											

予備知識	特になし
DPとの関連	芸術文化研究において培った基礎知識や専門知識、論理的思考力、歴史的視点を生かして、社会で芸術文化研究における専門家として、芸術文化の発展に持続的に貢献できる力を身に付けることを目指す。
実務経験のある教員	
評価明細基準	中間試験(20点)小テスト(20点)レポート(30点)ポートフォリオ(10点)授業態度・積極性(20点)第8回の講義において中間試験を、最終講義において小テストを実施する。また全講義終了後指定日まで小レポートを提出。

授業開始10分までは正規出席とし、30分以降は欠席とする。レポート等の提出物のコピー&ペースト等の剽窃は不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 内容	日本考古学の歴史と手法 日本考古学の始まりから現在に至るまでの変遷について講義し、考古学の本質について学ぶ	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90
2回	テーマ 内容	始原期の考古学～旧石器時代～ 日本列島における始原期の人類について、出土した遺物をもとに講義する	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90
3回	テーマ 内容	貝塚の考古学～縄文時代～ 縄文時代の代表的な遺跡である貝塚について、県内の貝塚の事例を中心に縄文時代の暮らしについて言及する	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90
4回	テーマ 内容	倭国大乱と倭人の暮らし～弥生時代～ 中国の史書にも記載される「倭国大乱」の時期の日本列島の様相について、熊本県内の遺跡を取り上げ、日本列島の様相について講義する。	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90
5回	テーマ 内容	古墳前夜の日本列島～弥生時代の終焉～ 権威のシンボルとして、全国に古墳が作られる直前の日本列島の様相について講義する。	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90
6回	テーマ 内容	古墳の広がり)と日本列島～古墳時代～ 全国の主要な古墳を紹介しながら、熊本県内の古墳との比較や同時代の様相について講義する。	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90
7回	テーマ 内容	平城京の考古学～奈良時代～ 中央集権国家が確立した奈良時代の都「平城京」について、発掘調査の成果をもとに講義する	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90
8回	テーマ 内容	西海道と肥後の国～奈良時代～平安時代～ 平城京が作られたころ西海道と呼ばれていた九州や肥後熊本に様相について講義する	講義(パワーポイント) 中間テスト	配布資料に目を通しておく	90
9回	テーマ 内容	土器の見方 原始・古代において生活の必需品であった土器について、考古学的な手法を用い、いろいろな視点から抗議する	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90
10回	テーマ 内容	酒器と酒造技術の変遷①～縄文時代・弥生時代～ いろいろな場面で登場する酒について、その変遷について、酒器を中心に講義する	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	酒器と酒造技術の変遷②～古墳時代・古代～	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90
	内容	前回に引き継ぎ後期の講義			
12回	テーマ	龍の絵画土器	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90
	内容	日本列島において後人が理解した「龍」について、土器に描かれた龍の絵画土器を中心に講義する			
13回	テーマ	埴輪の考古学	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90
	内容	古墳時代の遺物として、最も周知度の高い埴輪についてその変遷や意味について発掘事例から抗議する			
14回	テーマ	仮面の考古学	講義(パワーポイント)	配布資料に目を通しておく	90
	内容	仮面には通常とは異なる存在へと変身させる力が宿っている。日本列島においては、縄文時代以降見つかっている仮面についてその意味について講義する			
15回	テーマ	埋蔵文化財の保存と活用	講義(パワーポイント) 小テスト	配布資料に目を通しておく	90
	内容	発掘調査によって見つかった遺構や遺物はどのように処理され、保存されるのか。またそれらを活用するすべについて講義する			
16回	テーマ				
	内容	課題レポート提出			

科目名	特別演習（視覚芸術）（3美）				開講学年	3	講義コード	1678501	区分	選択	
英文表記	Special Seminar				開講期	通年・集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田郁										
研究室	永田A208（芸術学部棟）						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	つなぎ美術館 達仏										
授業概要	本演習は津奈木町を教材にして、アートと社会、アートと地域、アートと人々といったテーマを体感する特別演習である。実施内容は以下の通りである。①津奈木町の「津奈木大橋下」にある達仏（西野達プロデュース）のメンテナンス ②「達仏」の観察（四季を通じて、春・夏・秋） ③津奈木町所在の16体の彫刻群をリサーチする							関連科目			
								視覚造形実習ⅢA、ⅢB			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	実際の現場における観察により鑑賞力および表現力が養うことができた。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	50	40	0	10	0	0		
教科書											
参考書											

予備知識	達仏のHP http://tatzubutzu.com/達仏/ 津奈木町の16体の彫刻群 http://www.town.tsunagi.lg.jp/page817.html
DPとの関連	観察による鑑賞力と表現力を養う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	授業概要①②③の取り組みと成果レポートおよび作品(90点)、SOJOポートフォリオによる学修到達度目標レポート(10点)の計100点

本演習は通年科目のため、スケジュールについては担当教員か連絡があるので、必ず確認すること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	①達仏	実習	達仏をメンテナンスアシスタント	90×5
	内容	達仏メンテナンス(1~2日間)			
2回	テーマ	②達仏をみる	実習	達仏を四季ごとに観察する	90×5
	内容	達仏の定期観測			
3回	テーマ	③津奈木町所在の16体の彫刻群	観察実習	彫刻の観察 彫刻の撮影	90×5
	内容	津奈木町所在の16体の彫刻群をリサーチする			

科目名	芸術文化演習Ⅰ(3美)				開講学年	3	講義コード	1678601	区分	必修	
英文表記	Art & Culture Studies : Practice I				開講期	前期	開講形態		単位数	4	
担当教員	関根 浩子 永田 郁										
研究室	A312 A208						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	文献検索 資料収集 テーマ設定 論文執筆 プレゼンテーション										
授業概要	<p>本学科の人材育成目標の一つに、研究の授業を通して課題を発見し、解決する能力を養うことがあるが、本科目は芸術文化コースで4年次に卒業研究提出を目指す学生にとっては必要不可欠な科目である。本科目では、4年次の卒業研究(論文作成)に向けて、研究課題の設定や研究の方法、論文の構成や書き方など、卒業研究(論文)の遂行に必要な一連の事柄(作品やものの見方や考え方を含む)の指導を行う。また、到達度目標の達成状況をみながら、学生による研究発表も開始し、課題の発見力を養う。</p>							関連科目			
								芸術文化コースの全科目			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	卒業研究のために確実な資料収集が行えるようになる。									
	②	卒業研究のために的確な問題設定ができるようになる。									
	③	卒業研究の方向づけを行うことができるようになる。									
	④	研究成果を論文の中での的確に展開できるようになる。									
	⑤	研究成果の発表方法に熟達できるようになる。									
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	50	25	0	10	15	100		
教科書	個別に指示、指導する										
参考書	個別に指示、指導する										

予備知識	テーマに関するある程度の知識が必要。
DPとの関連	芸術文化研究における専門家となるための知識や技術、特に論文執筆のための調査研究方法や技術を身に付けることで、社会においても芸術文化の研究や発展に貢献、寄与できるようにする。
実務経験のある教員	
評価明細基準	平常の討議・発表内容および提出された小論文(もしくはレポート)、口頭発表、並びに出席状況、ポートフォリオによって総合的に評価する。

受講生各自の積極的な取り組みと研究内容のP.P.等を使用した口頭発表が必要である。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	論文とは	講義	科目の内容と目標を理解する	0
	内容	オリエンテーション(論文とは何か)			
2回	テーマ	論文作成のタイムスケジュール	講義	各自タイムスケジュール作成(復習)	60
	内容	ガイダンス(論文作成のためのタイムスケジュール)			
3回	テーマ	資料収集法	講義 演習	各自文献検索(復習)	60
	内容	資料収集法1(文献)			
4回	テーマ	資料収集法	講義 演習	各自画像取り込み(復習)	60
	内容	資料収集法2(画像)			
5回	テーマ	資料収集法	講義 演習	各自作品データの収集・電子化作業(復習)	60
	内容	資料収集法3(作品データの収集)			
6回	テーマ	文献検索法	講義 演習	学習した文献検索方法によって課題のリスト作成(復習)	60
	内容	文献検索の方法1(図書館、文書館、美術館、博物館等の施設の活用)			
7回	テーマ	文献検索法	講義 演習	論文が掲載されている書籍から各自復習として論文を検索してみる(復習)	60
	内容	文献検索の方法2(論文検索のための書籍の活用)			
8回	テーマ	文献検索法	講義 演習	WEBから自身の研究課題に関する文献を検索してみる(復習)	60
	内容	文献検索の方法3(WEBの活用)			
9回	テーマ	問題設定	講義 演習	各自で論文のテーマを想定して、構成を考えてみる(復習)	30
	内容	論文の問題設定と方向づけについて			
10回	テーマ	テーマ設定	講義 演習	各自で内容に合致したよりよいテーマを考えてみる(復習)	30
	内容	テーマ設定(受講生各自のテーマを決定する)			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	論文の書式	講義 演習	学術雑誌等に当たり、微妙な違いを認識する(復習)	30
	内容	論文執筆の実際1(論文の書式)			
12回	テーマ	論文の展開	講義 演習	論文の文章の構成、展開に関する復習	30
	内容	論文執筆の実際2(文章の展開法)			
13回	テーマ	プレゼンのテクニック	講義 演習	プレゼンに関する復習	30
	内容	プレゼンテーションの技法(視聴覚機器の使い方、資料の提示法)			
14回	テーマ	資料の加工	講義 演習	パソコンを使って実際に資料を加工してみる(復習)	40
	内容	資料の加工(視聴覚資料の作成)			
15回	テーマ	図版作成	講義 演習	パソコンやスキャナなどを使い独力で図版を使ってみる(復習)	40
	内容	図版作成(論文の挿図や口絵などの作成)			
16回	テーマ	口頭発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			
17回	テーマ	論文講読	演習	論文をもう1度読み返し、問題点や新規性を整理する(復習)	60
	内容	論文講読(研究テーマに関する論文の講読)			
18回	テーマ	口頭発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			
19回	テーマ	論文講読	演習	論文をもう1度読み返し、問題点や新規性を整理する(復習)	
	内容	論文講読(研究テーマに関する論文の講読)			
20回	テーマ	口頭発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	論文講読	演習	論文をもう1度読み返し、問題点や新規性を整理する(復習)	60
	内容	論文講読(研究テーマに関する論文の講読)			
22回	テーマ	口頭発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			
23回	テーマ	論文講読	演習	論文をもう1度読み返し、問題点や新規性を整理する(復習)	60
	内容	論文講読(研究テーマに関する論文の講読)			
24回	テーマ	口頭発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			
25回	テーマ	論文講読	演習	論文をもう1度読み返し、問題点や新規性を整理する(復習)	60
	内容	論文講読(研究テーマに関する論文の講読)			
26回	テーマ	研究発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			
27回	テーマ	論文講読	演習	論文をもう1度読み返し、問題点や新規性を整理する(復習)	60
	内容	論文講読(研究テーマに関する論文の講読)			
28回	テーマ	口頭発表	演習 実習 AL PBL	発表の準備(予習)	120
	内容	研究発表(決定したテーマに関する口頭発表)			
29回	テーマ	小論文執筆	AL PBL	卒業論文に向けての小論文執筆(予習)	180
	内容	小論文執筆			
30回	テーマ	提出・添削	AL PBL	卒業論文に向けての小論文執筆(予習)	180
	内容	小論文執筆・提出			

科目名	視覚造形実習ⅢA*8(3美)				開講学年	3	講義コード	1679001	区分	選必		
英文表記	Visual Arts Work IIIA				開講期	前期	開講形態		単位数	8		
担当教員	永田 郁 野島泉里(非常勤) 野島マーサ(非常勤) 東耕平(非常勤)											
研究室	芸術学部棟A208(永田) 硯川実習棟303/102(非常勤)						オフィス アワー 水曜日5限					
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	作品制作 現代アート											
授業概要	<p>本実習は3年後期の大型作品の制作を念頭に入れて、基本的には制作系は野島泉里、野島マーサ・東耕平各講師によるアプローチと制作のための理論については永田のアプローチにより、受講者自身がいかに日頃感じている、またはいろいろな場面で発見した「気づき」を作品化できるよう、制作および理論の双方で指導していく。視覚造形実習ⅢAではfinding your voice(自身の興味を掘り下げる、または自分を見つける)およびSelf research(自ら学ぶ)のアプローチにより実験的なことも含め個人の興味を探りながら考えを深めていく。本実習を通して、アートと社会の関係も考え、本実習の学びがどのように実社会に還元できるかも学生と一緒に議論する。本実習は週2コマ×4回で実施される。3年後期の大型作品の制作に必要な方法論、理論について野島(泉)&(マ)両講師、東講師および永田が担当する。担当開講曜日は下記の通りである。月3-4限:東講師【美/非】 火1-2限野島(マ)講師【美/非】 水3-4限永田【美】 金3-4限:野島(泉)講師【美/非】</p>								関連科目			
									視覚造形実習Ⅳ、学外演習(視覚)、ワークショップ演習			
教職関連区分									建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	3年後期の大型作品の制作へ向けての作品の構想化から制作実施まで実現できるようなテーマを発見し、またそのテーマを具体的に視覚化できるよう方法論について理解し、実践でできるようになる。										
	②											
	③											
	④											
	⑤											
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	0	20	70	10	0	100			
教科書	特に指定しない											
参考書	<p>メイキング 人類学・考古学・芸術・建築 左右社 T・インゴルド ラインズ 線の文化史 左右社 T・インゴルド ライフ・オブ・ラインズ フィルムアート社 T・インゴルド 制作へ EKTRITS 上妻世海</p>											

予備知識	
DPとの関連	造形活動を通して総合的な問題解決の方法を学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	実習の取り組み方(アート制作実習、理論演習)と各担当における提出課題(70点)・作品または研究発表(プレゼン)(20点)により評価する。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

オリエンテーションおよび実習の初回には必ず出席すること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	野島泉里・野島マーサ・東 耕平クラス	実習	スキル体験・素材研究など	540× 3週間
	内容	スキルアップ週間「ものづくりゼミナール」表現の幅を広げるスキルの体験、素材の発見の期間(1st-3rd week)			
2回	テーマ	自由制作のための探究・実験Ⅰ(4th-7th week)	実習	各自のテーマで探究・実験	540× 4週間
	内容				
3回	テーマ	中間成果発表会(8th week)	プレゼンテーション・講評	探究・実験の成果発表	540
	内容				
4回	テーマ	自由制作のための探究・実験Ⅱ(9th-14th week)	実習	各自のテーマで探究・実験	540× 6週間
	内容				
5回	テーマ	前期成果発表会(作品・アイデア等複数発表可)	プレゼンテーション・講評	探究・実験の成果発表	540
	内容				
6回	テーマ	永田クラス ポートフォリオ作成+フィールドワーク	講義	ポートフォリオとは何?から具体的なコンテンツを立てる。	180×2 週間
	内容	ポートフォリオを作ろう			
7回	テーマ	作家・作品研究	演習	興味ある作家・作品を取り上げディスカッション	180× 4週間
	内容				
8回	テーマ	フィールドワーク実習Ⅰ	実習・演習	地域を決めて、そこをフィールドワークし、資源・種を探し、作品や発表を行う。	180× 8週間
	内容				
9回	テーマ	フィールドワーク実習Ⅰ 成果発表	プレゼンテーション・講評	フィールドワークの成果発表	180
	内容				

科目名	基礎デッサンⅡ（1美）				開講学年	1	講義コード	2670501	区分	選択	
英文表記	basic drawing Ⅱ				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	下城 賢一										
研究室	A214						オフィス アワー 金曜日・放課後				
メールアドレス	shimojo@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	デッサン 石膏像デッサン 素描 観察										
授業概要	この授業では表現世界における基礎造形力を養うことを目的とする。デッサンを通して身近なモチーフ(描く対象)を深く観察し、そのモチーフに宿る均衡、律動、バランスなどを美しさを感じながら描き、対象に向き合うことを学ぶ。さらにはモチーフが作り出す空間と室内空間を適切な光と影を表現しながら修練を重ねることで、空間に対する認識力が高まっていく。またモチーフの観察力の高まりにより、表面の質感表現からより根本的なイメージの構築へと表現が深まって行くことを目指す。1回から6回までの実習制作に関して7回目で講評を行います。また8回から14回までの制作に関しても同じく15回目に作品評価を行い作品上のアドバイスをを行います。							関連科目			
								日本画実習 洋画実習 彫刻実習 視覚造形実習 共通絵画実習Ⅰ 共通絵画実習Ⅱ 共通立体実習			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…必修 【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術) 【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	観察から表現へ 作家としての視る力、表現する力を養うことができるようになる。									
	②	平面表現における空間把握の理解ができるようになる									
	③	構図の理解ができるようになる									
	④	明暗、陰影(調子)の理解ができるようになる									
	⑤	観察と描き込みにより完成度を高めることができるようになる									
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	40	50	10	0	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	シャルル・バルグのドローイングコース (株)ポーンデジタル ジェラルド・M・アッカーマン 978-4-86246-376-0										

予備知識	基礎デッサンⅠ
DPとの関連	造形活動や芸術文化研究における専門家として、基礎的技術や専門的知識を総合的に身に付けたものに関連した科目である
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.口頭による成果発表 適時に自分の作品に対し狙い及び批評を行う 各20点×2回 40点 2.作品制作に対する取り組み姿勢、作品の内容(表現力、完成度、他)で総合的に評価する(50点) 3.ポートフォリオによる振り返り。(10点)

デッサン用具一式(木炭、木炭紙、鉛筆、カルトンなど)を準備する。テーマにそった内容の講義を実習内に適時行い、テーマにつながる文献等を紹介し、実習外でそれらを補う学習法を指示する。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 内容	静物素描 2種類のモチーフから選択する。	実習	対象をよく観察し、不要な部分を整理して、表現する力を養う。 形、明暗、材質、空間の表現	180
2回	テーマ 内容	実習	180
3回	テーマ 内容	実習	180
4回	テーマ 内容	実習	180
5回	テーマ 内容	実習	180
6回	テーマ 内容	実習	180
7回	テーマ 内容	実習 ポートフォリオの中間チェック	180
8回	テーマ 内容	実習	180
9回	テーマ 内容	石膏デッサンⅠ	実習	古典彫刻の作品の造形から、形態の美しさを学び、素描の基礎力を培う。	180
10回	テーマ 内容	実習	180

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	〃	実習	〃	180
	内容				
12回	テーマ	石膏デッサンⅡ	実習	石膏デッサンⅠより高度な石膏像に取り組むことにより、応用力を身につける。ポートフォリオの提出	180
	内容				
13回	テーマ	〃	実習	〃	180
	内容				
14回	テーマ	〃	実習	〃	180
	内容				
15回	テーマ	〃	実習	〃	180
	内容				

科目名	美術領域論Ⅰ（平面造形）（1美デ）				開講学年	1	講義コード	2670701	区分	選択		
英文表記	Art domain theory (Plane painting)				開講期	後期	開講形態		単位数	2		
担当教員	古澤 伸一郎（非常勤）											
研究室	A212						オフィス アワー 金曜日・放課後					
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	セザンヌ,キュビズム,抽象表現主義											
授業概要	<p>多数の作品の画像をパワーポイントで紹介しながら講義・ディスカッションをする。学生は消費者としてではなく、表現者になるためにそれらのイメージの根底を読み解いていかなければならない。近代以降の画家は何を読み取り、何を表現してきたのか。この講義では、キュビズムをはじめとする20世紀の美術に多大な影響を与えたことから、「近代絵画の父」と言及されるセザンヌから、ピカソ、ブラックが、20世紀初頭に始めた視覚上革命的な美術表現であるキュビズム。そして第二次世界大戦後のアメリカで生まれた抽象表現絵画等の作品の解説、分析を通してその作品の理解を深め、深く味わう楽しさを伝えることを目的とする。本授業を通して、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。授業の中で適宜レポートの評価、小テストなどを行い理解度をチェックする。</p>								関連科目			
									建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	作品の分析ができるようになる										
	②	視覚的な表現の楽しさを学ぶことができる										
	③	感性だけで消化せず、作品を読み取る作業を通して洞察力・観察力・考える力を身に付けることができるようになる										
	④	作品などのプレゼン発表により、自作に対して、客観的にみる力と、コミュニケーション能力を高めることができる。										
	⑤											
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	70	10	10	5	5	100			
教科書	授業の中で指示する											
参考書												

予備知識	セザンヌ,キュビズム,抽象表現主義について調べておく 日本画実習1A・洋画実習2A・彫刻実習1A・視覚造形実習1・基礎デッサン1
DPとの関連	【知識・理解】造形活動や芸術文化研究における専門家として、基礎的技術や専門的知識を総合的に身に付けたものと関連する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	実技作品提出 10点 口頭プレゼンテーション 10点 レポート提出(レポート3課題30 論文1課題40) 70点 その他(出席など就学態度)5点 ポートフォリオ 5点

次の講義の課題について調べておくこと

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 内容	セザンヌ#1	講義	独自性に溢れた革新的な表現とは？	90
2回	テーマ 内容	セザンヌ#2	講義	多角的な視点の採用	90
3回	テーマ 内容	セザンヌ#3	講義	キュビズムの形成に与えた影響	90
4回	テーマ 内容	キュビズム#1	講義	一つの視点から複数の視点(同時的視覚)へ	90
5回	テーマ 内容	キュビズム#2	講義	セザンヌのキュビズム	90
6回	テーマ 内容	キュビズム#3	講義	分析的キュビズム	90
7回	テーマ 内容	キュビズム#4	講義	総合的キュビズム	90
8回	テーマ 内容	キュビズム#5	講義	ロココ的キュビズム	90
9回	テーマ 内容	抽象表現主義#1	講義	第二次世界大戦後の美術の動向	90
10回	テーマ 内容	抽象表現主義#2	講義	アメリカがなぜ世界の美術の中心になったのか？	90

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	抽象表現主義#3	講義	抽象表現主義とは？	90
	内容				
12回	テーマ	抽象表現主義#4	講義	作品の特徴	90
	内容				
13回	テーマ	抽象表現主義#5	講義	クレメント・グリンバーグとフォーマリズム	90
	内容				
14回	テーマ	抽象表現主義#6	講義	「色彩的な絵画」・「線的な絵画」	90
	内容				
15回	テーマ	補足	講義	日本の美	90
	内容				
16回	テーマ	補足	講義	編集について	90
	内容				

科目名	コンピューター演習（1美）			開講学年	1	講義コード	2670801	区分	選択		
英文表記	Seminar in Computer			開講期	後期集中	開講形態		単位数	4		
担当教員	森 英顕（非常勤）										
研究室	教務課前 非常勤講師室					オフィス アワー 授業の前後					
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	コンピューター活用法、文書作成、画像編集、アートディレクション										
授業概要	<p>本演習では、アーティストとしての活動を行う上で武器となるアート・マネジメント、その一つである企画・広報のための資料作成のプロセスを踏む中で、道具であるコンピュータを用いて紙媒体への出力を目的とした印刷データを作成し、基礎的なコンピュータの操作方法を学ぶものである。《アートのためのセルフ・ディレクション》ディレクションとは、プロジェクトの制作から管理まで総合的な役割を示す言葉である。一般的に企画を管理する役割、「全体を見る」「取りまとめ」だけではなく、実際に制作に関わる・手を使うというニュアンスも含まれている。セルフ(自分自身)で自分自身の展覧会(個展)をディレクションすることで、企画に関わる一連の流れを通して基礎的なコンピュータの活用法を学び、書類作成とプレゼンテーションの能力を習得することを目的とする。授業の進行や成績評価基準に関わる成果発表・レポート提出(5課題)などは全てWebclass上で提出・採点する。課題提出の成績確認は、WebClassの『成績』→『集計』もしくは『テスト結果』で確認すること。提出不備など各自への連絡事項はWebclassのメッセージ上で行う。こちらも確認を怠らないこと。</p>							関連科目			
								コンピュータ基礎実習			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	コンピュータの活用法を習得することができる。									
	②	アートのためのセルフ・ディレクションのプロセスを理解することができる。									
	③	企画・広報に関わる文書・フライヤー等の作成法を習得することができる。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	25	30	20	10	15	100		
教科書	授業の中で適宜配布する										
参考書	授業の中で適宜配布する										

予備知識	コンピューター基礎実習
DPとの関連	<p>アートのためのセルフ・ディレクションに関わる資料作成を通して、道具としてのコンピュータ活用法を理解することが期待できる。【知識・理解】企画・広報のための資料作成のプロセスを踏む中で、文書作成・画像編集ソフトウェアのオペレーションを習得し、社会活動に応用できる力を身に付けることが期待できる。【汎用的技能】【態度・志向性】</p>
実務経験のある教員	
評価明細基準	<p>点数の割り当ては以下とする。(合計 100 点) レポート25点 成果発表(口頭・実技)30点 作品20点 ポートフォリオ10点 その他(出席)15点 ※作品点(20点)は、すべての課題を提出することで付加する。</p>

自身の作品発表を前提として演習を行う。自分の作品(3点)を制作し、写真データを準備しておくこと。コンピュータの操作を覚えるだけでなく、日常の中で実際に活用できることが本カリキュラムの目的である。課題を通して自分自身の様々な活動に応用できるように、その意識を持って取り組むこと。※授業では各自所有している大学指定のパソコン(Mac book)を使用する。必ず持参すること。また、事前にAdobe Creative Cloud(学生・教職員個人版ライセンス)を購入し、自分のパソコンにPhotoshop、Illustrator、Acrobatをインストールしておくこと。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ 内容	コンピュ ータ 基礎 道真としてのコンピュータを扱うための 基礎知識、「プリントの ためのセルフ ・ディレクション」の概要	講義 + 課題 演習	興味がある展覧会のリストアップ	180
2回	テーマ 内容	文書 作成 Microsoft Word の基本操作	講義 + 課題 演習	展覧会のフライヤーなど参考資料を 集めておくこと	180
3回	テーマ 内容	文書 作成 展覧会計画書の作成	講義 + 課題 演習	展覧会のフライヤーなど参考資料を 集めておくこと	180
4回	テーマ 内容	画像 編集 Adobe Photoshopの基本操作	講義 + 課題 演習	自分の作品(3点)の写真を撮っておくこと。	180
5回	テーマ 内容	レイアウト編 集 Adobe Illustratorの基本操作	講義 + 課題 演習	参考にしたい展覧会のフライヤー (ハガキサイズ/DM)を集めておくこと	180
6回	テーマ 内容	レイアウト編 集 Adobe Illustratorの応用操作	講義 + 課題 演習	参考にしたい展覧会のフライヤー (ハガキサイズ/DM)を集めておくこと	180
7回	テーマ 内容	レイアウト編 集 フライヤー(DM)の作成	講義 + 課題 演習	自分の作品(3点)の写真の準備と、自分が作りたいフライヤー(ハガキサイズ/DM)のイメージ図を考えてくること	180
8回	テーマ 内容	レイアウト編 集 フライヤー(DM)の作成	講義 + 課題 演習	自分が作りたいフライヤー(ハガキサイズ/DM)のイメージ図を考えてくること	180
9回	テーマ 内容	レイアウト編 集 フライヤー(DM)の作成	講義 + 課題 演習	自分が作りたいフライヤー(ハガキサイズ/DM)の完成イメージ図を考えてくること	180
10回	テーマ 内容	中間 講評 印刷出力のための基礎知識	講義 + 課題 演習	Illustrator の基本操作の確認	180

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	レイアウト編集	講義 + 課題 + 演習	参考にしたい展覧会のフライヤー (A4)を集めておくこと	180
	内容	フライヤー(A4)の作成(基本)			
12回	テーマ	レイアウト編集	講義 + 課題 + 演習	自分の作品(3点)の写真の準備と、自分が作りたいフライヤー(A4)のイメージ図を考えてくること	180
	内容	フライヤー(A4)の作成(応用)			
13回	テーマ	レイアウト編集	講義 + 課題 + 演習	自分が作りたいフライヤー(A4)のイメージ図を考えてくること	180
	内容	フライヤー(A4)の作成(応用)			
14回	テーマ	レイアウト編集	講義 + 課題 + 演習	自分が作りたいフライヤー(A4)の完成イメージ図を考えてくること	180
	内容	フライヤー(A4)の作成(応用)			
15回	テーマ	文書編集	講義 + 課題 + 演習	自分の作品(3点)の作品名・サイズ・素材・制作年をリストアップしておくこと。	180
	内容	キャプション・プレスリリースの作成			
16回	テーマ	文書編集	プレゼン + 講評	提出課題である、/展覧会計画書/ フライヤー(DM)/フライヤー(A4)/キャプション/プレスリリース/ のデータチェックをしておくこと。	180
	内容	最終講評			

科目名	日本画実習ⅠB(1美)				開講学年	1	講義コード	2671001	区分	選必	
英文表記	Japanese Painting I B				開講期	後期	開講形態		単位数	8	
担当教員	佐藤 和歌子 田淵 恵理 (非常勤)										
研究室	A412						オフィス アワー 火曜・昼休み				
メールアドレス	w-sato@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画, 細密写生, 模写, 鳥獣戯画										
授業概要	東洋芸術と西洋芸術の相違は、その地の人々の生活・文化・宗教等に起因するものである。その中において日本美術は正確且つ現実的な物体・空間・存在を表現するのではなく、自然との対話と融合を重んじ、精神性を求める芸術へと発展してきた。伝統技法と古典を臨模することにより、この日本画本来の美意識と自然観を探究する。							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	古来より続く日本美術に対して理解できるようになる									
	②	現代社会における模写の役割を理解できるようになる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席及び制作姿勢(20点)	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習 I A
DP との 関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	出席及び制作姿勢と実習に於ける全ての作品に対して評価を行う。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ 細密写生 鳥の剥製	使用する剥製の選択 和紙(美濃紙)の水張り及び鉛筆で描写	実習	水張りに使用する道具(刷毛、筆洗、のり、絵皿など)の準備、手順を確認しておく	720
2回	テーマ 細密写生 鳥の剥製	鉛筆で描写	実習	日本画細密写生における鉛筆の使い方について十分に検討する	720
3回	テーマ 細密写生 鳥の剥製	鉛筆で描写 墨入れ・地塗り	実習	画材や技法について十分に検討する	720
4回	テーマ 細密写生 鳥の剥製	水干絵具による細密写生	実習	画材や技法について十分に検討する	720
5回	テーマ 細密写生 鳥の剥製	水干絵具による細密写生	実習	画材や技法について十分に検討する	720
6回	テーマ 細密写生 鳥の剥製	水干絵具による細密写生	実習	画材や技法について十分に検討する	720
7回	テーマ 細密写生 鳥の剥製	谷評・採点	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	720
8回	テーマ 模写 鳥獣戯画	鳥獣戯画及び模写の技法・役割等の説明	講義	模写の技法・役割について十分に検討する	720
9回	テーマ 模写 鳥獣戯画	模写(鉛筆)	実習	模写における鉛筆の使い方について十分に検討する	720
10回	テーマ 模写 鳥獣戯画	模写(鉛筆) 水張り(厚美濃紙)	実習	模写における鉛筆の使い方について十分に検討する	720

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	模写における鉛筆の使い方について十分に検討する	720
	内容	模写(鉛筆) 永張り(薄美濃紙)			
12回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	画材や技法について十分に検討する	720
	内容	模写(墨)			
13回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	画材や技法について十分に検討する	720
	内容	模写(墨)			
14回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	画材や技法について十分に検討する	720
	内容	模写(墨)			
15回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	画材や技法について十分に検討する	720
	内容	模写(墨)			
16回	テーマ	模写 鳥獣戯画	実習	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
	内容	合評・採点			

科目名	洋画実習ⅠB(1美)				開講学年	1	講義コード	2671201	区分	選必		
英文表記	Oil PaintingⅠB				開講期	後期	開講形態		単位数	8		
担当教員	下城賢一 熊谷有展 古澤伸一郎(非常勤)											
研究室	L号館D201						オフィス アワー 月1,2 水1,2 木1,2 金1,2					
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	油絵具 キアロスクーロ(古典的デッサン) 静物油彩 人体骨格 素描											
授業概要	<p>洋画実習ⅠAにおいて試みた基礎造形力を学ぶ課題をさら深め応用するための課題に取り組む。洋画実習ⅡBではこの基礎造形力を身につける課題に引き続き取り組みつつ1Aで評価基準とした3点をがどのような面で絵画表現にとって必要かを思考し各学生が共有できるように課題が組まれている。さらに画材への理解を深め、様々な用具の特性を理解し自らの制作に応用できるようにする。この授業での評価基準としては1Aにおける3点(観察力・技術・構成力)に加えて各学生の油彩表現における絵画的な豊かさや技法の習得、色彩と明暗の理解も併せて評価の基準とする。</p>								関連科目			
									洋画実習1A			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	油彩画の基本的な技法を理解し、応用力を養うことができる。										
	②	無彩色から有彩色へ色彩について応用できるようになる。										
	③	油絵具による質感表現に取り組むことができる。										
	④	グリザイユ技法による空間表現を理解することができる。										
	⑤	自然な人物表現ができるようになる。										
	⑥	室内空間が描けるようになる。										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	0	40	50	10	10	100			
教科書	授業の中で指示する											
参考書	授業の中で指示する											

予備知識	洋画実習1A、基礎デッサン、西洋美術史
DPとの関連	絵画制作の基本的な技術を追求しながら、幅広い芸術世界についても、美術館見学等を通し、探求する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.成果発表(作品講評会)において作品への評価を受け、問題点や解決への緒を各学生が導き出す。(10点×3回 計30点) 2.課題のテーマ、モチーフへの理解と観察、などを基準にして総合的に作品の評価を行います。50点 3ポートフォリオによる振り返り(10点)

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	デッサン	実習	使用画材と技法の理解 準備物と課題計画の確認	540
	内容	着彩紙デッサン(キアロスクーロ)			
2回	テーマ	デッサン	実習	使用画材と技法の理解 準備物と課題計画の確認	1620
	内容	裸婦デッサン/大型木炭紙			
3回	テーマ	油彩画	実習	使用画材と技法の理解 準備物と課題計画の確認	2700
	内容	着衣人物/油彩画			
4回	テーマ	油彩画	実習	使用画材と技法の理解 準備物と課題計画の確認	5220
	内容	人物座像/デッサン、グリザイユ、油彩画			

科目名	彫刻実習ⅠB(1美)			開講学年	1	講義コード	2671401	区分	必修	
英文表記	Sculpture Work 1B			開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	清島 浩徳 (実務経験)									
研究室	L-A-104					オフィス アワー 月曜5限				
メールアドレス	hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	人物塑像制作 彫刻 塑像									
授業概要	粘土による人体像の制作を行う。写実的な表現を試みることで、造形的な見方・考え方を働かせ、基礎的な立体造形力を身につけることを目指す。量感や奥行きといった、立体ならではの感覚を高め、粘土素材を自由に駆使できるようになるには、創造的な思考力、判断力、表現力を身につけるための多くの修練が必要である。全身像の制作では人体の比例や均衡、動勢、マッサなどについての理解が求められる。何度も繰り返し制作を続けながら、表現者としての感性、観察眼を養うとともに、学んだことを総合的に組み立てて、意図するものがより明確に表現できるように務める。授業以外の時間で自主的に制作を深め、毎日制作する習慣を身につけることで、表現者としての資質の向上を目指す。						関連科目			
							西洋美術史、日本美術史、美術領域論Ⅱ			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	人体のデッサン力を高めることができるようになる								
	②	心棒の組み方が理解できるようになる								
	③	塑像による表現を楽しめるようになる								
	④	面や量感などの造形要素を理解できるようになる								
	⑤	モデルを見て、的確なモデリングができるようになる								
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	20	60	10	10	100	
教科書	適宜指示します									
参考書	適宜指示します									

予備知識	粘土の性質を理解する 人体の骨格や筋肉などを観察して繰り返しデッサンする 立体を形作る面、量、質感、空間などや、比例、均衡、動勢、マッサなどについて理解する 彫刻の素材や制作の為の道具について研究する
DPとの関連	芸術や文化における専門家としての基礎的な技術や知識を総合的に身に付け、造形活動や芸術の研究を通して培った豊かな感性や高い倫理観を持った、社会人となるための修練や、あらゆる物事に真摯に取り組む姿勢を持つ人物の育成を目指すとともに、社会における芸術の役割を認識した上で、現代の課題を発見し、それを解決することによって未来の文化形成に寄与し、社会貢献できる人物を育成するという目標を持った授業となっています。
実務経験のある教員	清島浩徳
評価明細基準	的確なデッサンに基づくモデリングができたか 表現に工夫がみられたか 毎回テーマを持って取り組めたか

心身ともに健康面の管理を徹底する 粘土や道具等の管理を自ら責任をもって行なう 最後まで粘り強く作品を作り上げる姿勢で臨む 自主制作を徹底する

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	人体の頭部の構造を理解する	150
	内容	内容の確認			
2回	テーマ	ポーズ決め	実習	骨格や構造を理解するためのデッサンを心がける	150
	内容	デッサン			
3回	テーマ	ポーズ決め	実習	骨格や構造を理解するためのデッサンを心がける	150
	内容	デッサン			
4回	テーマ	ポーズ決め	実習	骨格や構造を理解するためのデッサンを心がける	150
	内容	デッサン			
5回	テーマ	心棒組み	実習	人体の流れを把握しながら心棒を作る	150
	内容	心棒組み			
6回	テーマ	心棒組み	実習	人体の流れを把握しながら心棒を作る	150
	内容	心棒組み			
7回	テーマ	制作	実習	モデルをしっかり観察しながらモデリングを行う	150
	内容	粘土によるモデリング			
8回	テーマ	制作	実習	モデルをしっかり観察しながらモデリングを行う	150
	内容	粘土によるモデリング			
9回	テーマ	制作	実習	モデルをしっかり観察しながらモデリングを行う	150
	内容	粘土によるモデリング			
10回	テーマ	制作	実習	モデルをしっかり観察しながらモデリングを行う	150
	内容	粘土によるモデリング			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	中間講評	講評	中間講評を行い、課題を把握する	150
	内容	粘土によるモデリング			
12回	テーマ	制作	実習	モデルをしっかり観察しながらモデリングを行う	150
	内容	粘土によるモデリング			
13回	テーマ	制作	実習	モデルをしっかり観察しながらモデリングを行う	150
	内容	粘土によるモデリング			
14回	テーマ	制作	実習	モデルをしっかり観察しながらモデリングを行う	150
	内容	粘土によるモデリング			
15回	テーマ	制作	実習	モデルをしっかり観察しながらモデリングを行う	150
	内容	粘土によるモデリング			
16回	テーマ	講評 評価		成果と課題を確認し、次の制作へのつなげていく	150
	内容	プレゼンテーション 評価			

科目名	石膏技法実習A (1美)				開講学年	1	講義コード	2671501	区分	必修		
英文表記	Plaster technique work A				開講期	後期	開講形態		単位数	1		
担当教員	清島 浩徳 (実務経験)											
研究室	L-A-104						オフィス アワー 木曜日5限					
メールアドレス	hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	石膏 型取り FRP樹脂取り シリコン型制作											
授業概要	<p>塑像作品を耐久素材に置き換えるための素材として、石膏は欠かせないものである。石膏の性質を理解し、型取りから成型までの流れを理解し体験し、塑像作品を石膏に置き換えられるようになる。また、石膏を表現素材として活用する技法も身につける。また石膏以外の多様な材料や異なる材料を組み合わせたり、新しく開発された素材などの特性を活用したりして、試行錯誤しながら新たな表現方法を発見したり思いついたりするなど、多様な表現を追求できるようになる。</p>								関連科目			
									彫刻実習 I A、I B			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択 【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術) 【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻</p>								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	石膏素材を自由に扱うことができるようになる										
	②	型取りを理解し、技法を駆使できるようになる										
	③	新しい素材の特性を活用することができるようになる										
	④											
	⑤											
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	10	10	60	10	10	100			
教科書	特になし											
参考書	特になし											

予備知識	<p>塑像制作作品の完成 型取りから成型にいたるまでの行程を理解する</p>
DP との 関連	<p>芸術や文化における専門家としての基礎的な技術や知識を総合的に身に付け、造形活動や芸術の研究を通して培った豊かな感性や高い倫理観を持った、社会人となるための修練や、あらゆる物事に真摯に取り組む姿勢を持つ人物の育成を目指すとともに、社会における芸術の役割を認識した上で、現代の課題を発見し、それを解決することによって未来の文化形成に寄与し、社会貢献できる人物を育成するという目標を持った授業となっています。</p>
実務経験 のある 教員	<p style="text-align: center;">清島浩徳</p>
評価明細 基準	<p>石膏型取りを理解し技術を体得できたか 実習の為の準備や自主的な制作ができたか 理解した内容が作品に反映できたか</p>

道具等は各自で必要なものを揃える

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	次回授業の準備説明	150
	内容	内容の理解			
2回	テーマ	石膏素材について	講義、実習	石膏及び必要な道具の準備・購入	150
	内容	石膏の特徴や可能性について理解する			
3回	テーマ	型取り実習	実習	型の分け方、石膏の性質を理解する	150
	内容	キリガネの入れ方 石膏の使用法実習 型取り実習			
4回	テーマ	型取り, 成型実習	実習	石膏の扱い方を理解する	150
	内容	成型実習			
5回	テーマ	型取り 成型実習	実習	割り出しの手順、道具の扱いを理解する	150
	内容	成型、割り出し実習			
6回	テーマ	石膏じか付け制作	実習	石膏の扱い、道具の扱いと応用を理解する	150
	内容	石膏によるじか付け制作			
7回	テーマ	石膏じか付け制作	実習	同上	150
	内容	石膏によるじか付け制作			
8回	テーマ	プレゼンテーション 講評、評価	評価	授業内容の理解度を確認する	150
	内容	プレゼンテーション			
9回	テーマ				150
	内容				
10回	テーマ				150
	内容				

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ				150
	内容				
12回	テーマ				150
	内容				
13回	テーマ				150
	内容				
14回	テーマ				150
	内容				
15回	テーマ				150
	内容				
16回	テーマ				150
	内容				

科目名	石膏技法実習B(1美)				開講学年	1	講義コード	2671502	区分	必修	
英文表記	Plaster technique work B				開講期	後期	開講形態		単位数	1	
担当教員	清島浩徳(実務経験)										
研究室	L-A104						オフィス アワー 木曜5限				
メールアドレス	hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	FRP樹脂成型 アクリル樹脂成型										
授業概要	石膏素材と同じく、FRP樹脂を彫刻の成型素材として使用できることを理解し、その技法を身につけることを目指します。また、石膏やFRPが、型取りや成型の素材としてだけでなく、表現素材としての展開もあることを学びます。また石膏以外の多様な材料や異なる材料を組み合わせたり、新しく開発された素材などの特性を活用したりして、試行錯誤しながら新たな表現方法を発見したり思いついたりするなど、多様な表現を追求できるようになる。							関連科目			
								石膏技法実習A 彫刻実習 I A I B			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	塑像作品の型取りができるようになる									
	②	アクリル樹脂の使用方法を理解できるようになる									
	③	アクリル樹脂成型ができるようになる									
	④	彫刻作品の着色ができるようになる									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	特になし										
参考書	特になし										

予備知識	FRP樹脂とは何かを知っておく
DPとの関連	芸術や文化における専門家としての基礎的な技術や知識を総合的に身に付け、造形活動や芸術の研究を通して培った豊かな感性や高い倫理観を持った、社会人となるための修練や、あらゆる物事に真摯に取り組む姿勢を持つ人物の育成を目指すとともに、社会における芸術の役割を認識した上で、現代の課題を発見し、それを解決することによって未来の文化形成に寄与し、社会貢献できる人物を育成するという目標に沿った授業となっています。
実務経験のある教員	
評価明細基準	アクリル樹脂の使い方が理解できたか アクリル樹脂成型ができるようになったか 石膏を自由に使用できるようになったか 着色ができるようになったか

危険な薬品等も使用するので、服装、有機溶剤対応のガスマスク等の準備が必要です

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	FRPの特性を理解する	150
	内容	実習概要の説明とアクリル樹脂についての講義			
2回	テーマ	型取り	実習	石膏の型取りを理解する	150
	内容	石膏による型取り			
3回	テーマ	型取り、粘土掻き出し	実習	粘土のかき出し方を理解する	150
	内容	型取り、粘土掻き出し			
4回	テーマ	アクリル樹脂成型	実習	アクリル樹脂成型を理解する	150
	内容	アクリル樹脂成型			
5回	テーマ	アクリル樹脂成型	実習	同上	150
	内容	アクリル樹脂成型			
6回	テーマ	割り出し	実習	割り出し方を理解する	150
	内容	割り出し			
7回	テーマ	修正、着色	実習	修正、着色の作業を理解する	150
	内容	修正、着色			
8回	テーマ	プレゼンテーション 講評、評価	プレゼン 評価	実習の理解度を確認する	150
	内容	プレゼンテーション 講評、評価			

科目名	美術史基礎演習Ⅱ(1美)				開講学年	1	講義コード	2671801	区分	選必	
英文表記	Basic Study for Art History II				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	美術史 アートリテラシー 鑑賞能力 文章記述力										
授業概要	美術史という学問はまず「もの(芸術作品)をみる」ことから始まる。それはまさに「世界」を認識することでもある。自分が観察したもの(視覚的情報)を自分の言葉でできるだけわかりやすく変換できるかが美術史の基本作業となり、すべてはそこから始まる。これを「作品記述(description)」と呼ぶ。本演習では美術史の勉強をはじめると同時に、作品記述に必要な様々な技術・能力を養い、「作品記述」を通して、「ものをみる」能力、つまり鑑賞能力(アートリテラシー)を鍛えていく。また、本演習を通して実社会に役立つ日本語表現応力を身につける。各課題のフィードバックは提出後の発表しと講評により行う。							関連科目			
								日本美術史／東洋美術史／西洋美術史／美術概論／芸術文化コース開講のすべての専門科目に関連する。学芸員課程科目			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	美術作品の観察力・鑑賞力の基礎力を習得できる。									
	②	美術作品についての記述力・伝達力の基礎力を習得できる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	40	10	30	0	10	10	100		
教科書	高校生のための哲学・思想入門 筑摩書房 竹田青嗣他編著 日本美術史ハンドブック 新書館 辻惟雄他編 美術史と美術理論 西洋十七世紀絵画の見方 放送大学教材 木村三郎 1冊でわかる美術史 岩波書店 ダナ・アーノルド著・鈴木杜幾子訳 購入の必要なし。上記のテキストは適宜コピーを配布する。										
参考書	西洋美術史入門 ちくまプリマー新書、2012年 池上英洋 イメージの歴史 ちくま学芸文庫、2012年 若桑みどり イメージを読む—美術史入門— ちくま学芸文庫、2005年 若桑みどり アートを書く!クリティカル文章術 Next Creator Bookフィルムアート社、2006年 杉原賢彦他 美術を書く 東京美術 シルヴァン・バーネット著、竹内順一監訳										

予備知識	
DPとの関連	2年次以降の専門科目の芸術文化研究を遂行するための初歩的な準備、基礎形成をしっかり行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	平常の授業の取り組み10点、自分記述10点、スケディ10点、モティディ20点、レポート10点、作品カード(3枚)30点、SOJOポートフォリオ10点(計100点)

単位修得の条件は①出席3分の2以上、②上記の課題提出をすべて満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	本演習の内容を理解する。	90
	内容	ものをみるって何？			
2回	テーマ	「自分」を記述する。①	演習／AL	課題①の作成	90
	内容	「牡蠣フライ理論(カキフ)」で記述してみよう。			
3回	テーマ	「自分」を記述する。②	演習	課題①のフィードバック	90
	内容	「牡蠣フライ理論(カキフ)」で記述してみよう。(添削指導)			
4回	テーマ	自分のまわりのものをデッサン／記述しよう。①	演習	課題②の作成	180
	内容	スケッチ×記述(スケデイ)			
5回	テーマ	モチーフ構成と記述①	演習	課題③-1の作成	180
	内容	モチーフ×記述(モティデイ)			
6回	テーマ	モチーフ構成と記述②	演習	課題③-2の作成	180
	内容	モチーフ×記述(モティデイ)			
7回	テーマ	視覚情報を的確に他人に伝えよう。①	演習	課題②③の講評 スケッチスキル実施。	90
	内容	スケッチスキル(スケスキ)			
8回	テーマ	視覚情報を的確に他人に伝えよう。②	演習／講義	ディスクリプションスキルのフィードバック。	90
	内容	ディスクリプションスキル(デイスキ) 美術作品の記述①: 作品カードの作り方			
9回	テーマ	美術作品の記述②(4コマ)	演習(添削指導)	課題④1-3: 作品カード作成(文章添削含む)	360
	内容	作品カード作成(3枚)および提出 総括			

科目名	視覚造形実習ⅠB(1美)			開講学年	1	講義コード	2672001	区分	選択		
英文表記	Visual Arts Work I B			開講期	後期	開講形態		単位数	6		
担当教員	永田 郁 勝野眞言 野島泉里(非常勤) 野島マーサ(非常勤)										
研究室	永田A208(芸術学部棟) 勝野A212(芸術学部棟)					オフィス アワー 水曜日5限(永田)					
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アート制作 ドローイング 塑造 コンセプト										
授業概要	本実習は視覚芸術コース独自のプログラムであり、アート制作にあたってデザイン的表現方法を含め、様々な領域を横断して作品制作が可能となる基本的な思考・方法論を学び、2年次以降自分が構想するイメージを多様なメディアを統合して作品制作できる基礎的なものの見方、考え方およびデザイン的思考を学び、アート制作の基盤を構築する。後期は①デッサン・ドローイング②立体塑造、③制作のアプローチで構成される。アート制作に必要な基本的な技術・発想法を含めアートへのアプローチの方法を習得していく。なお、理論およびプレゼンテーション、ライティングの技術については視覚造形演習B(永田担当)において習得していく。各担当の教員による作品講評、ディスカッションにより学生へのフィードバックを行う。本実習は週2コマ×3回で実施される。2年次以降のアート制作を実現するための様々なツール(デザイン領域、アート理論領域)を修得し、自分が制作したい作品内容を実現するための方法を様々な分野を横断しながら、作品に落とし込み、その表現方法を身につけていく。各領域の担当開講曜日は下記の通りである。月曜日1-2限:デッサン・ドローイング(野島泉里[美/非]) 木曜日1-2限:立体塑造(勝野[美]) 金曜日1-2限:制作のアプローチ(野島[マ][美/非])							関連科目			
								視覚造形実習ⅠA/視覚造形演習A/視覚造形演習B			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像) 行表現を含む。							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	アート制作にあたり、必要な基本的なものの考え方、素材や道具の扱い方、またドローイングを通して発想する方法を理解できる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	80	10	10	0	100		
教科書	特に指定しない。										
参考書	学ばないドローイング(HOW TO SEEシリーズ) フィルム・アート社 ピーター・ジェニー著・石田友里訳 ドローイング・テクニック(HOW TO SEEシリーズ) フィルムアート社 ピーター・ジェニー著・石田友里訳 アーティストの目(HOW TO SEEシリーズ) フィルムアート社 ピーター・ジェニー著・石田友里訳 人間を描く(HOW TO SEEシリーズ) フィルムアート社 ピーター・ジェニー著・石田友里訳										

予備知識	
DPとの関連	アート制作、ドローイング、塑造といった異なる領域の学びを通して、メディア、固定観念にとらわれない造形活動の土台を形成する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	各クラスの課題80%、ポートフォリオ10%、目標到達度レポート10%の100点。

本実習内容は曜日毎に内容が異なるので、オリエンテーションには必ず出席すること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ 野島泉里(非常勤) ドローイング	内容 ドローイングは思考の方法である。ドローイングに正解はなく、むしろその思考の連続性の中に様々な発見をしていくところに価値を見出す。正解を求めることは思考の停止であり、ドローイングはその反対の行為である。一年を通じてドローイングを学んでいくが、2年次以降の創作の基盤となることを目指す。	講義	ドローイングの目的を確認。	180分
2回	テーマ ドローイング	内容 ドローイング課題1(3週) 人体ドローイング 風景ドローイング	実習	ドローイングに向け、自分を整える。	540
3回	テーマ ドローイング	内容 ドローイング課題2(3週) アイデアスケッチ 壁・床のシミを写真に撮る 音楽によるドローイング	実習	ドローイングに向け、自分を整える。	540
4回	テーマ ドローイング	内容 ドローイング課題3(3週) 触覚によるドローイング 天地反転ドローイング 立体ドローイング	実習	ドローイングに向け、自分を整える。	540
5回	テーマ ドローイング	内容 ドローイング課題4(3週) 文字から刺激を受けてイメージを誘発させる	実習	ドローイングに向け、自分を整える。	540
6回	テーマ ドローイング	内容 ドローイング課題5(3週)	実習	ドローイングに向け、自分を整える。	540
7回	テーマ 勝野 立体塑造	内容 1、モデルのデッサンをして特徴を把握する	実習	モデルを観察して、特徴を把握できるようになる	180
8回	テーマ 立体塑造	内容 2、心樺制作と粘土の荒付	実習	粘土の性質を知って塑造の制作過程を理解できるようになる。	180
9回	テーマ 立体塑造	内容 3-4、粘土による頭像制作・I-II	実習	・塊や面、構造について理解できるようになる ・道具の使い方工夫できるようになる	360
10回	テーマ 立体塑造	内容 5、中間評での相互評価	レクチャー	・塊や面、構造について理解できるようになる ・道具の使い方工夫できるようになる	180

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ 6、評価を反映して頭像制作・Ⅲ	立体塑造	実習	塊や面、構造について理解できるようになる・道具の使い方を工夫できるようになる	180
	内容				
12回	テーマ 7、粘土による頭像制作・Ⅳ	立体塑造	実習	塊や面、構造について理解できるようになる・道具の使い方を工夫できるようになる	180
	内容				
13回	テーマ 8、同上・Ⅴ	立体塑造	実習	塊や面、構造について理解できるようになる・道具の使い方を工夫できるようになる	180
	内容				
14回	テーマ 9、相互評価による中間評	立体塑造	レクチャー	塊や面、構造について理解できるようになる・道具の使い方を工夫できるようになる	180
15回	テーマ 10、粘土による頭像制作・Ⅵ	立体塑造	実習	塊や面、構造について理解できるようになる・道具の使い方を工夫できるようになる	180
	内容				
16回	テーマ 11、石膏取り・Ⅰ 雌型づくり(作業の流れを理解する。	立体塑造	実習	石膏取り、及びテラコッタ制作の流れを理解できるようになる。	180
	内容				
17回	テーマ 12、石膏取り・Ⅱ 雌型づくり(作業の)流れを理解する。	立体塑造	実習	石膏取りの流れを理解できるようになる。	180
	内容				
18回	テーマ 13、テラコッタ用型込め	立体塑造	実習	テラコッタ制作の流れを理解できるようになる。	180
	内容				
19回	テーマ 14、型外しと修正	立体塑造	実習	テラコッタ制作の流れを理解できるようになる。	180
	内容				
20回	テーマ 15、焼成	立体塑造	実習	テラコッタ制作の流れを理解できるようになる。	180
	内容				

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
21回	テーマ	立体塑造	実習	テラコッタ制作の流れを理解できるようになる。	180
	内容	i6、窯開けと修正および彩色			
22回	テーマ	野島マーサ(非常勤) 作品のアプローチ	実習	実習の目的の確認。	
	内容	作品の内容とは何か、ということについて、簡単な制作を通じて考える。随時ディスカッションをする。(前期のほかの講義の内容を踏まえて)			
23回	テーマ	作品のアプローチ	実習	課題の準備・制作	360
	内容	課題1			
24回	テーマ	作品のアプローチ	実習	課題の準備・制作	360
	内容	課題2			
25回	テーマ	作品のアプローチ	実習	課題の準備・制作	360
	内容	課題3			
26回	テーマ	作品のアプローチ	実習	課題の準備・制作	360
	内容	課題4			
27回	テーマ	作品のアプローチ	実習	課題の準備・制作	360
	内容	課題5			
28回	テーマ	作品のアプローチ	実習	課題の準備・制作	360
	内容	課題6			
29回	テーマ	作品のアプローチ	実習	課題の準備・制作	540
	内容	課題7			
30回	テーマ	作品展示(The 3rd Floor)	講評	作品のプレゼンテーション	180
	内容	本実習の課題の作品展示			

科目名	視覚造形演習B(1美)				開講学年	1	講義コード	2672201	区分	選択	
英文表記	Visual Art Basic Seminar B				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	A208(芸術学部棟)						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	現代アート 人類学 つち式 The 3rd Floor										
授業概要	<p>本演習は前期の視覚造形演習Aに引き続き、前半において現代アートにおける理論的な理解を深め、制作に必要なものの見方・考え方の基盤を形成していく。その次に関心を自分の身の回りで起きている事象に向け、人類学的なアプローチからそれをどのようにプロジェクト化できるかを受講者とともに考える。そして、本演習の最後の課題として、視覚芸術コース年度末の成果発表の場であるThe 3rd Floor展に向け、各自企画構想して、それを如何に実現に向けて主体的に動き制作できるかを学んでいく。本展示の際の講評により学生へのフィードバックを行う。</p>							関連科目			
								視覚造形演習A/視覚造形実習IA/視覚造形実習IB			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像/表現を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	身の回りの問題について考え、どのようにプロジェクト化できるか、計画できる。									
	②	2年生に向けて、制作に必要な基礎的な考え方、ものの見方を修得できた。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	40	40	10	10	0	100		
教科書	<p>5歳の子どもにできそうでできないアート 東京美術 スージー・ホッジ つち式2017 東千茅 上記のテキストは講義時に適宜コピー配布。</p>										
参考書	<p>たぐいvol.1 垂紀書房 Lexicon 現代人類学 以文社 奥野克巳 アートで生きる 美術出版社 杉田敦編 イメージと意味の本 フィルムアート社 ション・ホール アートスクールで学ぶ101のアイデア フィルムアート社 キット・ホワイト</p>										

予備知識	
DPとの関連	視覚芸術コースとしての造形活動に対する初歩的・基礎的な考え方・ものの見方およびリサーチ力を身につけていく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	プレゼンテーションによる発表およびレポートあるいは作品発表(40)、The 3rd Floor(40)、ポートフォリオ(10)、目標到達度レポート(10)計100点。

本演習は視覚造形実習IBと連動しているため、後期における視覚芸術コースの全体のスケジュールを初回オリエンテーションで説明するので必ず出席すること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	本講義の理解、目的の確認。	180 (1週)
	内容	後期の課題(The 3rd Floor)とスケジュールについて			
2回	テーマ	講読・発表1(現代アート編)(10月)	演習	発表後、レポート作成する	720 (2-5週)
	内容	『5歳の子どもにできそうでできないアート』を取り上げ、各回学生が発表し、議論する。			
3回	テーマ	公募展への作品出品(予定)	演習	自分の作品のコンセプト、作品撮影、自己アピールを作品出品を通して学ぶ。	900 (6-10週)
	内容	Nonio Wave Awardに応募する(前年の例)。			
4回	テーマ	The3rd Floor	演習	自分の身の回りの身近なテーマを見つけ、それを作品化していくことを学ぶ(協働制作)	900 (11-15)
	内容	硯川実習棟における課題The3rdFloorの企画・制作			
5回	テーマ	まとめ	演習	プレゼンテーション	180
	内容	講評 目標到達度レポートおよびポर्टフォリオ作成			

科目名	美術概論（2美デ）			開講学年	2	講義コード	2672401	区分	選択	
英文表記	Introduction to Art			開講期	後期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁									
研究室	芸術学部棟A208					オフィス アワー 水曜日4限				
メールアドレス	mahabala @art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	現代アート アートと社会 人類学 多自然主義／パースペクティズム アートリテラシー									
授業概要	本講義は現代アートのさまざまなテーマ・問題を取り上げ、現代アーティストの作品がどのように知覚され、何が視覚化されているか、鑑賞のポイントを解説する。現代アートを読み解くキーワードについてもテーマごとに紹介し、現代アートの理解を深め、グローバル化、テクノロジーの進化など複数の視点を持ち、批判的にアートの社会的機能・役割を考える。また熊本内外の展覧会に受講生が実際に赴き、その体験を言語化することによって客観的に作品を観るアート・リテラシー能力を習得していく。その他、国内外で開催されている展覧会等も紹介しながら、現代アートの動向を探っていく。講義中に行った小レポート等については適宜フィードバックしていく。						関連科目			
							日本美術史、西洋美術史、東洋美術史、視覚芸術のコース専門科目全般、学芸員課程科目、就職課程科目(必修)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】・・・美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	本講義を通して現代アートが我々人間と人間が住む社会にとってどんな機能をもっているかを理解できる。								
	②	アートに関してその体験を自分の言葉で、整理し、伝達することができる。								
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	70	20	0	0	10	0	100	
教科書	特に指定しない。									
参考書	現代アートの本当の学び方／現代アートの本当の見方／現代アートの本当の楽しみ方 フィルムアート社 フィルムアート社 現代美術史 欧米・日本・トランスナショナル 中央公論新社 山本浩貴 美術手帖2018.6月号(特集アートと人類学) 美術出版社 平成美術 うたかたと瓦礫(デブリ) 世界思想社 榎木野衣・京都市京セラ美術館 オラファー・エリアソン ときに川は橋となる フィルムアート社 東京都現代美術館監修									

予備知識	芸術学部開講科目全般に関連する。
DPとの関連	造形活動や芸術文化研究における必要な基礎的な知識、ものの見方・考え方を学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	WEBCLASSの出席レポート70点、最終課題20点、学修到達度レポート10点

日ごろ、展覧会に足を運び、現代アート作品を見ることに慣れておくこと。単位修得の条件は①出席(出席レポート)3分の2以上、②課題提出を満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 現代アートとは？ どうやって現代アートに近づくか？ 内容		講義	受講後、講義で取り上げた作品、アーティストについて参考文献等を活用して振り返るとともに、次回の講義において芸術運動や芸術理論等について聞かれても答えることができるよう理解を深めておくこと。	30(1)
2回	テーマ 美大における学び なぜデッサンは必要なのか？/アートは美大で学べるのか？など。 内容		講義	2.の配布資料の復習。	60(1)
3回	テーマ 日本画の遺伝子 村上隆/落合多武/奈良美智/アニメーション 内容		講義	3.の配布資料の復習。	180 (2-3)
4回	テーマ 芸術とは？ M・デュジャント・ゲージの挑戦 内容		講義	「4分33秒」を体験する。	180(4-5)
5回	テーマ 20世紀の音楽 ブレーク、シュトックハウゼン、クセナキス、ヴァレーズ他 内容		鑑賞	学校では聞けない音楽鑑賞をどう聞いたか小レポート。	90(6)
6回	テーマ アートと音楽 21世紀の動向 内容		鑑賞	映像等を自分なりに鑑賞する。	90(7)
7回	テーマ モダンアートの限界 ホワイネキューブとモダンアート、そしてインスタレーション 内容		演習	課題：「北川フラム更迭」問題の所在？について考える。	180(8-9)
8回	テーマ 出会う場所でアートは変わる 草間彌生/オラファー・エリアソン/レオナルド・エルリッヒなど 内容		講義	8.の配布資料を復習。	90(10)
9回	テーマ 「見る」ということ ゾフィー・カルフ/河原温など 内容		講義	9.の配布資料を復習。	90(11)
10回	テーマ これからのアート アートと人類学、その前にブリコラージュについて知ろう 内容		講義・演習	ブリコラージュを体験する。	90(12)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	学外見学	AL	各自展覧会を観て、展評をかく、not 感想文。	180(13 -14)
	内容	展覧会を観て、展評作成。			
12回	テーマ	アートと社会(最終課題)	レポート 作成	アーティストに関して調べて論述する。	180 (1 4-15)
	内容	ヨーゼフ・ボイスの社会彫刻、我々は社会を動かす「資本」になれるのか？			

科目名	共通立体実習（彫刻）（2美）				開講学年	2	講義コード	2672901	区分	選必	
英文表記	Common three-dimensional training (sculpture)				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	勝野 眞言（実務経験）										
研究室	A212						オフィス アワー 火曜日16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	粘土、観察力、頭部、発見										
授業概要	<p>人体の頭部を観察し、粘土による制作を通して観察力を実践的に養う機会とする。立体制作は、ただ一方向のつつまが合えば良いと言うのではなく、360度あらゆる方向からの観察が必要であり、見慣れた対象を改めて見つめ直すと新たな発見が得られる。『観察力』は今後の造形活動が続けて行く上で必要不可欠なものである。対象をしっかり観察することによって、感動や自分の心を動かすもの、あるいは各自の狙いを素材である土を扱いながら追求を行う。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。</p>							関連科目			
								共通デッサン1、2／日本画実習1A、1B／洋画実習1A、1B／彫刻実習1A、1B			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	粘土による制作を通して観察力を深めることができる。									
	②	素材の特徴を理解することができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	プリント										
参考書											

予備知識	基礎デッサン1,2
DPとの関連	<p>学びのキーワードは「対象をよく観る＝観察力の習得」である。対象を見つめることから発想を得、コンセプトを練り上げ、制作のための試行錯誤を繰り返えし、他者にわかりやすく魅力的に伝える為の表現力やプレゼンテーション力を鍛える。このような一連のプロセスを辿ることで企業の現場で役立つような企画力、計画性、コミュニケーション力を身につけ、あらゆる業種の企業から求められる人材育成に繋げることができる。</p>
実務経験のある教員	勝野 眞言
評価明細基準	出席・レポート提出・プレゼンテーションへの取り組み・到達度などを考慮し、総合的に評価する。

動きやすく作業に適した服装であること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	作家活動紹介	実習	パワーポイントで作例を示す	180
	内容	立体作品紹介			
2回	テーマ	平面描写による立体の理解	実習	鉛筆デッサン	180
	内容	首画像デッサン			
3回	テーマ	心棒制作	実習	木材、棕櫚縄で頭部の心棒をつくる。粘土を土練機で練る	180
	内容	心棒制作・粘土練			
4回	テーマ	頭像観察	実習	面の展開	180
	内容	制作 構造の理解1			
5回	テーマ	頭像観察	実習	量の展開	180
	内容	制作 構造の理解2			
6回	テーマ	頭像観察	実習	切断・分割	180
	内容	制作 塊の理解1			
7回	テーマ	頭像観察	実習	積む構造	180
	内容	制作 塊の理解2			
8回	テーマ	頭像観察	実習	組む構造	180
	内容	制作 塊の理解3			
9回	テーマ	頭像観察	実習	量の全体の中でのバランスの理解	180
	内容	制作 量の構成			
10回	テーマ	客観的な理解	実習	個別にプレゼンを行う	180
	内容	講評会			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	頭像観察	実習	対象を観察し制作を行なう	180
	内容	制作量の理解			
12回	テーマ	頭像観察	実習	同上	180
	内容	同上			
13回	テーマ	頭像観察	実習	同上	180
	内容	同上			
14回	テーマ	頭像観察	実習	同上	180
	内容	同上			
15回	テーマ	頭像観察	実習	同上	180
	内容	同上			
16回	テーマ	客観的な理解	実習	到達度ポートフォリオの作成	180
	内容	講評会 個別にプレゼンを行う			

科目名	日本画実習ⅡB*1(2美)			開講学年	2	講義コード	2673101	区分	選必		
英文表記	Japanese painting Practical ⅡB			開講期	後期	開講形態		単位数	8		
担当教員	中村 賢次										
研究室	A416					オフィス アワー 水曜昼休み					
メールアドレス	ken1214@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画,岩絵具,人物画										
授業概要	日本画制作に必要な写生・小下図・草稿・本紙の各過程の重要性を理解し実践する中で、日本の歴史と風土に培われた伝統的な日本画の画材全般の使用方法を理解し、制作において必要な集中力・持久力を養う。							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	感動と観察による写生の重要性を理解できるようになる									
	②	写生を元に作品制作において重要な小下図の役割を理解できるようになる									
	③	日本画の画材の性質上、不可欠な工程である草稿の役割を理解できるようになる									
	④	本紙における各画材の使用方法を理解できるようになる									
	⑤	作品制作で最も重要である感動やイメージを具現化するために必要な気力・体力を身に付けることができるようになる									
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席・平常点10点(日)	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	日常的に質疑を行ない理解度を確認する。一作品ごとに合評・採点を行なう。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ 人物	人物 肖像又は実在する人物の写生及び20号パネル製作	実習	十分な写生を繰り返す	720
2回	テーマ 人物	人物 写生を元に小下図制作及び和紙(麻紙・楮紙)にドーサ引き	実習	感覚的なイメージを具体化する	720
3回	テーマ 人物	人物 原寸大での草稿及び裏打ち	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	720
4回	テーマ 人物	人物 草稿の転写、墨入れ、地塗り	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	720
5回	テーマ 人物	人物 本紙制作(水干絵具)	実習	画材と技法について十分に検討する	720
6回	テーマ 人物	人物 本紙制作(水干絵具)	実習	画材と技法について十分に検討する	720
7回	テーマ 合評・採点	合評・採点 合評	講義	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
8回	テーマ 植物	植物 屋外にて植物の写生及び30号パネル製作	実習	十分な写生を繰り返す	720
9回	テーマ 植物	植物 写生を元に小下図制作及び和紙(麻紙・楮紙)にドーサ引き	実習	感覚的なイメージを具体化する	720
10回	テーマ 植物	植物 写生を元に小下図制作及び和紙(麻紙・楮紙)にドーサ引き	実習	感覚的なイメージを具体化する	720

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	植物	実習	カタチに対して十分な検討を行な	720
	内容	草稿の転写、墨入れ、地塗り			
12回	テーマ	植物	実習	画材と技法について十分に検討する	720
	内容	本紙制作(岩絵具)			
13回	テーマ	植物	実習	画材と技法について十分に検討する	720
	内容	本紙制作(岩絵具)			
14回	テーマ	植物	実習	画材と技法について十分に検討する	720
	内容	本紙制作(岩絵具)			
15回	テーマ	植物	実習	画材と技法について十分に検討する	720
	内容	本紙制作(岩絵具)			
16回	テーマ	合評・採点	講義	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	180
	内容	合評・採点			

科目名	洋画実習ⅡB*2(2美)				開講学年	2	講義コード	2673301	区分	選択		
英文表記	Thematic Practice in Oil Painting II B				開講期	後期	開講形態		単位数	8		
担当教員	下城賢一 熊谷有展 上野洋嗣(非常勤)											
研究室	芸学3F						オフィス アワー 金曜日5時限目					
メールアドレス	shimojo@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	油彩 人物画 素描 テンペラ画 古典技法											
授業概要	<p>洋画実習ⅡAの課題への取り組みを経て、西洋絵画の総合的な完成を求める。テンペラ画をはじめとした古典技法にも取り組み、自らのテーマ制作に反映できるようにする。空間や明暗、色彩など基礎造形力の到達と応用への試みを全体の主題とした課題が組まれている。この授業には汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。</p>								関連科目			
									洋画実習ⅠA・B			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p>								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	基礎造形力の集大成としての力をつける										
	②	大きな画面で素描する										
	③	空間の中にモチーフや人物があることを表現できる										
	④	個々のテーマを持って制作に取り組むことができる										
	⑤											
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	0	40	50	10	0	100			
教科書	プリント配布											
参考書												

予備知識	洋画実習ⅡAと連動する
DPとの関連	自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力をみにつけ、それらを実践できるもの
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.作品講評会において、客観的な教員の指導と評価を受けて次回以降の作品制作に反映し発展することができる。(40点) 2.課題のモチーフとテーマを自らのものとして作品表現へ結実させることができるか。(50点) 3ポートフォリオによる振り返り(10点)

適宜、課題による実技の道具、素材などを用意すること。学修上必要な知識や技能はそれぞれの学生でまとめておくことが望ましい。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	絵画制作 油彩画A	実技	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			
2回	テーマ	絵画制作 油彩画A	〃	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			
3回	テーマ	絵画制作 油彩画A	〃	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			
4回	テーマ	絵画制作 油彩画A	〃	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			
5回	テーマ	絵画制作 油彩画A	〃	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			
6回	テーマ	絵画制作 油彩画A	〃	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			
7回	テーマ	絵画制作 油彩画A	〃	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			
8回	テーマ	絵画制作 油彩画A	〃	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			
9回	テーマ	絵画制作 油彩画A	〃	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			
10回	テーマ	絵画制作 油彩画A	〃	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	絵画制作 油彩画A	〃	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			
12回	テーマ	絵画制作 油彩画A	〃	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			
13回	テーマ	絵画制作 油彩画A	〃	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画			
14回	テーマ	絵画制作 油彩画A	実技・講義	人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する	180
	内容	人物素描・油彩画 作品講評・採点・解説			
15回	テーマ	絵画制作 油彩画B	実技	静物画の構図や構成を復習。基礎造形の仕上げ	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
16回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物画の構図や構成を復習。基礎造形の仕上げ	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
17回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物画の構図や構成を復習。基礎造形の仕上げ	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
18回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物画の構図や構成を復習。基礎造形の仕上げ	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
19回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物画の構図や構成を復習。基礎造形の仕上げ	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
20回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物画の構図や構成を復習。基礎造形の仕上げ	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
21回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
22回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
23回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
24回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
25回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
26回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
27回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
28回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
29回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			
30回	テーマ	絵画制作 油彩画B	〃	静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。	180
	内容	静物素描・油彩 進級判定作品			

科目名	彫刻実習ⅡB*3(2美)				開講学年	2	講義コード	2673501	区分	必修	
英文表記	sculpture works ⅡB				開講期	後期	開講形態		単位数	6	
担当教員	清島 浩徳 (実務経験)										
研究室	L-A216						オフィス アワー 月曜5限				
メールアドレス	hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	塑像、人体像										
授業概要	<p>塑像で人体像を制作することにより、立体制作上の基礎的な構築力や、表現力を身につけることができようになる。対象を鋭く観察し、様々なアプローチを試みることによって、造形的な見方・考え方を働かせ、人体の持つ存在感やムーブメントを的確に捉える修練や、それを立体で表現する能力を高める。さまざまなポーズを研究し、人体彫刻の魅力について考察し、独創的・創造的に表す専門的な技能を身につけることができるようになる。量感や動勢、バランスなどを考慮しながら肉付けができるようになる。粘土素材で様々な表現技術を試みて、研究を深めることができるようになる。</p>							関連科目			
								共通立体、西洋彫刻論			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	構築的なポーズの研究を深めることができるようになる									
	②	正確なデッサンに基づくモデリングができるようになる									
	③	より深く対象を観察し、自己の表現について考察を深めることができるようになる									
	④	粘土による表現が多様化したか判断できるようになる									
	⑤	人体彫刻の魅力について考察できるようになる									
	⑥	次の作品制作の課題が見えてきたか判断できるようになる									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	10	10	60	10	10	100		
教科書	適宜指示する										
参考書	適宜指示する										

予備知識	ギリシア彫刻のコントラポストなど、片足重心のポーズの際の重心の捉え方や、左右対称のポーズの際の重心の位置などを観察してみる。傾きやひねりなどを意識して面の方向性について観察する。
DPとの関連	表現者としての技量を高めるとともに、制作を通して、人間生豊かな人格の形成を育むことができ、DPに即した内容である
実務経験のある教員	清島浩徳
評価明細基準	モデルの個性を生かしたポーズ決めができたか 構築的な把握ができたか 粘り強く制作に挑戦する姿勢があったか 制作上で新たな発見があったか 出席状況は良かったか

・準備から作品制作、そして片付けに至るまで、一貫した流れを身につける。制作意欲を自ら高め、課題を持って、積極的に制作に挑む。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	デッサン	実習	ポーズの研究(予習、復習) デッサン	540
	内容	ポーズ研究のためのデッサン			
2回	テーマ	デッサン	実習	ポーズの研究(予習)	180
	内容	ポーズ決めのためのデッサン			
3回	テーマ	制作	実習	素材の準備、心棒作成の研究(予習)	360
	内容	心棒組み			
4回	テーマ	制作	実習	デッサンに基づき粘土をつける(予習、復習)	1620
	内容	荒付けⅠ			
5回	テーマ	制作	講義	合評を基に自主制作する	180
	内容	中間合評			
6回	テーマ	制作	実習	立体の捉え方を自ら問いながら、粘土表現への可能性を研究する	1800
	内容	荒付けⅡ			
7回	テーマ	制作	講義	合評を基に自主制作する 講評について、話し合いさらに研究を深める	360
	内容	中間合評Ⅱ			
8回	テーマ	制作	実習	様々な作家研究をしながら、独自の表現を模索し、作品に反映させる	2000
	内容	中付け			
9回	テーマ	制作	実習	細部や表面処理を研究し、完成に向かう	520
	内容	仕上げ			
10回	テーマ	講評	講義	作品についてプレゼンテーションを行なう(予習)	180
	内容	講評・評価			

科目名	西洋美術史特論Ⅱ*4(2美)				開講学年	2	講義コード	2674001	区分	選必	
英文表記	History of Western Art Advanced II				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A313						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	パトロン メディチ家、教皇 芸術家 アートとマネー AL、PBL										
授業概要	美術学科の人材育成目標の一つに、美術領域の専門家としての基礎的な知識を総合的に身に付けることがあるが、本科目は特に芸術文化コースの学生にとっては、基礎的な知識を身に付けるのに必要不可欠な科目である。平成31年も、ルネサンスの黄金時代の立役者であったパトロン(メディチ家や教皇)とその主な舞台であるフィレンツェ、そして自己を「芸術家」と認めさせた作家たちとの関係から学び始めるが、今回は『パトロン物語』の方を主要な教科書として学習していく。また、プレゼン時とレポート提出後に、それぞれコメントと赤入れ添削によるフィードバックを行うので、次回の発表やレポート作成に生かして欲しい。							関連科目			
								西洋美術史 西洋美術史特論Ⅰ 西洋彫刻論 ほか			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	各時代の芸術・芸術家とパトロンの関係が理解できるようになる。									
	②	調査結果や図版を用いてP.P.で論理的なプレゼンテーションができるようになる。									
	③	情報を整理し、専門用語を用いながら、論理的な記述ができるようになる。									
	④	アートとマネーの関係が理解できるようになる。									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	35	40	0	10	15	100		
教科書											
参考書											

予備知識	特になし
DPとの関連	芸術文化研究における専門家として、専門的知識や論理的思考力、プレゼンテーション力、国際的視点を身に付け、社会において課題や問題を解決できるようにする。
実務経験のある教員	
評価明細基準	成績の評価は、プレゼンテーション及び資料作成(40点)、レポート(35点)、ポートフォリオ、出席状況の合計点とする。合計が6割に満たない場合はレポート再提出とする。

プレゼンテーションと課題(レポート)提出がある。教科書は購入する必要はなし(コピーを配布)。メダイチ家やルネサンス期の芸術家に関する文献は夥しい数にのぼるため、自主的に1冊でも多くの文献を参照すること。
レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス	ガイダンス	講義 演習	復習	20
	内容 オリエンテーション(ガイダンス、イタリア語入門)				
2回	テーマ 古代	古代	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容 古代のパトロンと芸術、マネーの関係ノイタリア語入門				
3回	テーマ ルネサンス	ルネサンス	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容 ルネサンスのパトロン(メディチ家)と芸術家、マネーの関係1ノイタリア語入門				
4回	テーマ ルネサンス	ルネサンス	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容 ルネサンスのパトロン(メディチ家)と芸術家、マネーの関係2ノイタリア語入門				
5回	テーマ ルネサンス	ルネサンス	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容 ルネサンスのパトロン(イザベラ・デステ、他)と芸術家、マネーの関係ノイタリア語入門				
6回	テーマ ルネサンス	ルネサンス	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容 レオナルドとティツィアーノのパトロンとマネーの関係ノイタリア語入門				
7回	テーマ バロック	バロック	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容 バロックのパトロンと芸術、マネーの関係ノイタリア語入門				
8回	テーマ 近代	近代	講義 演習	配布資料の復習 プレゼン準備	120
	内容 画商、多様なパトロンが登場、オドリネールノイタリア語入門				
9回	テーマ 近代	近代	講義 演習	配布資料の復習 プレゼン準備	120
	内容 カーンツヴァイラー、画家・画集の出版人、ロシアのパトロンノイタリア語入門				
10回	テーマ 近代	近代	講義 演習	配布資料の復習ノプレゼン準備	120
	内容 シチューキン家、ロシア・アヴァンギャルドと蒐集家ノイタリア語入門				

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	アメリカのパトロン	講義 演習	配布資料の復習/プレゼン準備/レポート準備	120
	内容	アメリカのパトロンとモダン・アートの誕生			
12回	テーマ	アメリカのパトロン	講義 演習	配布資料の復習/プレゼン準備/レポート準備	120
	内容	マネー・キング、美術史家ベリシジンと画廊デザイン			
13回	テーマ	アメリカのパトロン	講義 演習	配布資料の復習/プレゼン準備/レポート準備	120
	内容	財閥のパトロン(モーガン、カーネギー、ロックフェラーなど)			
14回	テーマ	プレゼン	AL PBL	プレゼン準備/プレゼン準備/レポート準備	120
	内容	学生によるプレゼンテーション/インタリア語入門			
15回	テーマ	プレゼン 総括	AL PBL	レポート完成	120
	内容	レポート完成・提出/総括			
16回	テーマ				180
	内容				

科目名	日本・東洋美術史特論Ⅰ*4(2美)				開講学年	2	講義コード	2674101	区分	選必	
英文表記	Japanese/Eastern Art History, Advanced I				開講期	後期0D	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本美術史 鑑賞能力 アートリテラシー 文章記述力										
授業概要	<p>美術史は芸術作品を対象とし、その作品を歴史の中に位置付け、それがどのような環境で誕生し、どのようなものとして存在したかについて、またその意味内容について幅広く探っていく学問である。その芸術作品の理解にはその芸術作品の造形上の特徴や何時、何処で制作され、といった作品のそのものの情報を引き出す必要がある。その第一歩として徹底した「観察」により、その形を言語化することが美術史研究の基礎的な作業となる。それが作品記述(description:ディスクリプション)という作業である。この基礎作業の上に、作品解釈やその作品の歴史的理解が成り立っている。ここでは作品の「観察」を通して、視覚から得た形の情報を言語化するとともに、同時に視覚による観察を通して、その形を「素描」することにより、その形態を把握することで、形の微細な差異を見分ける美術史研究に必要な基礎的な能力を養うことを主眼とする。目と手を使って楽しみながら芸術作品の世界へ迫っていく。また、実社会にでも必要な伝達能力・構成力および汎用的な日本語の表現方法を身につける。毎回の作品カードの添削指導で学生へフィードバックを行う。</p>							関連科目			
								日本美術史／東洋美術史／日本・東洋美術史特論II/宗教芸術・文化II(アジア)			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	美術史研究に必要な観察力を習得できる。									
	②	作品記述の内容を他者へ正確に伝達する能力を習得できる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	80	0	0	10	10	100		
教科書											
参考書											

予備知識	「日本美術史」の単位を修得しているのが望ましい。
DPとの関連	芸術文化研究に必要な情報収集力、観察力・洞察力、文章力を鍛錬する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	作品カード8枚(うち4枚素描)(80%)と課題の取り組み・ポートフォリオ提出(20%)で評価する。

単位修得の条件は①出席3分の2以上、②作品カード提出(8枚)をすべて満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ 内容	授業の進め方 カード作成のやり方およびポイント	講義	作品カードの作成の理解	90
2回	テーマ 内容	縄文・弥生・古墳時代(第2-3週) 土器・青銅器他から1点(1枚目)	演習(添削指導)	各自作品カード作成する。作品記述は添削を受ける。	180
3回	テーマ 内容	飛鳥・白鳳時代(4-5週) 仏像・絵画・工芸から1点(2枚目)	演習(添削指導)	事前にしてきた作品記述の作成、教員による添削指導。	180
4回	テーマ 内容	奈良時代(6-7週) 仏像・絵画から1点(3枚目)	演習(添削指導)	事前にしてきた作品記述の作成、教員による添削指導。	180
5回	テーマ 内容	平安時代(8-9週) 仏像・絵画から1点(4枚目)	演習(添削指導)	事前にしてきた作品記述の作成、教員による添削指導。	180
6回	テーマ 内容	鎌倉一南北朝・室町時代(10-12週) 絵画(1点)、彫刻(1点)(5、6枚目)	演習(添削指導)	事前にしてきた作品記述の作成、教員による添削指導。	270
7回	テーマ 内容	桃山一江戸時代(14-16週) 絵画(1点)、彫刻・工芸から1点(7、8枚)	演習(添削指導)	事前にしてきた作品記述の作成、教員による添削指導。	270

科目名	芸術学演習Ⅰ（原書講読）＊5（2美）				開講学年	2	講義コード	2674201	区分	選択	
英文表記	Seminar on Arts (Reading Original Texts)				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アトリテラシー 文章記述力 文章表現力										
授業概要	美術史に関する英語のエッセイ、論文を講読し、英語によるアート・レテラシー（アートの読み書き）の能力を修得する。必ず毎回講読する英文を日本語に訳出し、講義中に学生の訳出した日本語を教員により添削指導する。この演習を通して、実社会における汎用的な日本語の文章表現能力を身につける。							関連科目			
								*芸術文化コース専門科目全般に関係するので、関連科目は個別には表記しない。			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	英語の文献を読むための基礎力を養うことができる。									
	②	現代アートの作品記述、どのように言葉で分かりやすく表現できる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	70	0	10	20	100		
教科書											
参考書											

予備知識	英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲの修得しているのが望ましい。
DPとの関連	造形活動や芸術文化研究における専門家としてのライティング、プレゼンテーション能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	①テキスト講読の和訳、質問に対する対応、議論の参加など(20点)、②作品解説スライド(パワーポイント)作成(70点)③SOJOポートフォリオ(10点)

英文テキストを輪読するので、毎回事前に予習を各自してくる。英和辞典を持参（電子辞書可）。単位修得の条件は①出席3分の2以上②課題提出をすべて満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 内容	序論 この授業の進め方とテキストの解説(第1回)	演習	事前に英文を読み、日本語にしておくこと。うまく予習:日本語にならなくても、問題ないので、一度日本語におとす。復習:講義終了後は、毎回進んだ分の英文を必ず自分の言葉で日本語にする。	90
2回	テーマ 内容	テキスト講読 Chapter 1 Objects/Toys No title by Eva Hesse(第2,3回)	演習	PP.32-33.	180
3回	テーマ 内容	テキスト講読 More love Hours than can ever repaid and The Wages of Sin by Mike Kelley(第4,5回)	演習	PP.34-35.	180
4回	テーマ 内容	テキスト講読 Untitled(USA TODAY) by Félix Gonzalez-Torres(第6,7回)	演習	PP.36-37	180
5回	テーマ 内容	テキスト講読 Horses Running Endlessly by Gabriel Orozco(第8,9回)	演習	PP.38-39	180
6回	テーマ 内容	テキスト講読 Bidibidobidiboo by Maurizio Catalan(第10,11回)	演習	PP.40-41	180
7回	テーマ 内容	テキスト講読 Meringue Mix by Wayne Thibaud(第12,13回)	演習	PP.42-43	180
8回	テーマ 内容	まとめ 課題提出(上記の訳出)		これまで訳出したものを作品解説スライド(パワーポイント)としてまとめ、期日までに提出する。	90

科目名	アートマネジメント論*7(2美)				開講学年	2	講義コード	2674401	区分	選必	
英文表記	Art Management Study				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アートワークショップ アートプロジェクト コミュニティ										
授業概要	<p>本講義はアートマネジメントについてその誕生から現在までの動向を探ることによって、アートがなぜ人間に必要なのか、または社会が求めるアートとは何かについて考え、今日求められているアートマネジメントのあり方を受講者と一緒に考えていく。そして、アートマネジメント事例研究を行った上で、アートと社会の関係のあり方をプレゼンテーションにより議論し、社会における「アート」の役割について理解していく。講義受講後、学習した事柄、概念などをテキストで復習するとともに、テキストの次回の内容を精読しておくこと。常日ごろアートプロジェクトの情報にアンテナを立てておくこと。各テーマごとに内容の理解に対するレポートを作成し、提出されたら授業の中で受講生にフィードバックする。</p>							関連科目			
								美術ジャーナル論/ワークショップ演習/視覚造形実習ⅠA、B、ⅡA、B/学芸員資格に必要な科目			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	アートマネジメントについての歴史や基本的な知識を理解できる。									
	②	アートを通して人や社会の関係性を築くことができるかを自分自身で思考できる視点や考え方を理解できる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	20	40	0	10	30	100		
教科書											
参考書											

予備知識	
DPとの関連	造形活動や芸術文化研究に関連して、マネジメント力(なんとか成し遂げる)についての基礎的な知識・能力を身につける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	授業への取り組み30、プレゼンテーション40、レジユメ(課題提出を含む)20、SOJOポートフォリオの提出10の計100。

単位修得の条件は①出席3分の2以上、②プレゼンテーション実施(レジユメ提出含む)のすべてを満たしていること。本講義は2年通年「ワークショップ演習」(実践)と連動している。スライドおよび配布資料にて進める。講義前半は『これからのアートマネジメント』を参考にして、「アートマネジメント」のあり方について解説していく。授業の後半ではアートマネジメントの事例を各自取り上げ、発表し、受講者とともにこれからのアートマネジメントのあり方について討議する。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	序論	講義	本講義の内容・目的の理解	90
	内容	これからのアートマネジメント			
2回	テーマ	これからのアートマネジメントとは?	講義/SGD	テキストの内容を精読しておくこと。	90
	内容	新たなアートマネジメントの可能性 “ソーシャル・シェア”への道			
3回	テーマ	アートマネジメントの歴史①	講義/SGD	該当のテキスト部分を精読しておくこと。	90
	内容	アートマネジメント前史			
4回	テーマ	アートマネジメントの歴史②	講義/SGD	該当のテキスト部分を精読しておくこと。	90
	内容	アートマネジメントの誕生から現在まで			
5回	テーマ	アートマネジメントの仕事①	講義/SGD	該当のテキスト部分を精読しておくこと。	180
	内容	アートの現場/企画・制作の進め方/展示の方法			
6回	テーマ	アートマネジメントの仕事②	講義/SGD	該当のテキスト部分を精読しておくこと。	180
	内容	評価/お金の問題/ダブル・ジューディング			
7回	テーマ	アートマネジメントの思想①	講義/SGD	該当のテキスト部分を精読しておくこと。	180
	内容	人間にはなぜアートが必要なのか?/「場」の力を考える			
8回	テーマ	アートマネジメントの思想②	講義/SGD	該当のテキスト部分を精読しておくこと。	180
	内容	社会はアートを必要としているのか?/文化の多様性を生み出す			
9回	テーマ	プレゼンテーション	AL	アートマネジメント(アートプロジェクト、芸術祭など)事例を各自で取り上げ、調べる。	90
	内容	アートマネジメント事例研究 (第13週)			
10回	テーマ	プレゼンテーション	演習/SGD	アートマネジメント事例研究の成果発表	180
	内容	研究発表&討議 ①② 総括 (第14-15週)			

科目名	視覚造形実習ⅡB*8(2美)				開講学年	2	講義コード	2674701	区分	必修	
英文表記	Visual Arts Work II B				開講期	後期	開講形態		単位数	8	
担当教員	永田郁(美術) 永田郁(デザイン/写真) 野島泉里(非常勤) 野島マーサ(非常勤)										
研究室	永田A208(芸術学部棟) 甲野D213(芸術学部棟)						オフィス アワー 水曜日5限(永田)				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アート制作 現代アート ポートフォリオ										
授業概要	本実習は視覚造形実習ⅡAの内容を踏まえ、最終的に受講生による硯川実習棟における作品展示The 3rd Floorを目指す(野島泉里・野島マーサ【非常勤】)。また、それに伴う作品のドキュメンテーションも並行して実施する。その他、甲野クラスでは写真の基本的な撮影技術を学び、アート表現による写真の可能性を学ぶ。永田クラスでは前期に引き続きよしみち展(図書館プロジェクト)制作を行い(11月末まで)、The 3rd Floorに向けての制作を行う。各教員の課題は担当の時間による講評および年度末のThe 3rd floorの講評により学生へのフィードバックを行う。							関連科目			
								視覚造形実習ⅠA、ⅠB、視覚造形実習ⅡA、ⅡB、視覚造形実習ⅢA、ⅢB			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	総合的な表現の成果として硯川実習棟の教室を使用した作品制作を実施し、統合的に表現できるようになる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	20	20	50	10	0	100		
教科書											
参考書											

予備知識	
DPとの関連	造形活動を通して総合的な問題解決の方法を学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	野島泉里・マーサクラスの課題、甲野クラスの課題、永田クラスの課題の点数を平均化し、満点70点とし、ポートフォリオ20点、目標到達度レポート10点、計100点で採点する。

本実習は内容が多岐にわたるため、リエンションおよび掲示・連絡に注意すること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	野島泉里・マーサクラス(月曜3-4限/金曜3-4限)	実習	本実習の理解、目的の確認	180
	内容	作品制作において必要な要素(暗示・質・普遍・調和等)を課題制作や作品研究を通して理解していく。			
2回	テーマ	作品制作について	実習	作品表現についての研究	360×3
	内容	課題制作Ⅰ			
3回	テーマ	作品制作について	実習	作品表現についての研究	360×3
	内容	課題制作Ⅱ			
4回	テーマ	作品制作について	実習	作品表現についての研究	360×3
	内容	課題制作Ⅲ			
5回	テーマ	作品制作について	実習	作品表現についての研究	360×3
	内容	課題制作Ⅳ			
6回	テーマ	作品制作について	実習	インスタレーション制作(協働制作)	360×4
	内容	課題制作Ⅴ			
7回	テーマ	永田クラス(写真)(木曜3-4限)	講義	各分野の著名な写真家の作品を解説 世の中の動向と写真写真技術	180
	内容	1.授業内容説明			
8回	テーマ	写真メディア	講義	フィルムカメラとデジタルカメラ 露出計 撮影実験(カラーリバーサルフィルム)	180
	内容	2.カメラのじくみ			
9回	テーマ	写真メディア	講義	自然光 絞りとシャッタースピード、被写界深度について(白黒フィルム)	180
	内容	3.光と影の撮影			
10回	テーマ	写真メディア	実習	4の実習内容の理解	180
	内容	4.白黒フィルムの現像とコンタクトシート			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	写真メディア	実習	5の実習内容の理解	180
	内容	5.白黒フィルムの引き延ばしプリント			
12回	テーマ	写真メディア	実習	スタジオ撮影・ストロボ(白黒フィルム)	180
	内容	6.光と影の撮影			
13回	テーマ	写真メディア	実習	白黒フィルムの現像についての実施と理解	180
	内容	7.白黒フィルムの現像とコンタクトシート			
14回	テーマ	写真メディア	実習	白黒フィルムの引き延ばしプリントの実施と理解	180
	内容	8.白黒フィルムの引き延ばしプリント			
15回	テーマ	写真メディア	実習	物(カラーリバーサルフィルム&デジタル)	180
	内容	9.ストロボのライティング技術			
16回	テーマ	写真メディア	実習	人物(カラーリバーサルフィルム&デジタル)	180
	内容	10.ストロボのライティング技術2			
17回	テーマ	写真メディア	実習	日中シンクロ(カラーリバーサルフィルム&デジタル)	180
	内容	11.ストロボのライティング技術3			
18回	テーマ	写真メディア	実習	デジタル現像について	180
	内容	12.スキャナー入力			
19回	テーマ	写真メディア	実習	カラーマネジメントの考え方	180
	内容	13.処理、補正について			
20回	テーマ	写真メディア	実習	パネル張り	180
	内容	14.インクジェット出力			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
21回	テーマ	写真メディア	講義	プレゼンテーション	180
	内容	15:プレゼン作品総講評			
22回	テーマ	永田クラス(水曜3-4限)よりみち展(予定)	実習	地域をフィールドワークする(企画・展示・ワークショップ実施)	180×5
	内容	フィールドワーク実習(リサーチ)(あるいはプラザ図書館プロジェクト制作)(第1-5週)			
23回	テーマ		実習/演習	作品あるいは活動の発表・実施	180×8
	内容	フィールドワーク実習 上記のリサーチをもとに企画・構想し、作品あるいは活動へ展開			
24回	テーマ		実習	フィールドワークをドキュメントレポートフォルリオを作成	180× 2
	内容	ポイントフォルリオ作成提出			
25回	テーマ		発表・講評	学生によるプレゼンテーションと講評	180
	内容	3rd Floor実施(第16週)			

科目名	日本画実習ⅣA (3美)				開講学年	3	講義コード	2675001	区分	選必	
英文表記	Japanese Painting IVA				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	中村 賢次										
研究室	A416						オフィス アワー 水曜昼休み				
メールアドレス	ken1214@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画,岩絵具										
授業概要	制作の第一歩である感動という主観性を大切にしながら、作品の内容、テーマ、画材の取り扱いを含めた技術・技法など全プロセスに渡って客観的な制作プランを組み立て、より高度な作品の完成を目指す。更に日本画制作において現代に生きる者として広い視野に立ち、独創的な表現を目指す。							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	制作を通じて自己判断能力を高めることができるようになる									
	②	表現するために必要な自身の技術・技法について理解できるようになる									
	③	大作を制作するために必要な全プロセスを理解できるようになる									
	④	現代社会における日本画と自己の役割を認識できるようになる									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席及び制作姿勢10点	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB、日本画実習ⅢA、日本画実習ⅢB、特別演習(日本画)
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	日常的な質疑により理解度を確認する。一作品ごとに合評・採点を行う。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ 自由制作	写生及び150号パネル製作	実習	十分な写生を繰り返す	360
2回	テーマ 自由制作	小下図・草稿制作及び裏打ち	実習	感覚的なイメージを具現化する	360
3回	テーマ 自由制作	墨入れ・地塗り	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	360
4回	テーマ 自由制作	本紙制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
5回	テーマ 自由制作	本紙制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
6回	テーマ 自由制作	本紙制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
7回	テーマ 自由制作	本紙制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
8回	テーマ 自由制作	本紙制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
9回	テーマ 自由制作・合評	合評・採点	講義	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	360
10回	テーマ 自由制作	写生及び50号パネル製作	実習	十分な写生を繰り返す	360

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	自由制作	実習	感覚的なイメージを具現化する	360
	内容	小下図・草稿及び裏打ち			
12回	テーマ	自由制作	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	360
	内容	墨入れ・地塗り			
13回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
14回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
15回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
16回	テーマ	自由制作・合評	講義	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	360
	内容	合評・採点			

科目名	日本画実習ⅣB (3美)				開講学年	3	講義コード	2675002	区分	選必	
英文表記	Japanese Painting IVB				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	佐藤 和歌子										
研究室	A416						オフィス アワー 水曜昼休み				
メールアドレス	w-sato@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画,岩絵具										
授業概要	制作の第一歩である感動という主観性を大切にしながら、作品の内容、テーマ、画材の取り扱いを含めた技術・技法など全プロセスに渡って客観的な制作プランを組み立て、より高度な作品の完成を目指す。更に日本画制作において現代に生きる者として広い視野に立ち、独創的な表現を目指す。							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	制作を通じて自己判断能力を高めることができるようになる									
	②	表現するために必要な自身の技術・技法について理解できるようになる									
	③	大作を制作するために必要な全プロセスを理解できるようになる									
	④	現代社会における日本画と自己の役割を認識できるようになる									
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	80	10	出席及び制作姿勢10点	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB、日本画実習ⅢA、日本画実習ⅢB、特別演習(日本画)
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	日常的な質疑により理解度を確認する。一作品ごとに合評・採点を行う。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	自由制作	実習	十分な写生を繰り返す	360
	内容	写生及び150号パネル製作			
2回	テーマ	自由制作	実習	感覚的なイメージを具現化する	360
	内容	小下図・草稿制作及び裏打ち			
3回	テーマ	自由制作	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	360
	内容	墨入れ・地塗り			
4回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
5回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
6回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
7回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
8回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
9回	テーマ	自由制作・合評	講義	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	360
	内容	合評・採点			
10回	テーマ	自由制作	実習	十分な写生を繰り返す	360
	内容	写生及び50号パネル製作			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	自由制作	実習	感覚的なイメージを具現化する	360
	内容	小下図・草稿及び裏打ち			
12回	テーマ	自由制作	実習	カタチに対して十分な検討を行なう	360
	内容	墨入れ・地塗り			
13回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
14回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
15回	テーマ	自由制作	実習	画材や技法について十分に検討する	360
	内容	本紙制作			
16回	テーマ	自由制作・合評	講義	客観的に自身の作品を見て課題を検討する	360
	内容	合評・採点			

科目名	洋画実習ⅣA (3美)				開講学年	3	講義コード	2675401	区分	選必	
英文表記	Oil Painting ⅣA				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	熊谷有展 永田和之 (非常勤)										
研究室	芸学3F						オフィス アワー 金5				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	自由制作										
授業概要	自身で課題を見つけての自由制作。自身のイメージを造形化させる。画材を使いこなす。このことを踏まえ、創造的な作品を生み出すキッカケを掴む。授業の中で適宜、作品講評会を行い作品上のアドバイスと評価を行う。							関連科目			
								洋画実習ⅡA、洋画実習ⅡB			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	独自の絵画表現を試みることで、個性(オリジナリティ)を理解することができる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	0	70	10	20	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	洋画実習ⅢA
DPとの関連	専門的な知識と技術を身につけることで、自身の絵画表現の巾を広げる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	授業への積極的な参加と作品による。

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	制作	実技	オリエンテーション、発想、デッサン、エスキース等	360
	内容	自由制作(イメージと技法) テーマ、構図の決定			
2回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
3回	テーマ	〃	〃	構図の決定	360
	内容	〃			
4回	テーマ	〃	〃	制作	360
	内容	自由制作			
5回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
6回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
7回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
8回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
9回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
10回	テーマ	〃 講評	講評	〃 中間講評	360
	内容	中間講評			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	制作	実技	制作	360
	内容	油彩による制作			
12回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
13回	テーマ	〃 〃	〃	〃	360
	内容	〃			
14回	テーマ	〃	〃	〃	360
	内容	〃			
15回	テーマ	講評	〃 講評	〃 作品講評	360
	内容	作品講評			

科目名	洋画実習ⅣB (3美)				開講学年	3	講義コード	2675402	区分	選択		
英文表記	Oil Painting ⅣB				開講期	後期	開講形態		単位数	4		
担当教員	熊谷有展 永田和之 (非常勤)											
研究室	芸学3F						オフィス アワー 金曜日5時限目					
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	洋画ⅣB											
授業概要	<p>洋画実習ⅣA(自由制作)をもう一步進めた高度な研究。この授業は、汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。洋画に関する幅広い表現技法、用具の特性、また、油彩画の歴史についての理解を深める。授業の中で適宜、作品講評会を行い作品上のアドバイスと評価を行う。</p>								関連科目			
									洋画実習ⅢB			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p>								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	自己表現ができる										
	②	今後の制作の原点となるものを探ることができる										
	③											
	④											
	⑤											
	⑥											
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	0	0	70	10	20	100			
教科書	特になし											
参考書	特になし											

予備知識	洋画実習ⅣAと連動する。
DPとの関連	汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。
実務経験のある教員	
評価明細基準	授業への積極的な参加と作品による

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	制作	実技	オリエンテーション、発想、取材、デッサン、エスキース等	360
	内容	テーマ、構図の決定			
2回	テーマ	//	//	//	360
	内容	//			
3回	テーマ	//	//	構図の決定	360
	内容	//			
4回	テーマ	//	//	作家研究による自由制作。各自、自由な発想・テーマに基づいて、よりプロセスを大切にしながら取り組む	360
	内容	油彩による制作			
5回	テーマ	//	//	//	360
	内容	//			
6回	テーマ	//	//	//	360
	内容	//			
7回	テーマ	//	//	//	360
	内容	//			
8回	テーマ	//	//	//	360
	内容	//			
9回	テーマ	//	//	//	360
	内容	//			
10回	テーマ	講評	//	講評	360
	内容	中間講評			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	制作	"	"	360
	内容	油彩による制作			
12回	テーマ	"	"	"	360
	内容	"			
13回	テーマ	"	"	"	360
	内容	"			
14回	テーマ	"	"	"	360
	内容	"			
15回	テーマ	講評	" 講評	"	360
	内容	作品講評			

科目名	彫刻実習ⅣA (3美)				開講学年	3	講義コード	2675801	区分	選必	
英文表記	Sculpture trainingⅣA				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	勝野 眞言 (実務経験)										
研究室	A212						オフィス アワー 火曜日 16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	彫刻, 人体, 観察, 粘土										
授業概要	主として粘土を用い人体をモチーフとして人物塑造制作を行う。その中で、可塑性や固まりなどの材料の性質を理解し、観察を通して人の形、量を構成する動きや構造などの造形要素を考察し、彫刻の諸要素の関連を探っていく。授業を進めるなかで、学生各自が制作にあたってのテーマを明確にし、そのテーマに向かって制作することが自己の確認、そして新たな自己への巡り合い、お互いの切磋琢磨の場となるよう授業を組み立て展開する。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。							関連科目			
								彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B／基礎デッサン1、2			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	粘土による制作を通して観察力を深めることができる。									
	②	素材の特性を理解し、制作に活かすことができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	プリント										
参考書	プリント										

予備知識	モチーフを人物(ヌード)とする。対象をしっかり観察し、素描により個々の制作意図を固め、粘土による塑造制作へと展開して行く。その中で基本的な造形力を確認して行く。
DPとの関連	客観的な観察力を身に付けるために、対象を深く見つめ、人体の内にある基本的な構造、動勢、比率を素描(平面)と塑造(立体)の両次元から理解を深めて行く中で、課題を通して普遍的かつ幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付ける。【知識・理解】【汎用的技能】【態度・志向性】
実務経験のある教員	勝野 眞言
評価明細基準	出席・課題の取り組み・作品の到達度などを考慮し、総合的に評価する。

作業着着用。制作前には空調管理を行うこと。各自制作終了後には整理整頓を行うこと。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	対象の理解	実習	時間をかけた観察により対象の特性を理解する	180
	内容	制作Ⅰ 素描(デッサン)			
2回	テーマ	対象の理解	実習	短時間での対象の特性理解	180
	内容	制作Ⅱ 素描(クロッキー)			
3回	テーマ	対象の理解	実習	制作意図の確認	180
	内容	制作Ⅲ ポーズの決定			
4回	テーマ	構造の理解	実習	芯棒による量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅳ 芯棒制作			
5回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅴ 粘土付け			
6回	テーマ	対象の理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅵ 中間講評会			
7回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅶ 作り込み			
8回	テーマ	対象の理解	実習	造形原理の生かし方とその構築について	180
	内容	制作Ⅷ 彫刻の構築			
9回	テーマ	作品の客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅸ 講評会			
10回	テーマ	対象の理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅹ 作り込み			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
12回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
13回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
14回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
15回	テーマ	対象の理解	実習	同上	180
	内容	同上			
16回	テーマ	作品の客観的な理解	実習	到達度ポートフォリオの作成	180
	内容	講評会 制作の狙いの確認			

科目名	彫刻実習ⅣB (3美)				開講学年	3	講義コード	2675802	区分	選必	
英文表記	Sculpture trainingⅣB				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	勝野 眞言 (実務経験)										
研究室	A212						オフィス アワー 火曜日 16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	彫刻, 人体, 観察, 粘土										
授業概要	主として粘土を用い人体をモチーフとして人物塑造制作を行う。その中で、可塑性や固まりなどの材料の性質を理解し、観察を通して人の形、量を構成する動きや構造などの造形要素を考察し、彫刻の諸要素の関連を探っていく。授業を進めるなかで、学生各自が制作にあたってのテーマを明確にし、そのテーマに向かって制作することが自己の確認、そして新たな自己への巡り合い、お互いの切磋琢磨の場となるよう授業を組み立て展開する。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。							関連科目			
								彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B、4A/基礎デッサン1、2			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	粘土による制作を通して観察力を深めることができる。									
	②	素材の特性を理解し、制作に活かすことができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	20	60	10	10	100		
教科書	プリント										
参考書	プリント										

予備知識	モチーフを人物とする。対象をしっかり観察し、素描により個々の制作意図を固め、粘土による塑造制作へと展開して行く。その中で基本的な造形力を確認して行く。
DPとの関連	客観的な観察力を身に付けるために、対象を深く見つめ、人体の内にある基本的な構造、動勢、比率を素描(平面)と塑造(立体)の両次元から理解を深めて行く中で、課題を通して普遍的かつ幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付ける。【知識・理解】【汎用的技能】【態度・志向性】
実務経験のある教員	勝野 眞言
評価明細基準	出席・課題の取り組み・作品の到達度などを考慮し、総合的に評価する。

作業着着用。制作前には空調管理を行うこと。各自制作終了後には整理整頓を行うこと。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	時間をかけた観察により対象の特性を理解する	180
	内容	制作Ⅰ 素描(デッサン)			
2回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	短時間での対象の特性理解	180
	内容	制作Ⅱ 素描(クロッキー)			
3回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	制作意図の確認	180
	内容	制作Ⅲ ポーズの決定			
4回	テーマ	対象の構造の理解	実習	芯棒による量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅳ 芯棒制作			
5回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	量感、動勢、構造の理解	180
	内容	制作Ⅴ 粘土付け			
6回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅵ 中間講評会			
7回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅶ 作り込み			
8回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	造形原理の生かし方とその構築について	180
	内容	制作Ⅷ 彫刻の構築			
9回	テーマ	作品の客観的な理解	実習	制作の狙いの確認	180
	内容	制作Ⅸ 講評会			
10回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ	180
	内容	制作Ⅹ 作り込み			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	同上	180
	内容	同上			
12回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	同上	180
	内容	同上			
13回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	同上	180
	内容	同上			
14回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	同上	180
	内容	同上			
15回	テーマ	対象の客観的な理解	実習	同上	180
	内容	同上			
16回	テーマ	作品の客観的な理解	実習	到達度ポートフォリオの作成	180
	内容	講評会 制作の狙いの確認			

科目名	鑄造実習B(3美)				開講学年	3	講義コード	2676101	区分	選択	
英文表記	Casting Practice B				開講期	後期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	陶山 伸一 (非常勤)										
研究室	硯川実習室107						オフィス アワー 火曜日16時30分				
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	,技法,窯,溶解,蠟,ブロンズ										
授業概要	<p>蠟型鑄造に対する理解を深め、実習によって蠟の合わせ方、流し方、窯の組み方、火入れ、焼成、合金の割合、金属溶解、鑄込み、仕上げなどについて、確実に安全な方法を身につける。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。</p>							関連科目			
								彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	蠟型鑄造に対する理解を深めることができる									
	②	安全に作業を行うことができる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	10	60	10	20	100		
教科書	プリント										
参考書	プリント										

予備知識	彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B
DP との 関連	1.造形活動を通して培った汎用的造形力・表現力を通して、社会への関わり方や発展に持続的に貢献できる能力を身に付ける。【知識・理解】【汎用的技能】 2.課題を通して幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付ける。【態度・志向性】
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	出席・課題の取り組み・到達度などを考慮し、総合的に評価する。

実習中に適宜指示する。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	鑄造技法	実習	講義で工程の流れを知る	80
	内容	蠟型鑄造法とは			
2回	テーマ	鑄造技法	実習	蠟の特性を知る	270
	内容	蠟原型制作			
3回	テーマ	鑄造技法	実習	工程のポイントを学ぶ	450
	内容	窯詰め、焼成 火入れ、鑄型の焼成をする			
4回	テーマ	鑄造技法	実習	工程のポイントを学ぶ	450
	内容	鑄込み			
5回	テーマ	鑄造技法	実習	到達度ポートフォリオの作成	90
	内容	仕上げ 型を割り、湯道、釘を抜く 酸洗い、着色、色止めをする			

科目名	考古学と文化財Ⅱ（保存・修復）（3美）				開講学年	3	講義コード	2676301	区分	選必	
英文表記	Archeology and Cultural Property II : Preservation & Restoration				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	高濱 州賀子（非常勤） 中村 賢次										
研究室	芸術学部 非常勤講師室						オフィス アワー 授業日、講義後の1時間				
メールアドレス	sugako-ta12@cube.ocn.ne.jp										
キーワード	文化財保存 修復										
授業概要	<p>美術学科の人材育成の目標の一つに、美術領域の専門家として基礎的な知識や技術を総合的に身に付けることが挙げられるが、本科目は芸術文化コースの学生のみならず実技コースの学生にとっても、文化財に対する基礎的知識や技術を習得する上で必要不可欠な科目である。文化財保護法の基本理念を基に、文化財としての陶磁器・漆工芸・金工・茶道具・能道具・武具などさまざまな美術品の調査法、保存対策、修復事業の現状を講義する。2016熊本地震により大きな被害を受けた特別史跡熊本城など300件を超える指定文化財、あるいは未指定の文化財や美術品については緊急の保存対策や修復・復原のニーズが生じている。これらの現状と未来像について講義する。本講義は文化財保護主事や教員・学芸員などが関わる文化財保護の専門的知識を修得するもの。また、工芸や絵画等の修復について現場にて実際に体験する機会を設ける。</p>							関連科目			
								考古学と文化財Ⅰ、日本美術史			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	工芸や日本美術の特性を理解。									
	②	文化財保護法の基本理念を理解し、文化財保存の問題点を修得。									
	③	熊本地震による被災文化財の修復と保存について討議。									
	④	絵画・古文書・版画等、紙による文化財の保存や取扱いについて修得。									
	⑤	茶道具・能道具・武器武具の取り扱いと調査法を修得。									
	⑥	絵画作品の保存と修復、油絵・日本画・版画の修復技法。									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	10	50	0	0	10	30	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本史、日本美術史などの基礎的知識。
DPとの関連	芸術文化研究において培った基礎的知識や専門的知識、論理的思考力、歴史的視点を活かして、社会で芸術文化研究における専門家として芸術文化の発展に持続的に貢献できる力を身に付けることを目指す。
実務経験のある教員	
評価明細基準	レポートは修復の必要な文化財について具体的な例をあげて報告する。学術的かつ専門的な知識に裏付けられた指針であること、また一般市民にとっても解りやすい説明になっているか等を評価する。小テストやポート・フォリオにより講義内容の理解や学修達成度を見る。また出席日数も評価に加える。

レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス	オリエンテーション(概説) 工芸や日本美術の特性を学ぶ。	講義	配布する資料について検討する。	任意
2回	テーマ 文化財保護法	文化財保護法について。文化財保護法の基本理念と地域の文化財について解説する。	講義	文化財保護法を読む。	任意
3回	テーマ 文化財保存の指針	文化財保存に関する指針について。保存と公開、温湿度、黴や病害虫対策、移動や災害等の対策について講義。	講義	配布する資料について検討する。	任意
4回	テーマ 熊本地震による文化財被害	熊本地震による文化財被害。熊本地震により300件を超える指定文化財が被災した。その実情を解説する。	講義	特になし	任意
5回	テーマ 熊本城の保存と公開	特別史跡熊本城の保存と公開について。熊本地震により甚大な被害を受けた熊本城の修復・復原について検討する。	講義	熊本城の現状について調べる。	任意
6回	テーマ 紙の文化財の調査法	紙の文化財の調査法。書跡・典籍・古文書・版画等、紙による文化財の保存や取扱について。	講義	配布する資料について検討する。	任意
7回	テーマ 茶道具の取り扱い	茶道具の取り扱い。茶碗・水指・茶入・棗・花入など茶道具の取り扱いと調査法を学ぶ。	講義	配布する資料について検討する。	任意
8回	テーマ 能道具の歴史と特質	能道具の歴史と特質。能楽における道具の役割と歴史的展開。	講義	配布する資料について検討する。	任意
9回	テーマ 大名道具の歴史と特質	大名道具の歴史と特質。大名家に伝わる武器武具、調度の歴史と特質を解説。	講義	配布する資料について検討する。	任意
10回	テーマ 金工品の取り扱い	金工品の取り扱い。刀や鐔など金工品の歴史と取り扱い。	講義	配布する資料について検討する。	任意

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文化財資料のデータ保存と資料ネットワーク	講義	配布する資料について検討する。	任意
	内容	文化財資料のデータ保存と資料ネットワークについて。地域における文化財調査資料データの蓄積と、その共有化について解説する。			
12回	テーマ	浄国寺谷汲観音像の修復	講義	配布する資料について検討する。	任意
	内容	浄国寺谷汲観音像の修復。生人形の歴史と修復活動について。			
13回	テーマ	工芸作品の保存と修復	講義	配布する資料について検討する。	任意
	内容	工芸作品の保存と修復。陶磁器や漆工の修復技法。			
14回	テーマ	修復における問題点	講義	配布する資料について検討する。	任意
	内容	補助金活用など資料修復の方法と問題点を検討			
15回	テーマ	日本画・版画の修復技法	実習	特になし	0
	内容	絵画作品の保存と修復2.日本画・版画の修復技法。			

科目名	学外演習（日本画）◎（3美）				開講学年	3	講義コード	2676701	区分	必修	
英文表記	Off-site study (Japanese Painting)				開講期	後期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	中村 賢次										
研究室	A416						オフィス アワー 水曜昼休み				
メールアドレス	ken1214@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	日本画										
授業概要	九州内にある美術館・博物館等の文化施設、及び国又は県指定の重要文化財の見学・視察を行い、芸術や日本文化に接する機会を通して、個々の造形に於ける表現をより広めることを目指す。							関連科目			
								日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習（日本画）			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	過去の優れた作品に接することにより、現代における美術文化の役割と重要性を理解できるようになる									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	50	0	0	10	出席40点	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	授業の中で指示する										

予備知識	日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB、日本画実習ⅢA、日本画実習ⅢB、特別演習（日本画）
DPとの関連	本授業の実習を通して日々制作に向き合うことによって美術領域の専門家としての技術や知識を得るだけでなく、自ら学び地域や社会全体に対して倫理的な思考のもと造形活動が展開できるようになるための科目。
実務経験のある教員	
評価明細基準	レポート及び出席による採点。

毎回事前に見学・視察先の情報を入手し、それについての理解を深めた上で現地で現物に触れるように準備する。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	美術館・博物館見学	実習	見学予定の展覧会情報の確認とレポートの作成	450
	内容	熊本市現代美術館の見学			
2回	テーマ	美術館・博物館見学	実習	見学予定の展覧会情報の確認とレポートの作成	450
	内容	熊本県立美術館の見学			
3回	テーマ	美術館・博物館見学	実習	見学予定の展覧会情報の確認とレポートの作成	450
	内容	九州内の美術館の見学			
4回	テーマ	重要文化財視察	実習	見学予定の文化財についての情報確認とレポート作成	450
	内容	熊本県内の国宝・重要文化財の視察			

科目名	学外演習（洋画）◎（3美）				開講学年	3	講義コード	2676801	区分	必修	
英文表記	Off-site study(Oilpaintng)				開講期	後期集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	下城賢一 熊谷有展										
研究室	L号館A201						オフィス アワー 後期集中				
メールアドレス	kumagae@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	美術展見学、見学ノート										
授業概要	見学する展覧会の下調べ。展示してある作品と作家の時代や歴史等の予習。							関連科目			
								洋画実習ⅠB、洋画実習ⅡA、洋画実習ⅡB、洋画実習ⅢA、洋画実習ⅢB、洋画実習ⅣA、洋画実習ⅣB			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	見学レポートにおいて展覧会や作家・作品の魅力を説明することができる									
	②	鑑賞力とプレゼンテーションを強化することができる									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	0	0	0	60	20	0	10	10	100		
教科書	授業の中で指示する										
参考書	展覧会カタログ										

予備知識	日本美術史、西洋美術史、西洋画特論
DPとの関連	芸術における高度な専門家になるためには、表現する力とそれを支える展覧会見学で身につけた鑑賞力による発想力が必要。
実務経験のある教員	
評価明細基準	鑑賞力、文章力、積極的な授業参加

レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 内容	鑑賞 国内外の美術展見学	見学／講 義	該当する展覧会・作家や作品について調べておく	任意

科目名	学外演習（彫刻）◎（3美）				開講学年	3	講義コード	2676901	区分	必修		
英文表記	extracurricular exercise				開講期	後期集中	開講形態		単位数	2		
担当教員	勝野 眞言（実務経験）											
研究室	A212						オフィス アワー 火曜日16時30分					
メールアドレス	katsuno@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	地域,美術館,工房,文化,史跡											
授業概要	<p>地域にある美術館や工房、あるいは文化的な施設や史跡等を視察し、ジャンルを越えて幅広く芸術や作家に触れることによって、制作者としての資質を高めることを目指す。実施内容は、大学が企画した研修等に積極的に参加するか、個人的に視察や研修を行なうこととし、いずれも視察ノートを作成し提出する。本授業を通して汎用的観察力・コミュニケーションスキルを体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。</p>								関連科目			
									彫刻実習4A、4B			
教職関連区分									建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
									学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標											
	①	幅広く芸術に親しみ、理解を深めることができる。										
	②	視察で得た見識を文章にまとめることができる。										
	③											
	④											
	⑤											
	⑥											
評価方法 (配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計			
	0	0	0	50	20	0	20	10	100			
教科書	プリント											
参考書	プリント											

予備知識	彫刻実習1A,1B,2A,2B,3A
DPとの関連	1.地域にある美術館や工房、あるいは文化的な施設や史跡等を視察し、ジャンルを越えて幅広く芸術や作家に触れることによって、制作者としての資質を高めることを目指す。【知識・理解】 2.課題を通して普遍的幅広い視野を涵養し、積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を身に付けることができる。【汎用的技能】【態度・志向性】
実務経験のある教員	勝野 眞言
評価明細基準	視察の回数、プレゼンテーション、視察ノートの内容で評価する

彫刻芸術に対する深い理解者となり、高度な資質を備えた表現者となるために、論理、素材、作家、制作上での技法、コンセプチュアルな表現などの中から興味深いテーマを選び、見学する美術館などを導き出す。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	授業内容を理解する	90分
	内容	導入			
2回	テーマ	作家研究	学外研修	作家研究のまとめ	270分
	内容	学外視察Ⅰ(美術館など)			
3回	テーマ	作家研究	学外研修	作家研究のまとめ	450分
	内容	学外視察Ⅱ(美術館など)			
4回	テーマ	作家研究	学外研修	作家研究のまとめ	450分
	内容	学外視察Ⅲ(美術館など)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	授業	作家研究のまとめ	90分
	内容	学外視察のプレゼンテーション			

科目名	造形実習Ⅰ(版画) (3美)			開講学年	3	講義コード	2677601	区分	選必	
英文表記	Art practiceⅠ(Printmaking)			開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	中川百合恵(非常勤)									
研究室	芸術学部1階 事務室					オフィス アワー 木曜日 1,2限目				
メールアドレス	shimojo@art.sojo-u.ac.jp									
キーワード	版画 テーマ制作 ステンシル キャラクター 絵本									
授業概要	版画表現の一つである「ステンシル」技法を用いて平面絵画制作を行う。ここでは各学生による「テーマ制作」が主眼におかれ、さらには「物語性」を構築し、「キャラクター造形」「絵画における空間」「世界観の模索」などを通してより深い絵画制作を目指すものである。最終的には「絵本」メディアに落とし込み、作品としての完成度および達成度を目指す。						関連科目			
							造形実習Ⅱ 共通絵画実習(日本画) 共通絵画実習(洋画) 共通立体論(彫刻)			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)						学修・教育目標			
							JABEE基準			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	版画「ステンシル」を理解できたか								
	②	ステンシル技法に習熟できたか								
	③	物語性について思考および制作								
	④	絵本についての一般的な知見の獲得								
	⑤	絵本制作								
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	10	20	60	10	0	100	
教科書	無し									
参考書	BLUEDOG George Rodrigue									

予備知識	版画におけるステンシルの技法および参考作品。
DPとの関連	版画における技法の特性を学ぶことにより、より広範囲な造形力を獲得し、個々の学生における専門領域の制作および研究の広がりを促すのが目的。 絵本というメディアを実際に制作することにより、社会に役立つ美術の専門家を養成する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1 ステンシル技法による作品制作の評価(30点) 2物語性を生かした絵本作り(30点) 3レポート(10点) 4絵本のプレゼンテーション(20点) 5ポートフォリオによる振り返り(10点)

毎回の授業の連続性が大切なので極力欠席をしないように留意すること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ	授業概要説明	講義	レポート関連のための復讐	180
	内容	ステンシル技法・絵本の作例を用いたレクチャー			
2回	テーマ	ステンシル実習 3・4・5・6・7・8・9回	実習	適宜、自学による振り返りと材料・道具の準備	1,260
	内容	版画技法ステンシルの制作			
3回	テーマ	絵本制作 10・11・12・13・14回	実習	適宜、自学による振り返りと材料・道具の準備	900
	内容	絵本制作・製本技法の研究			
4回	テーマ	作品プレゼン 15回	実習	適宜、自学による振り返りと材料・道具の準備	180
	内容	絵本作品のプレゼン評価・講評・解説			

科目名	造形実習Ⅱ(染色) (3美)			開講学年	3	講義コード	2677701	区分	選必	
英文表記	Art practice 2 (painting and staining)			開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	堀川 仁彦 (非常勤)									
研究室	L-A-216					オフィス アワー 木曜日 5時限目				
メールアドレス	@までの文字を入力@@以降を入力									
キーワード	フィギュア制作 立体造形 型取り									
授業概要	テーマをもとにオリジナルキャラクターのデザインを考え、平面のイメージを立体化する。粘土やその他の素材で立体化した作品を型取りし、恒久的に設置できる異素材に転用した後、着色を施し作品化する。一連の作品化までの過程を通して考えたことをまとめて文章化し、作品とともに発表する。						関連科目			
							共通立体、彫刻実習Ⅰ、彫刻実習Ⅱ			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)						建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
							学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標									
	①	コンセプトを立て独自のキャラクターを考案することができるようになる								
	②	平面のイメージを立体化することができる技能を習得する								
	③	型取りの正しい技法をマスターし、恒久的な形に展開することができるようになる								
	④	イメージ通りに彩色することができるようになる								
	⑤	自分の作品についてプレゼンできるようになる								
	⑥									
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	0	0	0	10	60	30	0	100	
教科書	適宜支持する									
参考書	適宜支持する									

予備知識	
DPとの関連	<p>美術表現者として独自のキャラクターをデザインし、平面のイメージを立体に置き換える作業は、創造性をはぐくむと同時に、実践的な制作スキルを向上させることのできる授業内容である。これらの実習を通して、学生は自分が感じ取ったことや考えたことから主題を生成する力を育むことができるとともに、創造的な表現の構想を練ることができるようになる。また、一連の型取り技法の実習を通して意図に応じて材料や用具の特性を生かすことができるようになる。彩色において染色の技法を取り入れた効果的な表現方法を模索する。</p>
実務経験のある教員	
評価明細基準	<p>1.コンセプトを持ってオリジナルのキャラクターをデザインすること。デザインの段階でまず最初の評価を実施します。2.平面のイメージを立体化する粘土の段階での完成度、独自性、創造性を評価します。3.粘土を型取りし、樹脂などの素材に置き換え、着色して仕上げる。作品を評価します。4.作品についてプレゼンをする。プレゼン資料、発表の様子、相互鑑賞の様子を総合的に評価します。</p>

作業に適した服装を準備すること

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1回	テーマ 内容	オリエンテーション 実習の天まがな流れを理解するとともに、実習に必要な服装、道具等を準備する。	講義		90
2回	テーマ 内容	キャラクター創作のポイントについて テーマを基に、オリジナルのキャラクターデザインを作るうえで注意するポイントについての解説を聞く。	講義		90
3回	テーマ 内容	キャラクターデザイン実習1 テーマ、コンセプトを基にして、オリジナルのキャラクターのアイデアスケッチを描く。	実習		180
4回	テーマ 内容	キャラクターデザイン実習2 アイデアスケッチから発想を広げ、彩色のイメージを加えたイメージ画を完成させる。	実習		180
5回	テーマ 内容	立体化する素材研究及び立体化するポイント 平面的イメージを立体化するうえで3面図の活用を図るとともに、自分の表現するものに適した素材を選択する。	実習		90
6回	テーマ 内容	立体原型制作1 3面図とアイデアスケッチを基に、心棒を制作する。	実習		180
7回	テーマ 内容	立体原型制作2 出来上がった心棒に粘土であら付けを施していく。	実習		180
8回	テーマ 内容	立体原型制作3	実習		180
9回	テーマ 内容	立体原型制作4	実習		180
10回	テーマ 内容	立体原型制作5	実習		90

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題(予習・復習)	時間(分)
11回	テーマ	型取り技法について	講義		180
	内容				
12回	テーマ	作品の雌型作成	実習		180
	内容				
13回	テーマ	作品の型取り1	実習		180
	内容				
14回	テーマ	作品の型取り2 作品割り出し	実習		180
	内容				
15回	テーマ	作品着色1	実習		180
	内容				
16回	テーマ	作品着色2	実習		180
	内容				
17回	テーマ	作品プレゼンと自己評価	講義		180
	内容				

科目名	日本・東洋美術史特論Ⅱ*4(3美)			開講学年	3	講義コード	2677801	区分	選必		
英文表記	Japanese/Eastern Art History, Advanced II			開講期	後期	開講形態		単位数	2		
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208					オフィス アワー 水曜日5限					
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アジア(東アジア/東南アジア/南アジア) アジア美術 西洋近代										
授業概要	我々はアジアに住んでおり、特に九州は古来より、アジアの国々との交流の玄関口として機能してきた。そして、21世紀に入り、いよいよアジアの国々が活気づく時代を迎えた。しかしながら、我々日本人は未だアジアのことをよく知らないでいる。本講義はアジア諸国が日本と同様に「西洋近代」を受け入れ、近代化し、自国のアイデンティティーをどのように視覚的に表現してきたか、特にアジアの近現代美術を通して、今後の世界を眺める上でも、今一度「アジアとは何か?」という命題について考えていきたい。その際、アジア美術を専門とする福岡アジア美術館の作例を題材として、受講者各自の研究テーマを設定し、それについて受講者とともに討論していく。本講義を通して、アジア世界を考えることにより、異文化理解を出来るような幅広いものの見方や考え方を身につけていく。各地域講義の終了後のプレゼンテーションにより受講生へのフィードバックをする。							関連科目			
								日本美術史/東洋美術史/西洋美術史/美術概論/日本文化特論(近代)/アートマネジメント論/美術ジャーナル論			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	アジアの近現代美術の作品を通して、その制作背景や歴史的背景を理解し、我々が住むアジアとは何かを考え、その近代化がどのように進み、アジア各国のアイデンティティーを表明していったかその過程を理解する。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	20	0	10	45	0	10	15	100		
教科書	基本資料は以下の通り、購入必要なし。 アジアコレクション100(福岡アジア美術館所蔵品選) 福岡アジア美術館 福岡アジア美術館編 第4回アジア美術トリエンナーレ2009(図録) 福岡アジア美術館 福岡市美術館編 第5回アジア美術トリエンナーレ2014 福岡アジア美術館 福岡アジア美術館編 新版 韓国 朝鮮を知る事典 平凡社 伊藤亜人 監修										
参考書	平壤美術(ピョンヤン・アート) 青土社 文凡綱(ムン・ボムガン) サンシャワー-東南アジアの現代美術展 平凡社 国立新美術館/森美術館他編 N.S.ハルシャ チャーミングな旅(図録) 森美術館/美術出版 森美術館編 アジアの美術、100年の旅(図録) 福岡アジア美術館 企画・福岡アジア美術館 新版 東南アジアを知る事典 平凡社 桃木至朗 編集										

予備知識	
DPとの関連	造形活動および芸術文化研究に必要なグローバルな視点を通したものの見方、アジア的感覚を学ぶ。
実務経験のある教員	
評価明細基準	講義への取り組み15点、展評1本10点、プレゼンテーション資料25点、プレゼンテーション20点、最終試験20点、他SOJOポートフォリオ10点(計100点)

単位修得の条件は①出席3分の2以上②展評提出③プレゼンテーション④最終試験受験をすべて満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ 序論	デジタル美術の見方(作品を観る道標など)	講義	テキストの内容を精読しておくこと。	90
2回	テーマ アジアを知ろう① ②	場所、人口、言語、宗教、民族など「アジアの地図」(拡張版)制作	講義/演習	アジアの地図(拡張版)制作	180
3回	テーマ 東アジア①	東アジアの近・現代美術の特徴	講義/SGD	テキストの内容を精読しておくこと。	180
4回	テーマ 東アジア②	受講者による作品の研究発表	演習/SGD	研究発表の準備	90
5回	テーマ 東南アジア①	東南アジアの近・現代美術の特徴	講義/SGD	テキストの内容を精読しておくこと。	180
6回	テーマ 東南アジア②	受講者による作品の研究発表	演習/SGD	研究発表の準備	90
7回	テーマ 南アジア①	近年のインドの現代美術展の動向について	講義	「N.S.ハルジャーチャーミングな旅」展(予定)を取り上げる。	90
8回	テーマ 南アジア②	南アジアの作品を知ろう!	講義/SGD	テキストの内容を精読しておくこと。	90
9回	テーマ 南アジア③	受講者による作品の研究発表	演習/SGD	研究発表の準備	90
10回	テーマ 福岡アジア美術館見学	常設展見学(12or1月開催予定)	見学	展評作成を含む。(新型コロナウイルス感染状況により変更 することがあります。)	270

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ 内容	最終論述試験あるいはアジア美術に関する英文和訳試験			90

科目名	地域文化特論（九州）＊6（3美）				開講学年	3	講義コード	2678001	区分	選必	
英文表記	Regional Culture Study Advanced: Kyushu Area				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A313						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	九州 熊本 芸術文化										
授業概要	美術学科の教育目標の一つに専門家としての基礎的な技術や知識を総合的に身に付けることが挙げられるが、本科目は芸術文化コースの学生にとって、芸術文化に関する汎用的な調査・研究方法を身に付ける上で必要不可欠な科目である。令和3年度は、熊本県内の幾つかの神社とそこに配されている絵馬について台帳作成や図書館での文献調査などを行い、調査・研究の基本的な方法の修得を目指す。調査結果は、次年度の芸術文化コース学科展でパネル化して展示、公開する。							関連科目			
								日本美術史、考古学と文化財Ⅰ、考古学と文化財Ⅱなど			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	フィールドワークの方法や記録方法を身につける。									
	②	実際に現地調査を行うことで知識をより確実なものにする。									
	③	調査の前後に調査対象についての文献調査を行うことで、現地調査と文献調査をもとに自身の考察結果を導く方法を修得する。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	75	0	0	10	15	100		
教科書	くまもと 美と祈りの絵馬行脚 舒文堂 辻 春美										
参考書	絵馬(もの与人間の文化史 12) 法政大学出版局 岩井 宏實 絵馬に願いを 二玄社 岩井 宏實										

予備知識	特になし
DPとの関連	学外(フィールド)での第一次資料の実見や写真撮影、台帳記入、図書館等での文献調査・収集、さらに最終的なレポート作成やパネル作成といたり一連の過程を経験することで、課題解決のための技術や知識、論理的思考力を身に付け、人間社会の構築や芸術文化の発展に持続的に貢献できる力を修得する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	成績の評価は、課題(85点)提出と出席・参加率(15点)によって行い、合計60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は再履修とする。

現地調査・写真撮影等がある。完成させた調査台帳の提出とテーマに関する総論(レポート)提出、並びに学外を含む図書館等での調査がある。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 概説	オリエンテーション(授業についてのガイダンス、神社・絵馬についての概説・講読)	講義・演習	配布資料の熟読(復習)	90
2回	テーマ 神社と絵馬	絵馬とは？絵馬に描かれたさまざまな主題	講義 演習	配布資料の熟読(復習)	90
3回	テーマ 熊本の絵馬	熊本の神社にある絵馬	講義 演習	配布資料の熟読(復習)	90
4回	テーマ 調査計画	調査計画と調査する神社・絵馬についての事前調査	演習 AL	調査が不十分な場合は完了させること	60
5回	テーマ フィールドワーク	フィールドワーク(現地調査・写真撮影)と台帳作成(??)	AL	画像整理・台帳入力	60
6回	テーマ フィールドワーク	フィールドワーク(現地調査・写真撮影)と台帳作成(??)	AL	画像整理・台帳入力	60
7回	テーマ 文献調査	図書館における文献調査(熊本県立図書館等における関連文献調査・収集)	AL PBL	収集した資料の整理・熟読・パネル用原稿作成	90
8回	テーマ フィールドワーク	フィールドワーク(現地調査・写真撮影)と台帳作成(??)	AL	画像整理・台帳入力	60
9回	テーマ フィールドワーク	フィールドワーク(現地調査・写真撮影)と台帳作成(??)	AL	収集した資料の整理・熟読・パネル用原稿作成	60
10回	テーマ 文献調査	図書館における文献調査(熊本県立図書館等における関連文献調査・収集)	AL PBL	収集した資料の整理・熟読・パネル用原稿作成	90

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	フィールドワーク	AL	画像整理・台帳入力	60
	内容	フィールドワーク(現地調査・写真撮影)と台帳作成(???)			
12回	テーマ	フィールドワーク	AL	画像整理・台帳入力	60
	内容	フィールドワーク(現地調査・写真撮影)と台帳作成(???)			
13回	テーマ	文献調査	AL PBL	収集した資料の整理・熟読・パネル用原稿作成	90
	内容	図書館における文献調査(熊本県立図書館等における関連文献調査・収集)			
14回	テーマ	パネル原稿作成	AL	未完のパネル原稿や台帳を整理	60
	内容	パネル原稿作成・完成、台帳とパネル原稿の完成・添削			
15回	テーマ	パネル原稿作成	AL	未完のパネル原稿や台帳を整理	60
	内容	パネル原稿作成・完成、台帳とパネル原稿の完成・添削			
16回	テーマ	提出	AL PBL	添削を受け、修正したものを提出	180
	内容	完成した原稿の提出			
17回	テーマ				180
	内容				

科目名	宗教芸術・文化Ⅱ（アジア）＊6（3美）				開講学年	3	講義コード	2678101	区分	選必	
英文表記	Religious Art&Culture II : Asian society				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	線 人類学 ティム・インゴルド										
授業概要	本講義はアジアの宗教芸術・文化について、アジアの多種多様な宗教芸術・文化の諸相を読み解いていく。アジアの宗教芸術・文化を理解するために本講義では、ティム・インゴルドの『ラインズ 線の文化史』を講読して、線をテーマとし、各章について受講者による事前レジュメ・事後レポートを作成することにより、異文化理解について幅広い認識・知識をもって、捉えられるような考え方、ものの見方を身につける。各章ごとの事前／事後レポートについて授業中に受講生にフィードバックをする。							関連科目			
								日本美術史／東洋美術史／日本・東洋美術史特論I/日本・東洋美術史特論II			
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・選択【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】・・・美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	ティム・インゴルドの線を手掛かりに様々な観点から思考することが理解できる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	55	0	35	0	0	10	0	100		
教科書	ラインズ 線の文化史 左右社 ティム・インゴルド 上記のテキストは購入の必要なし、適宜コピーを配布する。										
参考書	メイキング 人類学・考古学・芸術・建築 左右社 ティム・インゴルド ライフ・オブ・ラインズ 線の生態人類学 フィルムアート社 ティム・インゴルド 人類学とは何か 亜紀書房 ティム・インゴルド 現代思想 3月臨時増刊号2017vol.45-4 青土社 はじめて学ぶ文化人類学 人物・古典・名著からの誘い ミネルヴァ書房 片上伸啓編著										

予備知識	
DPとの関連	線の文化を学びながら、芸術文化研究に必要な人文科学的な視点から人間社会の発展に貢献できる知性を育む。
実務経験のある教員	
評価明細基準	講義中の討議参加等および課題レポート(35点)最終記述試験(55点)、ポートフォリオ(10点)で評価する。

講義中に抱いた疑問や関心事を自分の課題として展開していくかが必要となる。単位修得の条件は①出席3分の2以上、②課題提出および最終記述試験をすべて満たしていること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 序論(1回)	授業の進め方&本講義で使用するテキストについて	講義	事前に講義に関する参考文献のテキストを事前に配布するので受講前に必ず精読し、専門用語などわからないものは事前に辞典などリファレンス資料で調べておくこと。また、テキストの内容について要約できるよう準備しておくこと。	90
2回	テーマ ティム・インゴルド『ライنز 線の文化史』(2-3回)	序論	講読/SGD	事前レジュメ/事後レポート作成	180
3回	テーマ ティム・インゴルド『ライنز 線の文化史』(4-6回)	第一章 言語・音楽・表記法	講読/SGD	事前レジュメ/事後レポート作成	270
4回	テーマ ティム・インゴルド『ライنز 線の文化史』(6-8回)	第二章 軌跡・糸・表面	講読/SGD	事前レジュメ/事後レポート作成	270
5回	テーマ ティム・インゴルド『ライنز 線の文化史』(9-11回)	第三章 上に向かう・横断する・沿って進む	講読/SGD	事前レジュメ/事後レポート作成	270
6回	テーマ ティム・インゴルド『ライنز 線の文化史』(11-13回)	第四章 系譜的ライン	講読/SGD	事前レジュメ/事後レポート作成	270
7回	テーマ ティム・インゴルド『ライنز 線の文化史』(14-15回)	第五章 線描・記述・オリグラライン 第六章 直線になったライン	自習	第五・六章のレポート作成	180
8回	テーマ 16回	最終論述試験			90

科目名	美術ジャーナル論*7(3美)				開講学年	3	講義コード	2678201	区分	選択必修		
英文表記	Art journal theory				開講期	後期	開講形態		単位数	2		
担当教員	関根 浩子											
研究室	A313						オフィス アワー 授業終了後					
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp											
キーワード	美術ジャーナリズム 批評理論 芸術制作 キュレーション											
授業概要	美術ジャーナリズムは、作品制作やキュレーション、批評理論といったさまざまな専門性の観点から、一般の読者に対して、同時代の芸術実践の動向やその歴史と理論を、報道や批評、インタビューといった言表行為を通して伝える役割をもっている。また美術ジャーナリズムは、芸術に関するイベントや出来事の客観的な報告や記述によって時代を記録するアーカイブ機能とともに、主観的な美的判断によって作品や展覧会の質を世に問う批評の役割も担っている。「美術ジャーナル論」では、以上のような美術ジャーナリズムの役割や美術ジャーナリストに求められる能力、資質を理解し、自身が美術ジャーナリストになったと想定して、展覧会や作品、文化財などについて報告、記述できるようになることを目指す。フィードバックは、作成した記事やプレゼンに対する添削やコメントの形で行う。								関連科目		芸術学部の全科目、芸術文化コースの全科目、理論系の総合教育科目など	
	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造								
教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)								学修・教育目標			
	JABEE基準											
JABEE記号	学生の到達度目標											
①	美術ジャーナリズムの変化と現状が理解できるようになる。。											
②	美術作品の批評のポイントが理解できるようになる。											
③	美術作品の批評ができ、批評文が書けるようになる。											
④	芸術関連のイベントや出来事の客観的な報告や記述ができるようになる。											
⑤												
⑥												
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計			
	0	0	0	50	25	0	10	15	100			
教科書	適宜資料を配布する											
参考書	芸術と芸術批評 岩崎出版社 M. フリートレンダー 美学の事典 丸善出版 美学会 ART SINCE 1900 東京書籍 ハル・フォスター、他 美術批評史 みすず書房 L. ヴェントゥーリ											

予備知識	特になし
DPとの関連	汎用的基礎力と専門知識を身につけた応用力を有する専門家として、豊かな芸術文化の創生に貢献できる人材を育成する。
実務経験のある教員	
評価明細基準	評価は、記事(レポート)やプレゼンテーション、ポートフォリオ、授業への出席状況。積極性などを基準に総合的に行う。

新聞や美術雑誌にこまめに目を通し、参考になると思ったら切り抜いたり、コピーをとるようにして欲しい。学科展用に記事を最終的にイラレで作成する場合もある。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画					
回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ 内容	オリエンテーション 科目の目標や進め方、評価などについて説明・美術ジャーナルの役割	講義	1回目の配布資料の復習。	20
2回	テーマ 内容	「見る」ということ M. ライトマンの著書を参考に「見る」「観る」ことについて考察	講義 SGD	2回目の配布資料の復習	20
3回	テーマ 内容	形体・色彩・色調・光・金 批評する上で知っておくべき基本事項(形体・色彩・色調・光・金)についての学習	講義 SGD	3回目の配布資料の復習	20
4回	テーマ 内容	近景・遠景、遠近法、構図 批評する上で知っておくべき基本事項(近景・遠景、遠近法、構図など)についての学習	講義 SGD	4回目の配布資料の復習	20
5回	テーマ 内容	絵画・彫刻のジャンル 批評する上で知っておくべき基本事項(宗教画、世俗画、裸体画、風俗画、風景画、肖像画、静物画など)についての学習	講義 SGD	5回目の配布資料の復習	20
6回	テーマ 内容	新聞・雑誌の記事の分析(1) 新聞や雑誌に掲載された記事を数件取り上げ、それらを読んで分析する	講義 演習	取り上げた記事を復習するとともに、自宅できている新聞の記事にも目を通す。	20
7回	テーマ 内容	新聞・雑誌の記事の分析(2) 新聞や雑誌に掲載された記事を数件取り上げ、それらを読んで分析する	講義 演習	取り上げた記事を復習するとともに、自宅できている新聞の記事にも目を通す。	20
8回	テーマ 内容	新聞・雑誌の記事の分析(3) 新聞や雑誌に掲載された記事を数件取り上げ、それらを読んで分析する	講義 演習	取り上げた記事を復習するとともに、自宅できている新聞の記事にも目を通す。	20
9回	テーマ 内容	展覧会視察(1) 展覧会視察・メモの作成・資料収集・写真撮影・インタビューなど	AL	視察した展覧会に関する情報整理	30
10回	テーマ 内容	展覧会案内・批評を書く 収集した資料や情報、撮影した写真をもとに記事(展覧会案内や作品批評)を書く	演習	展覧会案内・批評の作成	30

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
11回	テーマ	展覧会案内・批評を書く	演習	未完成の場合は完成させる。プレゼンの準備。	60
	内容	記事の完成(添前後の修正を含む)			
12回	テーマ	展覧会視察(2)	AL	視察した展覧会に関する情報整理	30
	内容	展覧会視察・メモの作成・資料収集・写真撮影・インタビューなど			
13回	テーマ	展覧会案内・批評を書く	演習	展覧会案内・批評の作成	30
	内容	収集した資料や情報、撮影した写真をもとに記事(展覧会案内や作品批評)を書く			
14回	テーマ	展覧会案内・批評を書く	演習	未完成の場合は完成させる。プレゼンの準備。	60
	内容	記事の完成(添前後の修正を含む)			
15回	テーマ	発表、総括	講義 AL	提出物(記事)の準備	90
	内容	プレゼンテーション、全体のまとめ			
16回	テーマ	16			
	内容	課題提出			

科目名	特別演習（芸術文化）（3美）				開講学年	3	講義コード	2678401	区分	必修	
英文表記	Special Seminar (Art & Culture)				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A312						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	原書(英文) 講読 和訳										
授業概要	美術学科の人材育成の目標には、幅広い国際的視野や専門分野における高度な専門家の養成などがある。本科目はこれからの芸術文化の担い手には必須の英文の読解力や翻訳力の習得のために必要不可欠の科目である。3年次から総合教育の英語がなくなるため、英語を忘れないためにも、英文(英文に翻訳されたものを含む)の美術史の教科書や、美術史論、芸術論、芸術家論、西欧文化論、キリスト教文化論などの中から興味深いものを選んで講読する。2021年度は、2019年度に講読した箇所以外の章(フィレンツェ大聖堂附属サン・ジョヴァンニ洗礼堂の第二門扉に関する章)を読み進め、英文読解や翻訳力を養う。							関連科目			
								西洋美術史、西洋美術史特論Ⅰ、西洋美術史特論Ⅱ、宗教芸術Ⅰほか			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	英文の構造を正しく理解する。									
	②	適切な日本語への訳出の仕方を身につける。									
	③	美術史学や芸術学のテクニカル・タームの英語表記に習熟する。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	75	0	0	10	15	100		
教科書	授業の中で配布する。										
参考書	The Gates of Paradise Yale University Press G. M. Radke Lorenzo Ghiberti Princeton University Press R. Krautheimer										

予備知識	特になし
DPとの関連	芸術文化研究における専門家として、芸術文化の発展に貢献できる専門的技術や知識を総合的に身に付ける。
実務経験のある教員	
評価明細基準	全訳(75点)、出席率(15点)、ポートフォリオ(10点)の合計点とする。合計が6割に満たない場合は、邦訳の再提出を課す。

毎回、前回分の訳文を提出する。電子辞書ではなく、語彙数や例文の多い英和辞典を必携のこと。担当箇所だけでなく全文を予習・復習すること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス	オリエンテーション(講読書のテキストコピー配布、文献の内容に関する説明)	講義 演習	概説の復習	20
2回	テーマ 講読・和訳	講読・和訳・添削、1回目の訳文提出	講義 演習	1回目と2回目の予習・復習	90
3回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、2回目の訳文提出	講義 演習	2回目と3回目の予習・復習	90
4回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、3回目の訳文提出	講義 演習	3回目と4回目の予習・復習	90
5回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、4回目の訳文提出	講義 演習	4回目と5回目の予習・復習	90
6回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、5回目の訳文提出	講義 演習	5回目と6回目の予習・復習	90
7回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、6回目の訳文提出	講義 演習	6回目と7回目の予習・復習	90
8回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、7回目の訳文提出	講義 演習	7回目と8回目の予習・復習	90
9回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、8回目の訳文提出	講義 演習	8回目と9回目の予習・復習	90
10回	テーマ 講読・和訳・添削	講読・和訳・添削、9回目の訳文提出	講義 演習	9回目と10回目の予習・復習	90

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	講読・和訳・添削	講義 演習	10回目と11回目の予習・復習	90
	内容	講読・和訳・添削、10回旨の訳文提出			
12回	テーマ	講読・和訳・添削	講義 演習	11回目と12回目の予習・復習	90
	内容	講読・和訳・添削、11回旨の訳文提出			
13回	テーマ	講読・和訳・添削	講義 演習	12回目と13回目の予習・復習	90
	内容	講読・和訳・添削、12回旨の訳文提出			
14回	テーマ	講読・和訳・添削	講義 演習	13回目と14回目の予習・復習	90
	内容	講読・和訳・添削、13回旨の訳文提出			
15回	テーマ	講読・和訳・添削	講義 演習	14回目と15回目の予習・復習	90
	内容	講読・和訳・添削、14回旨の訳文提出			
16回	テーマ	総括	講義 演習	15回目の復習と全文見直し	180
	内容	講読・和訳、1～15回旨までの全訳提出			

科目名	芸術文化演習Ⅱ（3美）				開講学年	3	講義コード	2678701	区分	必修	
英文表記	Art & Culture Studies : Practice II				開講期	後期	開講形態		単位数	4	
担当教員	関根 浩子 永田 郁										
研究室	A312 A208						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	文献検索 資料収集 テーマ設定 論文執筆 プレゼンテーション										
授業概要	<p>専門家を目指す芸術文化コースの学生にとって必要不可欠の科目である。本科目は、「芸術文化演習Ⅰ」に引き続き、4年次の卒業研究（論文作成）に向けて、研究課題の設定や研究の方法、論文の構成や書き方など、卒業研究（論文）の遂行に必要な一連の事柄（作品やものの見方や考え方を含む）の指導を行う。「芸術文化演習Ⅱ」では、学術論文を実際に数本読みながら、論文や論文の書き方についてさらに知識を深めた後、学生による研究発表（1名/1週間）を中心に授業を進め、課題を発見し、解決する能力を養う。</p>							関連科目			
								芸術文化コースの全科目			
教職関連区分	<p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 美術）【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）</p>							建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	卒業研究のために確実な資料収集が行えるようになる。									
	②	卒業研究のために的確な問題設定ができるようになる。									
	③	卒業研究の方向づけが行えるようになる。									
	④	研究成果を論文の中での的確に展開できるようになる。									
	⑤	研究成果の発表方法に熟達することができる。									
	⑥										
評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	50	25	0	10	15	100		
教科書	授業の中で個別に指示する										
参考書	授業の中で個別に指示する										

予備知識	テーマに関するある程度の知識。
DPとの関連	芸術文化研究における専門家となるための知識や技術、特に論文執筆のための調査研究方法や技術を身に付けることで、社会においても芸術文化の研究や発展に貢献、寄与できるようにする。
実務経験のある教員	
評価明細基準	平常の討議・口頭発表の内容、提出された小論文もしくはレポート、出席状況、ポートフォリオによって総合的に評価する。

受講生各自の自主的、積極的な取り組みが必要である。また、研究内容の口頭発表、小論文の提出は必須である。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	なし	0
	内容	オリエンテーション1 科目のガイダンス			
2回	テーマ	進捗状況報告	講義 演習	報告準備	90
	内容	オリエンテーション2 研究の進捗状況報告			
3回	テーマ	論文講読(日本美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	日本美術史に関する論文講読			
4回	テーマ	論文講読(日本美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	日本美術史に関する論文講読			
5回	テーマ	論文講読(日本美術史)	講義 演	配布資料の復習	40
	内容	日本美術史に関する論文講読			
6回	テーマ	論文講読(日本美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	日本美術史に関する論文講読			
7回	テーマ	論文講読(西洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	西洋美術史に関する論文講読			
8回	テーマ	論文講読(西洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	西洋美術史に関する論文講読			
9回	テーマ	論文講読(西洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	西洋美術史に関する論文講読			
10回	テーマ	論文講読(西洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	西洋美術史に関する論文講読			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	論文講読(東洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	東洋美術史に関する論文講読			
12回	テーマ	論文講読(東洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	東洋美術史に関する論文講読			
13回	テーマ	論文講読(東洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	東洋美術史に関する論文講読			
14回	テーマ	論文講読(東洋美術史)	講義 演習	配布資料の復習	40
	内容	東洋美術史に関する論文講読			
15回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	学生による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
16回	テーマ	論文講読(学生による)	講義 演習 AL PBL	講読した資料の復習	40
	内容	履修学生の研究テーマに関する論文の講読			
17回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	学生による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
18回	テーマ	論文講読(学生による)	講義 演習 AL PBL	講読した資料の復習	40
	内容	履修学生の研究テーマに関する論文の講読			
19回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	学生による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
20回	テーマ	論文講読(学生による)	講義 演習 AL PBL	講読した資料の復習	40
	内容	履修学生の研究テーマに関する論文の講読			

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	学生による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
22回	テーマ	論文講読(学生による)	講義 演習 AL PBL	講読した資料の復習	40
	内容	履修学生の研究テーマに関する論文の講読			
23回	テーマ	口頭発表	講義 演習 AL PBL	発表準備(予習)	180
	内容	学生による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表			
24回	テーマ	論文講読(学生による)	講義 演習 AL PBL	講読した資料の復習	40
	内容	履修学生の研究テーマに関する論文の講読			
25回	テーマ	小論文執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
26回	テーマ	小論文執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
27回	テーマ	小論文執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
28回	テーマ	小論文執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
29回	テーマ	小論文執筆・添削	演習 AL P BL	小論文作成(予習)	120
	内容	研究テーマに関する小論文執筆、添削指導			
30回	テーマ	総括	講義	小論文修正・提出	180
	内容	半期の総括・小論文提出と各学生への今後の指導			

科目名	学外演習（芸術文化）◎（3美）				開講学年	3	講義コード	2678801	区分	必修	
英文表記	Off-site study (Art & Culture)				開講期	後期	開講形態		単位数	2	
担当教員	関根 浩子										
研究室	A312						オフィス アワー 金曜放課後				
メールアドレス	seki1963@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	フィールドワーク 展覧会 鑑賞 観察 論述										
授業概要	<p>本学科の人材育成目標の一つに、「専門分野に関する深い理解と表現力の獲得」があるが、学芸員やそれに類する専門職を目指す学生には、本科目は必要不可欠な科目である。本科目では、日本特に九州や、海外の美術館・博物館等（ギャラリーを含む）で開催されている特別展や常設展を見学し、展覧会評を作成することで、芸術作品や展示方法等の鑑賞・観察力を養うとともに、作品の鑑賞ポイントや展覧会の見どころ等を文章によって第三者に正確に伝達する方法の習得や、独力でフィールドワークする能力を養うことを目指す。</p>							関連科目			
								芸術文化コースの全専門科目、特に美術史基礎演習Ⅰや美術ジャーナル論			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	多くの展覧会を単独で視察できるようになる。									
	②	会場の第一次資料(作品や「もの」)を注意して鑑賞・観察できるようになる。									
	③	得られた情報や知見を、自分の視点と言葉で第三者にわかりやすく伝える方法に習熟できるようになる。									
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	90	0	0	10	0	100		
教科書	授業の中で指事する										
参考書	各会場の展覧会図録等										

予備知識	<p>観覧する展覧会の出品作品や出品作家について事前に調べておくと、より深い鑑賞ができるし、見逃すリスクも減少するので、事前に学習してから現地に行くようにしてほしい。</p>
DPとの関連	<p>自ら進んで学外(フィールド)に出て課題解決(展覧会視察、鑑賞、レポート作成)する技術や知識、論理的思考力、国際的視点を身に付け、人間社会の構築や芸術文化の発展に持続的に貢献できるようにする。</p>
実務経験のある教員	
評価明細基準	<p>課題①あるいは課題②のレポート、ポートフォリオで評価する。 課題①:10,000字程度で作成し、必ず図版を添付する。課題②:1展覧会につき2,000字程度のレポートを10本作成。レポートには必ず展覧会のチケットの半券(なければチラシでも可)など見学したことが証明できる資料を貼付すること。</p>

課題の提出(①か②のいずれか)がある。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	現地(海外)で本物に触れる	AL PBL	芸術学部主催の海外研修旅行に参加し、その体験をレポートする。	9日
	内容	課題①			
2回	テーマ	展覧会でオリジナル作品を見る	AL PBL	九州やその他の地域で開催される国内の展覧会・常設展の展覧会評を作成する(10本)。	10日
	内容	課題②			

科目名	学外演習（視覚芸術）◎（3美）				開講学年	3	講義コード	2678901	区分	必修	
英文表記	Off-Site Study: Visual Arts				開講期	後期・集中	開講形態		単位数	2	
担当教員	永田 郁										
研究室	芸術学部棟A208						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	アートプロジェクト ワークショップ アクティブラーニング										
授業概要	<p>受講者は各自、学外に出てテーマを決めて、それを写真とテキスト、デッサン、ドローイングなど視覚芸術コースで3年間学んできた表現のアプローチを用い、与えられたSCRAPBOOKを使って1冊の「ヴィジュアルアートブック」を作成する（SCRAPBOOKの頁は全部使用する）。SCRAPBOOKには作品のタイトルもつける（必須）。</p>							関連科目			
								視覚造形実習ⅠA-B、ⅡA-B、ⅢA-B／視覚造形実習Ⅳ／ワークショップ演習			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	学外での観察・考察および様々な表現のツールを通して自分なりの表現ができるようになる。									
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	0	90	0	10	0	100		
教科書											
参考書											

予備知識	
DPとの関連	視覚芸術コースで学んだ表現アプローチを学外に出て、テーマについて観察・考察しその結果を一冊にまとめる。
実務経験のある教員	
評価明細基準	SCRAPBOOK「ヴィジュアルアートブック」の出来(90)、SOJOポートフォリオ(10)。

本科目は必修科目なので、履修忘れがないよう注意して下さい(3年次後期履修)。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義		90
	内容	授業の概要と進め方(全員出席必修)			
2回	テーマ	計画・立案編	実習	各自テーマを検討、決定する。	90×4
	内容	各自テーマを決めて計画・立案する。			
3回	テーマ	制作	実習	リサーチ、制作	90×10
	内容	テーマ確定したら、各自リサーチ、制作			
4回	テーマ		提出・評価		
	内容	SCRAPBOOK「サイジユアルノートブック」の提出			

科目名	視覚造形実習ⅢB*8(3美)				開講学年	3	講義コード	2679101	区分	選必	
英文表記	Visual Arts Work IV				開講期	後期	開講形態		単位数	8	
担当教員	永田 郁 野島泉里(非常勤) 野島マーサ(非常勤) 森英顕(非常勤)										
研究室	芸術学部棟A208(永田) 硯川実習棟303/102(非常勤)						オフィス アワー 水曜日5限				
メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp										
キーワード	作品制作 現代アート ポートフォリオ										
授業概要	本実習は視覚造形実習ⅢAの内容を展開し、最終的に受講生による硯川実習棟における作品展示(The 3rd Floor)を目指す(卒業制作)。またそれに伴う作品のドキュメンテーションも並行して実施する。第二の目的としては、受講者のポートフォリオ作成により1年間での活動をまとめる作業も同時に実施していく。また、本実習におけるThe 3rd Floorの際の講評会を通して、汎用的なプレゼンテーション能力も身につける。各講師の担当曜日は以下の通りである。月3-4限:野島(泉)講師[美・非常勤] 火1-2限:森講師[美・非常勤] 水1-2限:野島(マ)講師[美・非常勤] 金1-2限:永田							関連科目			
								視覚造形実習ⅠA・B/ⅡA・B/ⅢA/デザイン表現演習Ⅰ/Ⅱ/学外演習(視覚)			
教職関連区分								建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
								学修・教育目標			
JABEE記号	学生の到達度目標										
	①	総合的表現の成果として硯川実習棟の教室を使用した作品制作を実施し、様々なイメージを統合的に表現できるようになる。									
	②	社会への進出へ向けてポートフォリオ作成により3年間での芸術学部の学びを社会とつないでいくかについて実践的に理解できるようになる。									
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計		
	0	0	0	20	20	50	10	0	100		
教科書	特に指定しない										
参考書	アート・インダストリー 究極のコモディティーを求めて 美学出版 辛美沙 ポートフォリオをつくらう! フィルムアート社 青山学院大学大学院社会情報学研究所ヒューマンインノベーションコース他 ポートフォリオ見本帳 MdNコーポレーション 尾形美幸 自分を切りひらくアート フィルムアート社 高橋瑞木・フィルムアート社編 LEAP Before You Look Black Mountain College 1933-1957 Yale University Press H. Molesworth										

予備知識	
DP との 関連	造形活動を通して総合的な問題解決の方法を学ぶ。
実務経験 のある 教員	
評価明細 基準	プランニング&リサーチ、制作、作品発表(プレゼン)の評価、制作実習による評価(70点) ポートフォリオ(20点)、SOJOポートフォリオ(10点)

本実習は内容が多岐にわたるため、リエンションおよび掲示・連絡に注意すること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

回数 (日付)	授業内容		講義形態	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1回	テーマ 野島泉里・野島マーサ・森英顕クラス	作品制作(自由テーマ)卒業制作への前段階、前期成果を踏まえた作品制作(1st-5th week)	実習	自由テーマによる作品制作	540× 5週間
	内容				
2回	テーマ The 3rd Floor Project(6th-15th week)		実習	自由テーマによる作品制作	540×1 0週間
	内容				
3回	テーマ The 3rd Floor発表・講評(16th week)		発表・講 評	作品発表および講評会	180
	内容				
4回	テーマ 永田クラス(金1-2限)	サインボードワーク実習2 リサーチ作業(1st-5th week)	実習/リ サーチ	前期に引き続き、地域をフィールドワークする。	180×5 週間
	内容				
5回	テーマ フィールドワーク実習2 上記リサーチをもとに企画構想から作品あるいは活 動をThe 3rd Floorで発表		実習	フィールドワークをもとに作品あるいは活動を発表・実施して いく。	180×8 週間
	内容				
6回	テーマ ポートフォリオ作成		演習	1年間の活動をポートフォリオとしてドキュメントブック(docu ment book)の作成・提出	180×2 週間
	内容				
7回	テーマ The 3rd Floor発表・講評(16th week)		発表・講 評	作品発表および講評会	180
	内容				